

**新たな教師の学びの姿の実現に向けて  
～研修受講を学びの契機と機会に～**

(令和6年度教職員研修実施要項)

令和6年3月

**鳥取県教育委員会**

# 新たな教師の学びの姿の実現に向けて

## ～研修受講を学びの契機と機会に～

### 目次

	ページ
はじめに . . . . .	1

**【鳥取県公立学校の校長・教員・教職員としての資質の向上に関する指標】**

I 鳥取県公立学校の校長・教員・教職員としての 資質の向上に関する指標について . . .	3
○ 鳥取県公立学校の校長としての資質の向上に関する指標 . . . . .	4
○ 鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	5
【教諭等】	
○ 鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	6
【養護教諭】	
○ 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	7
【栄養教諭、学校栄養主任、学校栄養職員】	
○ 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	8
【実習教諭、実習助手】	
○ 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	9
【寄宿舎教諭・寄宿舎指導員】	
○ 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	10
【事務主幹・事務副主幹・事務主事】【事務長・事務次長・主事】	
○ 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標 . . . . .	11
【司書主任・司書】	

**【研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励】**

I 新たな教師の学びの姿の実現に向けて . . . . .	13
II 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する基本的な考え方	13
III 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等	
1 対象となる教師の範囲 . . . . .	13
2 研修履歴の記録の目的 . . . . .	14
3 研修履歴の記録の範囲 . . . . .	14
4 研修履歴の記録の方法 . . . . .	14
5 対話に基づく受講奨励の方法・時期 . . . . .	15

## 【令和6年度 教職員研修実施要項】

### I 令和6年度教職員研修の概要

1	教職員研修の基本方針	17
2	教職員研修体系の概要	17
3	教職員研修区分	18
4	令和6年度教職員研修講座一覧	25

### II 受講手続等

1	研修講座登録に係る期日等	26
2	研修講座受講手続等の留意点	27
3	研修講座受講確定	28
4	研修講座開催要項	28
5	受講者の欠席等の扱い	28

### III 受講者の旅費

### IV 令和6年度 教職員研修実施計画

#### 1 基本研修

##### (1) 幼稚園・幼保連携型認定こども園

①	新規採用幼稚園・幼保連携型認定こども園教員研修	29
②	中堅教諭等資質向上研修	30

##### (2) 小学校

①	初任者研修	31
②	2年目研修	33
③	3年目研修	33
④	6年目研修	34
⑤	中堅教諭等資質向上研修	35
⑥	16年目研修	36

##### (3) 中学校

①	初任者研修	37
②	2年目研修	39
③	3年目研修	39
④	6年目研修	40
⑤	中堅教諭等資質向上研修	41
⑥	16年目研修	42

##### (4) 高等学校

①	初任者研修	43
②	2年目研修	45
③	3年目研修	45
④	6年目研修	46
⑤	中堅教諭等資質向上研修	47
⑥	16年目研修	48

##### (5) 特別支援学校

①	初任者研修	49
②	2年目研修	51

③ 3年目研修	5 1
④ 6年目研修	5 2
⑤ 中堅教諭等資質向上研修	5 3
⑥ 16年目研修	5 4
(6) 養護教諭	
① 新規採用養護教諭研修	5 5
② 2年目研修	5 6
③ 3年目研修	5 6
④ 中堅教諭等資質向上研修	5 7

## 2 職務研修

(1) 学校経営研修	5 8
(2) 主任・主事等研修	6 7
(3) 職務に応じた研修	6 8

## 3 専門研修

(1) 幼児教育	7 5
(2) 教科指導等	7 5
(3) 情報教育	8 9
(4) 特別支援教育	9 3
(5) 教育相談・生徒指導・学級経営等	9 6
(6) 人権教育	1 0 0
(7) 各種教育等	1 0 2
(8) その他	1 0 6

V 令和6年度島根県教育センターとの連携講座	1 0 7
------------------------	-------

VI 令和6年度しまだい学校教員研修	1 0 9
--------------------	-------

## VII その他の研修

(1) 県教育委員会が主催する主な研修	1 1 2
(2) 独立行政法人教職員支援機構（NITS）の動画教材 （校内研修シリーズ）	1 1 5
(3) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）の動画教材 （NIES学びラボ）	1 2 0

VIII 令和6年度教職員研修年間計画表	1 2 4
----------------------	-------

おわりに	1 3 6
------	-------

# はじめに

「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて審議まとめ（令和3年中央教育審議会）」では、「令和の日本型学校教育」を担う教師の姿について、「主体的な教師の学び」「個別最適な教師の学び」「協働的な教師の学び」といった「新たな教師の学びの姿」が示されました。

また、教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律により、教員の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが令和5年度から施行され、各校で研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励が行われています。

さらに、今日、子どもたちの学び（授業観・学習観）とともに、教師自身の学び（研修観）も転換し、新しい授業観と相似形である教師自身の主体的・対話的で深い学びを実現することが求められています。（「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について（令和4年中央教育審議会答申）

鳥取県では急激に変化する時代における不易と流行を踏まえ、「公立学校教員として求める教師像」を改定し、「鳥取県公立学校の校長・教職員としての資質の向上に関する指標」をあわせて改定しました（令和6年4月1日）。

これらを踏まえ、教師が自らの学びの成果を振り返ったり、次なる目標を設定したりするとともに、研修履歴を活用した受講奨励により、探究心を持ちつつ主体的・自律的に学びをマネジメントし、「新たな教師の学びの姿」の実現につなげていただくことを期待します。その際に、本冊子はその道しるべとして活用されることを願っています。

# **【鳥取県公立学校の校長・教員・教職員 としての資質の向上に関する指標】**

# I 鳥取県公立学校の校長、教員及び教職員としての資質の向上に関する指標について

## (1) あらまし

鳥取県教育委員会では、教育公務員特例法第22条の3に基づき、任命権者として、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標を策定しています。

また、学校に勤務する教育公務員特例法の適用外の職員についても、職責、経験及び適性に応じた資質の向上の参考とするための指標を策定しています。(以降、鳥取県公立学校の校長、教員及び教職員としての資質の向上に関する指標について、一括して「指標」という。)

## (2) 指標の活用

教育公務員特例法において、研修実施者が研修計画を作成する際や指導助言を行う際には指標を踏まえることとされており、指標をもとに各種研修の内容等が検討されます。

また、指標は職責、経験及び適性に応じて身に付けていくべき資質を規定しているものであり、評価・育成制度における自己目標の設定の際に参考とすることも想定されます。

## (3) 指標のつくり

指標は、職種ごとに策定しており、縦軸（観点）、横軸（職・ステージ）別に身に付けていくべき資質を表しています。

また、指標中で赤字になっている部分は、それぞれの職としての専門性を示しています。

# 鳥取県公立学校の校長としての資質の向上に関する指標

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

観点 キーワード	職	校長
素 養	豊かな人間性、寛容性、人権意識	よりよい社会の実現に向け、学校の役割を認識するとともに、社会人として広い視野と深い洞察力、豊かな人間性を有し、自他の価値を尊重している。
	発想力、創造力、対応能力	学校教育を取り巻く環境の変化や生じる課題を多角的に捉え、その解決に向けた柔軟な発想力と対応能力を有している。
	児童生徒理解、教育的愛情、判断力、実践力	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができるとともに、教育に対する使命感や責任感を持って意欲的に行動する実践力を有している。
	教育に関する知見、指導力及び校長としての専門性	教育全般に関する知見や経験を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができるとともに、学校運営に関して教職員に対して的確な指導を行うなど、人材を育成する力や組織を動かす力を有している。
	社会性、協調性、コミュニケーション力	組織のリーダーとして、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図る力を有している。
	使命感、責任感、倫理観	教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神を有している。
学 校 経 営	確固たる教育理念	将来の国や県を担う児童生徒の心身ともに健全な育成に向けて、教育的識見に基づく明確な教育理念を有している。
	学校経営ビジョンの構築	国や県の教育改革の動向や今日的な教育課題を認識し、自校における適切な教育目標を設定するとともに、その目標達成に向けた総合的な経営ビジョンや経営戦略を構築している。
	学校の内外環境に関するアセスメント(情報の収集・整理・分析と共有)	今日的な教育課題や学校における児童生徒の教育データや実態、保護者や地域等の学校を取り巻く環境についての情報を広く収集した上で的確に整理、分析し、関係者と共有を図りつつ、学校としての目指す方向性や学校教育活動の柱を明確に定めている。
	教育力を高めるファシリテーション(学校内外の関係者との相互作用の創出)	様々な経験や専門性を持った教職員のそれぞれの強みや適性等を生かした学校経営への参画を促す工夫や雰囲気醸成を行うとともに、学校と保護者や地域等との熟議や話し合いを通して目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働しながら児童生徒の育成及び学校の特色化・魅力化に取り組んでいる。
	判断力と決断力・リーダーシップ	学校課題を的確に把握し、その解決に向けた取組の方向性を主体的に判断するとともに、教職員の理解と納得を得る的確なコミュニケーション力によって学校全体の組織的な行動につなげるリーダーシップを有している。
学 校 管 理 運 営	学校危機管理	危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、教育活動や学校施設等、学校全体を広く見渡す視点に立って危機の未然防止策を講じている。また、危機発生時には児童生徒の安全確保に向けて迅速かつ的確な対応を行うとともに、対応後には必要に応じて保護者や地域等への説明を適切に行っている。
	授業改革の推進	学習指導要領の内容を十分に理解し、今後の社会で求められる人材育成の視点に立って、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の在り方を積極的に研究・実践するなど、授業改革の取組を推進している。
	キャリア教育(生き方・進路指導)	児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情などの現状を把握し、児童生徒が「何をしたいのか」、「何をできるようになりたいのか」という将来の生き方のビジョンを描くことができるための「キャリア教育の全体計画・年間指導計画」を適切に策定し、キャリア教育を計画的に推進している。
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等を理解し、学校全体として組織的に児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習上・生活上の支援を工夫するとともに、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」に基づき、保護者及び関係機関等と密接な連携を図る体制を構築している。
	ICTや情報・教育データの利活用	学校CIOとして、学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等でのICTの効果的な活用や情報・教育データの適切な活用の推進に向けた体制を構築している。
	児童生徒の個別課題への対応・教育相談、カウンセリング体制の構築・いじめ、不登校への対応	学校全体の児童生徒指導上の個別課題について共通理解を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関係者及び児童相談所等の関係機関との連携を密にし、課題解決に向けて組織的に対応する体制を構築している。
教 職 員 管 理	教職員との信頼関係	自らが自身の人間性を高めることに努めている。また、教職員それぞれの個性や能力、適性等を理解し、教職員が思いや悩み事を管理職に相談しやすい雰囲気を作るなど風通しの良い職場づくりに努めることで、教職員との適切な信頼関係を構築している。
	教職員の健康管理及びメンタルヘルスケア(勤務状況の把握)	教職員の日常の勤務状況等を的確に把握し、適切に業務分担を行ったり、適宜相談に応じたりするなど配慮をとおして、教職員の健康管理(メンタルケア)に努めている。また、教職員が意欲的かつ自主的に職務に専念できるような職場環境づくりに努めている。
	教職員の資質向上(適正な評価と人材育成)	教職員が主体的に設定した目標の達成に向けて、法令を順守しながら意欲的に取り組むことができるよう指導助言を行っている。また、職務遂行状況(能力や実績)を教職員の育成段階に応じて公正かつ適正に評価することをとおして、教職員の人材育成及び資質能力の向上を図っている。
	教職員の連携・協働体制の構築	児童生徒や保護者への対応、地域等との連携などの様々な学校課題に対して、教職員が課題やトラブルを一人で抱え込むことがないよう、「チーム学校」(効果的・効率的な組織)の意識醸成に努めることで、教職員の連携・協働体制を構築している。

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。



# 鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標【教諭等】

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

職  ステージ  指針における5つの柱 観点 キーワード	教諭等・主幹教諭・教頭・副校長			
	キャリア スタート期 (教員養成 完成時・ 採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)  教員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。	向上期(第2ステージ) (6~10年目)  第1ステージの経験をもとに、学習指導や学級経営の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	充実期(第3ステージ) (11年目以降)  第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理の立場としての力量(マネジメント能力)を高める。
			充実期前期 (11~15年目)	充実期後期 (16年目以降)

## 教職に必要な素養に主として関するもの

素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識	よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。					
	前向きな姿勢、向上心、適応力	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。					
	教育的愛情、児童生徒理解、判断力	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる。					
	専門的知識・技能、指導力、構想力	教科等の専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる。					
	社会性、協調性、コミュニケーション力	学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図ることができる。					
	使命感、責任感、倫理観	教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神に基づき、責任ある言動をとることができる。					
学校運営・教職員連携	学校安全への対応	・学校教育の社会的・制度的・法的・経営的理解に関する基礎理論・知識を習得している。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立った上で、過去の事例に基づきながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立った上で、過去の事例に基づきながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、必要に応じて危機管理体制の点検や改善をしている。	・学校全体の視点に立って、危機の未然防止策や危機発生時の具体的な対応策について、校長に進言したり、教職員に指示したりするなどの対応を行っている。	
	家庭・地域とつながる力	・学校、家庭、地域との連携・協働	・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。	・家庭・地域と連携・協働し、児童生徒を共に育んでいこうとする関係を築いている。	・家庭・地域・関係機関等と連携・協働し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。	・家庭・地域・関係機関等との連携・協働を通じて、必要な情報を収集・発信しながら、学校課題の解決に向けた校内体制を構築している。	
	組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	・目標・業務改善 ・ICT等による業務の効率化 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり	・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。	・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。	・学年や教科等の組織から学校全体を広く見渡す視点に立って、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。	・学校課題の解決に向けて、関係機関・異職種との連携を計画的かつ積極的に進め、組織力を向上させている。
					・組織全体について、自らの経験を生かしながら内外の環境要因を広く見渡し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)作りを努めている。	・様々な学校課題の解決に向けて、教職員間や関係機関等との連携・協働体制の構築に向けて、校長を補佐しながら「チーム学校」(効果的・効率的な組織)作りを努めている。	
		・働き方改革の目的を理解し、ICTの効果的な活用等による業務の効率化を進めている。 ・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。					

## 学習指導に主として関するもの

学習指導(授業力)	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	・年間指導計画 ・単元構想 ・学習指導案	・教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得している。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の年間指導計画を作成するとともに、児童生徒の実態を把握し、その実態に応じた単元構想や教材づくりに取り組んでいる。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、学年や教科の系統性を踏まえた年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、児童生徒の実態や学校・地域・特色を生かした単元構想や教材開発に取り組み、専門性の向上を図っている。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、教科横断的な視点を持って校内の教育課程づくりに携わるとともに、現状分析をもとに学校や地域・特色を生かした単元構想や教材開発を行い、校内研究会等で改善案を提案している。	・校長の示す学校教育目標や学校として目指す方向性、及び教育活動の在り方を踏まえ、学校の特色化・魅力づくりに積極的に関与している。
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・学習集団 ・指導評価 ・指導工夫 ・授業改善 ・主体的、対話的で深い学び	・学習指導法に関する基礎理論・知識を習得している。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践している。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践することで、これからの時代に求められる資質・能力の育成を図っている。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践するとともに、教科横断的な視点を持って校内における授業改革の推進を行っている。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践するとともに、教科横断的な視点を持って校内における授業改革の推進を行っている。

## 生徒指導に主として関するもの

児童生徒理解・指導	児童生徒の理解と学級経営	・児童生徒との関わり ・集団づくり	・学習集団形成に関する基礎理論・知識を習得している。	・学級経営の具体的な方策を立案し、実行している。	・学級経営において、児童生徒の個別理解を図るとともに、学級集団の状況を把握している。	・学級経営目標に対する現状を的確に分析し、改善に向けた具体的な方策を提案している。	・個々の児童生徒の実態を的確に把握し、担任や学年団の相談役などとともに、関係機関等との連携を積極的に図ることによって、組織的な対応ができる体制づくりに努めている。
	教育相談、生徒指導及びいじめ・不登校対策	・個への対応 ・コミュニケーション能力	・生徒指導、教育相談に関する基礎理論・知識を習得している。	・教育相談や生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、児童生徒の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導・支援を行っている。	・学年全体の児童生徒一人一人の特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導・支援を行っている。	・同僚の生徒指導上の悩みを理解し、課題の解決に向けて指導・助言を行っている。	・学校全体の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、児童相談所等の関係機関と連携しながら組織的に対応している。
	キャリア教育(生き方・進路指導)	・生き方指導	・キャリア教育(生き方・進路指導)の重要性を認識している。	・キャリア教育(生き方・進路指導)に必要な知識を活用し、児童生徒に将来の夢や希望を持たせる指導を行うとともに、地域や故郷への愛着を育む指導を行っている。	・児童生徒の夢や希望及び実態を的確に把握し、キャリア教育(生き方・進路指導)の視点に立って、個に応じた適切な指導を行っている。	・児童生徒の夢や希望及び実態を的確に把握し、キャリア教育(生き方・進路指導)の視点に立って、個に応じた適切な指導を行っている。	・キャリア教育の全体計画や年間指導計画の内容を理解し、その意味を児童生徒に理解させるとともに、系統だった指導を学年団等の組織をまたぎながら適切に実践している。

## 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に主として関するもの ※「学習指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとして位置づけ

学習指導 生徒指導	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等を理解し、支援に必要な基礎的知識を習得している。	・児童生徒の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた学習上・生活上の支援の工夫を行っている。	・保護者や関係機関と連携しながら「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用や、学習上・生活上の支援の工夫を行っている。	・保護者や関係機関と連携しながら「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用や、学習上・生活上の支援の工夫を行っている。
--------------	------------------------	---	---	--	--

## ICTや情報・教育データの活用に関するもの ※「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」をより効果的に行うための手段として位置づけ

学習指導 生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	・ICTの授業、校務等への活用 ・情報・教育データの活用	・ICT活用の意義を理解し、ICTに関する基礎的な知識・技能を習得して活用しようとしている。	・ICT活用の意義を理解し、ICTを授業や校務等に積極的に活用している。	・ICT活用の意義を理解し、ICTを授業や校務等に効果的に活用している。	・ICT活用の意義を理解し、ICTを授業や校務等に効果的に活用している。
--------------	-----------------	---------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。

# 鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標【養護教諭】

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

観 点 キ ー ワ ー ド	ス テ ー ジ	養護教諭			
		キャリア スタート期 (教員養成 完成時・ 採用時)	育成期(第1ステージ) (1～5年目)	向上期(第2ステージ) (6～10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)
			教員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を	第1ステージの経験をもとに、保健教育や保健管理の専門的知識・技能を習得するとともに、学校保健活動の推進力と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。
			充実期前期 (11～15年目)	充実期後期 (16年目以降)	
素 養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識	よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。			
	前向きな姿勢、向上心、適応力	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。			
	教育的愛情、児童生徒理解、判断力	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる。			
	専門的知識・技能、指導力、構想力	保健教育、保健管理に関する専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる。			
	社会性、協調性、コミュニケーション力	学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図ることができる。			
	使命感、責任感、倫理観	教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神に基づき、責任ある言動をとることができる。			
保 健 教 育	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	・年間指導計画 ・単元構想 ・学習指導案	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、保健に関連する教科・領域の年間指導計画を把握した上で、児童生徒の実態に応じた単元構想や教材づくりに取り組んでいる。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、学年や教科の系統性を踏まえた年間指導計画の工夫・改善に参画するとともに、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした単元構想や教材開発に取り組み、専門性の向上を図っている。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を生かし、教科横断的な視点を持って校内の教育課程づくりに携わるとともに、現状分析をもとに学校や地域の特色を生かした単元構想や教材開発を行い、校内研究会等で改善案を提案している。
	・健康診断、健康観察、救急処置、環境衛生検査等、保健管理の基礎事項について理解している。	・教職員、学校医、学校歯科医と連携して、健康診断や健康観察を適切に実施するとともに、事後措置についても速やかに行っている。 ・学校における救急処置の範囲を理解し、校内の救急処置体制を確立した上で、養護教諭としての専門的な判断をしている。 ・学校薬剤師と連携して、環境衛生検査を的確に実施している。	・保健管理全般について、校内職員や外部機関等と連携し、観察、検査等を改善を図りつつ適切に実施している。 ・救急体制について全教職員の共通理解を図り、校内研修の充実に取り組みるとともに、関係する医療機関等と連携している。	・児童生徒の実態や状況を多面的に捉え、保健情報を総合的に評価し、個別の健康課題を的確にアセスメントしつつ、児童生徒一人ひとりの指導・支援を行っている。 ・学校全体の健康課題を的確に把握するとともに、地域にも目を向け、その解決に向けて組織的に対応している。	・教職員間の連携調整を図りながら、児童生徒の課題について適切にアセスメントするとともに、地域や関係機関との這類関係を構築し、支援体制を確立している。
保 健 管 理 及 び 児 童 生 徒 理 解 ・ 指 導	健康相談、教育相談、生徒指導及びいじめ・不登校、虐待防止対策	・個への対応 ・コミュニケーション能力	・健康相談、生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、児童生徒の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導・支援を行っている。	・児童生徒一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導・支援を行っている。 ・同僚の生徒指導上の悩みを理解し、課題の解決に向けて指導・助言を行っている。	・児童生徒の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導・支援を組織的に継続して行っている。 ・学校全体の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、児童生徒一人ひとりの課題の解決に向けて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所等の関係機関と連携しながら組織的に対応している。
	特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	・特別支援教育の視点	・児童生徒の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を理解し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。	・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき「個別の指導計画」の作成に参画し活用を行っている。	・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら合理的配慮を行っている。
	健康課題の把握と保健室経営	・児童生徒との関わり ・健康課題の解決	・保健室経営に関する基礎理論・知識を習得している。 ・児童生徒の健康実態を把握するために必要な情報を収集し、健康課題を分析している。	・保健室経営において、児童生徒の個別及び集団の健康課題の解決を図っている。	・学校教育目標を具現化するための保健室経営を展開している。
	学校安全への対応	・教急体制 ・危機管理	・学校教育的・社会的・制度的・法的・経営的理解に関する基礎理論・知識を習得している。	・校内の救急体制を把握し、適切に救急対応をしている。 ・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるための適切な対応や危機の未然防止に努めている。	・校内の救急体制、危機管理体制(危機管理マニュアル等)を把握し、必要に応じて危機管理体制の点検や改善を行っている。 ・学校全体の視点に立ち、危機の未然防止策や危機発生時の具体的な対応策について、校長に進言したり、教職員に指示したりするなどの対応を行っている。
学 校 運 営 ・ 教 職 員 連 携	家庭・地域とつながる力	・学校、家庭、地域との連携	・家庭・地域と連携し、児童生徒を共に育んでいこうとする関係を築いている。	・家庭・地域、関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。	・家庭・地域、関係機関等との連携、調整役として、保護者や地域等の協力を得ながら学校課題の解決に向けた取組を推進する役目として率先して行動している。
	組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)・保健組織活動(児童生徒保健委員会、学校保健委員会、外部連携等)	・目標 ・業務改善 ・奉仕 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり	・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。 ・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割と責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。 ・保健組織活動の企画・運営に参画し、自校の健康課題と結びつけて考えている。	・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。 ・学校全体を広く見渡す視点に立ち、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。 ・自校の健康課題を把握し、その解決に向けて保健組織活動の実践を行っている。	・様々な学校課題の解決に向けて、保健組織活動を中心に行い、組織力を向上させている。 ・組織全体について、自己の経験を生かしながら把握し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)としての教育活動を展開している。 ・教職員の意見を積極的に吸い上げるなど、風通しのよい職場作りにも努めるとともに、働き方改革の推進に取り組んでいる。
	・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を近隣他校、中学校区、全県的と視野を広げながら業務を遂行している。				

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標【栄養教諭、学校栄養主任、学校栄養職員】

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

観点 キーワード	ステージ	栄養教諭				
		学校栄養職員			学校栄養主任	
		キャリア スタート期 (教員養成 完成時・ 採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)	向上期(第2ステージ) (6~10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)	
		食に関する指導を行うために必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力及び給食管理に関する専門的知識・技能を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。	第1ステージの経験をもとに、食に関する専門的知識・技能を習得するとともに、食育の推進力と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をより一層高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。	充実期前期 (11~15年目)	充実期後期 (16年目以降)
素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識	よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。				
	前向きな姿勢、向上心、適応力	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。				
	教育的愛情、児童生徒理解、判断力	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる。				
	専門的知識・技能、指導力、精進力	食に関する専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる。				
	社会性、協調性、コミュニケーション力	学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図ることができる。				
使命感、責任感、倫理観	教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神に基づき、責任ある言動をとることができる。					
食に関する指導	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	【栄養教諭】 ・食に関する指導に係る全体計画 ・年間指導計画 ・単元構想 ・学習指導案	・「学習指導要領」の趣旨・内容を踏まえた食育の視点で理解し、地域の食育推進計画及び食育に関連する教科・領域の年間指導計画を把握し、食に関する指導に係る全体計画を作成するとともに、児童生徒の実態に応じた給食の時間及び教科等における食に関する指導に取り組んでいる。	・「学習指導要領」の趣旨・内容及び地域の食育推進計画を理解し、教職員との連携を図りながら学年や教科の系統性を踏まえた食に関する指導に係る全体計画及び年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした給食の時間及び教科等における食に関する指導に取り組む、専門性の向上を図っている。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を踏まえ、地域の食育推進計画及び教科を横断する知識・スキルをもち、現状況分析をもとに学校や地域の特色を生かした給食の時間及び教科等における食に関する指導を行い、校内研究会等で改善案を提案している。 ・学校における食育の企画・運営に積極的に携わり、食に関する指導に係る全体計画に沿った食育推進体制の充実を図っている。	・校長の示す学校教育目標や学校として目指す方向性、及び教育活動の在り方を踏まえ、学校の特色化・魅力化づくりに積極的に関与している。 ・地域の食育推進計画の改善や策定に参画するとともに、地域の特色や課題を考慮した学校における食育の中心的役割を果たしている。
	【学校栄養職員】 ・食に関する指導に係る全体計画 ・年間指導計画 ・単元構想 ・学習指導案	・食育の推進に係る基礎理論・知識を習得している。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を踏まえた食育の視点で理解し、地域の食育推進計画及び食育に関連する指導に係る全体計画を把握し、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした給食の時間及び教科等における食に関する指導に努めている。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、地域の食育推進計画及び食育に関する指導に係る全体計画を把握し、教職員との連携を図りながら、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした給食の時間及び教科等における食に関する指導に努め、専門性の向上を図っている。	・学校における食育の企画・運営に積極的に携わり、食に関する指導に係る全体計画に沿った食育の推進体制の充実を図るよう努めている。	・地域の食育推進計画の改善や策定に参画するとともに、地域の特色や課題を考慮して学校における食育の充実を努めている。
給食管理及び児童生徒理解・指導	給食管理	・栄養管理 ・衛生管理	・学校給食の施設設備や調理工程等を踏まえ、学校給食実施基準に基づき食品構成を考慮した献立を作成しようとしている。 ・地域の生産者や関係機関と連携し、学校給食に地産物や郷土食を積極的に取り入れている。	・児童生徒の成長や地域の特性を踏まえた栄養管理を行うとともに、適切な評価や改善に努めている。 ・地産物や郷土食を取り入れた給食を食に関する指導に活用し、食育の推進を図っている。	・児童生徒の実態に沿った栄養管理のあり方について関係者や共有し、課題の解決のための指導助言を行うことができる。 ・地域と連携し地産物の活用を充実するとともに、学校給食を活用した食に関する指導を計画的に行っている。	・給食運営について、積極的に関与している。 ・学校教育活動全体を通じた地産物の活用促進を行うとともに、食生活の改善や食文化継承に関する啓発を行っている。
	食に関する相談、生徒指導及びいじめ・不登校対策	・個への対応 ・コミュニケーション能力	・生徒指導、教育相談に関する基礎理論・知識を習得している。	・食に関する相談や生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、必要に応じて食物アレルギー等の児童生徒の特性や家庭環境等を把握し、個に応じた必要な指導・支援を行っている。 ・児童生徒の食に関する課題について、関係教職員への報告・連絡・相談を密に連携しながら、課題の解決に向けて組織的に取り組んでいる。	・児童生徒の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導・支援を組織的に継続して行っている。 ・児童生徒の食に関する課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、関係教職員及び関係機関と連携しながら組織的に対応している。	・個々の児童生徒の実態を的確に把握し、担任や学年団の相談役になるとともに、関係機関等との連携を積極的に図ることで、組織的な対応ができる体制づくりに努めている。
	特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	・特別支援教育の視点	・特別な配慮を必要とする児童生徒への指導に関する基礎理論・知識を習得している。	・児童生徒の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を把握し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。	・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき「個別の指導計画」の作成に参画し活用を行っている。	・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら合理的配慮を行っている。
学校運営・教職員連携	学校安全への対応	・危機管理	・給食管理における食物アレルギー対応、食中毒対応等、安全安心な給食の提供のための危機管理のあり方について理解している。 ・調理場における問題点を把握し、課題の解決に向けた報告や協議を行っている。	・学校給食における食物アレルギー対応、異物混入対応、食中毒対応等のマニュアルを整備し、積極的に提案や改善を行っている。 ・学校給食の安全について高い意識をもち、積極的に資質の向上を図っている。	・学校給食における食物アレルギー対応、異物混入対応、食中毒対応等の危機管理を組織的に推進している。 ・災害等、不測の事態における安全安心な学校給食の提供のあり方について理解している。	・学校給食における食物アレルギー対応、異物混入対応、食中毒対応等の危機管理について、関係機関、学校、家庭、地域などと協力体制を構築している。
	家庭・地域とつながる力	・学校、家庭、地域との連携	・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。	・家庭・地域と連携し、児童生徒を共に育んでいくことを関係者や保護者に働きかけている。 ・関係機関等と連携し、業務の充実を図っている。	・家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。	・家庭・地域等との連携、調整に努め、必要な情報を収集・発信しながら、学校課題の解決に向けた校内連携体制を構築している。
	組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり	・集団で業務を遂行する際、自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。 ・学校全体を広く見渡す視点に立って、自校の特色について把握し、その特色を生かして業務の充実を行っている。	・学校課題の解決に向けて、関係機関・異職種との連携を計画かつ積極的に行い、組織力を向上させている。 ・組織全体について、自己の経験を生かしながら内外の環境要因を広く見渡し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)としての教育活動を展開している。
*各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。						

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。

# 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標【実習教諭、実習助手】

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

職	実習助手				実習教諭	
	ステージ	キャリア スタート期 (採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)	向上期(第2ステージ) (6~10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)	
		観 点 キ ー ワ ー ド		実習助手としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。	第1ステージの経験をもとに、実習指導の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をより一層高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。
素 養		よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる。	実践・実習に関する専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる。	学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図ることができる。
		教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神に基づき、責任ある言動をとることができる。				
実 験 ・ 実 習	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	・年間指導計画 ・単元構想 ・学習指導案	・年間指導計画に基づいて実践・実習の指導により生徒の技能を高めるとともに、児童生徒の実態を把握し、その実態に応じた指導に取り組んでいる。 ・実践・実習に関する施設、設備、器具等の安全及び管理に関する技能と知識を習得している。 ・情報教育機器の活用に関する知識を習得している。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の実習指導、特別支援学校における各教科等における指導に関する年間指導計画の工夫・改善を提案するとともに、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした指導方法の改善に取り組み、専門性の向上を図っている。 ・実践・実習に関する施設、設備、器具等の管理の在り方の改善を図っている。 ・児童生徒一人ひとりの特性や健康状況等に応じた実践・実習における安全管理を行っている。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の実習指導、特別支援学校における各教科等における指導に関する年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、学校や地域の特色を生かした実践・実習の開発を行い、校内研究会等で改善案を提案している。 ・実践・実習に関する施設、設備、器具等の管理体制及び安全管理に係る改善案を提案している。	・校長の示す学校教育目標や学校として目指す方向性、及び教育活動の在り方を踏まえ、学校の特色化・魅力化づくりに積極的に関与している。 ・実践・実習に関する施設、設備、器具等の管理及び安全管理に関する実践的・主体的な取り組みを行っている。
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・学習集団 ・指導計画 ・指導法工夫 ・授業改善 ・主体的、対話的で深い学び ・情報教育機器(ICT)の活用	・指導において、教諭と連携して課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現に努めている。 ・指導において、情報機器等を積極的に活用するなどの実践をしている。	・情報機器等を活用した教材を開発する等の、工夫ある授業を実践することで、専門性の向上を図っている。	・教諭と連携して、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践している。 ・情報機器等を活用した教材を開発するなどの、工夫ある授業を実践することで、児童生徒の学びの質の向上を図っている。	・教諭と連携して、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践するとともに、教科横断的な視点を持って校内における授業改革の推進を行っている。 ・情報機器等を活用した教材を開発するなどの、工夫ある授業を実践するとともに、他の教職員に情報機器等の効果的な活用方法を提案している。
児 童 生 徒 理 解 ・ 指 導	教育相談、生徒指導、いじめ・不登校対策及び特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	個への対応 コミュニケーション能力 特別支援教育の視点	・児童生徒一人ひとりの実態把握に基づく、個に応じた教育の重要性を認識している。 ・児童生徒の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導を行っている。 ・いじめ・不登校等の課題に対して、関係教職員への報告・連絡・相談を密にして対応している。 ・児童生徒の「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導を行っている。	・児童生徒一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導を行っている。 ・生徒指導上の課題を把握し、解決に向けて組織的に対応している。 ・いじめ・不登校等の課題について、解決に向けて組織的に対応している。 ・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき実践・実習の側面から「個別の指導計画」の作成に向けた提案と活用を行っている。	・学校全体の児童生徒の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導を組織的に継続して行っている。 ・学校全体の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、組織的に対応している。 ・組織的な校内支援体制に基づき、合理的配慮を行っている。	・個々の児童生徒の実態を的確に把握し、担任や学年団に対応策を提案することで、組織的な対応ができる体制づくりに努めている。
	キャリア教育(生き方・進路指導)	・生き方指導	・キャリア教育(生き方・進路指導)の重要性を認識している。 ・児童生徒の実態や学校(学科)の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握するとともに、児童生徒に、卒業時点で「何ができるようにさせたいか」を具体的に定めている。	・キャリア教育(生き方・進路指導)に必要な知識を習得し、児童生徒に将来の夢や希望を持たせる指導を行うとともに、地域や故郷への愛着を育む指導を行っている。	・児童生徒の夢や希望及び実態を的確に把握し、キャリア教育(生き方・進路指導)の視点に立って、個に応じた適切な指導を行っている。	
学 校 運 営 ・ 教 職 員 連 携	学校安全への対応	・危機管理	・専門分野の実験・実習に関して、想定しうる危険性とその対応策を把握している。 ・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立って、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立って、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、必要に応じて危機管理体制の点検や改善をしている。	・学校全体の視点に立って、危機の未然防止策や危機発生時の具体的な対応策について、校長に進言したり、教職員に提案したりするなどの対応を行っている。
	家庭・地域とつながる力	・学校、家庭、地域との連携	・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。 ・家庭・地域と連携し、児童生徒を共に育てていこうとする関係を築いている。	・家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。	・家庭・地域・関係機関等との連絡・調整に努め、必要な情報を収集・発信しながら、学校課題の解決に向けた校内体制を構築している。	・家庭・地域等との連携、調整役として、保護者や地域等の協力を得ながら学校課題の解決に向けた取組を推進する役目として率先して行動している。
	組織として連携・協働する力(同僚・関係機関、異職種)	・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり	・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。 ・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。 ・学年や教科等の組織から学校全体を広く見渡す視点に立って、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。	・学校課題の解決に向けて、関係機関・異職種との連携を計画のかつ積極的に、組織力を向上させている。 ・組織全体について、自己の経験を生かしながら内外の環境要因を広く見渡し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)としての教育活動を展開している。	・様々な学校課題の解決に向けて、教職員連携や関係機関等との連携・協働体制の構築に向けて、校長を補佐しながら「チーム学校」(効果的・効率的な組織)作りを努めている。 ・教職員の意見を積極的に吸い上げるなど、風通しのよい職場作りを努めるとともに、働き方改革の推進に取り組んでいる。
			・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。			

# 鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標【寄宿舍教諭・寄宿舍指導員】

令和6年4月1日 鳥取県教育委員会

観点 キーワード	ステージ	寄宿舍指導員		寄宿舍教諭		
		キャリア スタート期 (採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)	向上期(第2ステージ) (6~10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)	
					充実期前期	充実期後期
		<p>寄宿舍指導員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。</p>		<p>第1ステージの経験をもとに、舎生の指導についての専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。</p>		
				<p>第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性を発揮して舎生の指導に当たるとともに、広い視点から寄宿舍運営に積極的に参画する。</p>		
素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識	よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。				
	前向きな姿勢、向上心、適応力	学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。				
養	教育的愛情、児童生徒理解、判断力	児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる。				
	専門的知識・技能、指導力、構想力	舎生の指導に関する専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる。				
使命感、責任感、倫理観	社会性、協調性、コミュニケーション力	学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域等と連携・協働を図ることができる。				
	使命感、責任感、倫理観	教育公務員としての倫理観及び法令遵守の精神に基づき、責任ある言動をとることができる。				
日常生活上の世話	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	・障がいや支援方法に関する技能と知識を習得している。	・「学習指導要領」の趣旨を踏まえ、舎生一人ひとりの健康・障がいの程度等を把握し、教職員や保護者と連携して児童生徒一人ひとりに応じた適切な支援を行っている。	・「学習指導要領」の趣旨を踏まえ、舎生の実態や学校、地域の特色を生かした支援方法の改善に取り組み、教職員や保護者と連携して児童生徒一人ひとりに応じて支援の充実を図っている。	・「学習指導要領」の趣旨を生かし、現状分析をもとに教職員や保護者と連携して学校や地域の特色を生かした支援方法の開発を行い、改善案を提案している。	
	舎生の理解と寄宿舍運営	・舎生との関わり ・集団づくり	・寄宿舍運営計画をもとに、適切に業務を遂行している。	・寄宿舍運営において、舎生の個別理解を図るとともに、集団の状況を把握している。	・運営目標に対する寄宿舍の現状を的確に分析し、改善に向けた具体的な方策を提案している。	
舎生の理解と生活・生徒指導	教育相談、キャリア教育、生徒指導及びいじめ・不登校対策	・児童生徒一人ひとりの実態把握に基づき、個に応じた教育の重要性を認識している。	・教育相談や生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、舎生の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導・支援を行っている。 ・いじめ・不登校等の課題に対して、関係教職員への報告・連絡・相談を密にして、解決に向けて対応している。	・舎生一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導・支援を行っている。 ・同僚の生徒指導上の悩みを理解し、課題の解決に向けて指導・助言を行っている。 ・いじめ・不登校等の課題について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、課題の解決に向けて組織的に対応している。	・舎生の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導・支援を組織的に継続して行っている。 ・舎生の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、関係機関と連携しながら組織的に対応している。 ・キャリア教育の全体計画や年間指導計画の内容を理解し、系統だった指導を組織をまとめながら適切に実践している。	
	特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	・特別支援教育の視点	・舎生の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。	・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。	・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら合理的配慮を行っている。 ・自立活動の内容に基づいた専門的な生活指導を行っている。 ・教員と連携し、「個別の指導計画」の作成に携わり、それを活用して指導を行っている。	
学校運営・教職員連携	学校安全への対応	・危機管理	・寄宿舍において、想定する危険性とその対応策を十分把握している。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、寄宿舍を広く見渡す視点に立った上で、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル等)を把握し、必要に応じて危機管理体制の点検や改善をしている。	
	家庭・地域とつながる力	・学校、家庭、地域との連携	・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。	・家庭・地域と連携し、舎生を共に育んでいこうとする関係を築いている。	・家庭・地域・関係機関等との連携・調整に努め、必要な情報を収集・発信しながら、学校課題の解決に向けた校内体制を構築している。	
組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり	・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。	・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・寄宿舍の課題の解決に向けて、関係教職員との連携を計画的かつ積極的に行い、組織力を向上させている。 ・組織全体について、自己の経験を生かしながら内外の環境要因を広く見渡し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)としての教育活動を展開している。	
			・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。	・様々な学校課題の解決に向けて、教職員間や関係機関等との連携・協働体制の構築に向けて、校長を補佐しながら「チーム学校」(効果的・効率的な組織)の作りに努めている。 ・教職員の意見を積極的に吸い上げるなど、風通しのよい職場作りに努めるとともに、働き方改革の推進に取り組んでいる。		

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標  
【事務主幹・事務副主幹・事務主事】【事務長・事務次長・主事】

令和3年4月1日 鳥取県教育委員会

観点	ステージ	事務主事			事務副主幹	事務主幹		評価 育成 制度 にお ける 評価 の 観点		
		主事			係長級	事務次長				
		(基礎づくり期) 1～2年目	(基礎能力定着期) 3～5年目	(能力活用期) 6年目～		係長級	事務長			
		基礎づくり期の業務を担い、指導・育成を行う。求められる業務を期限内に処理できる。	基礎能力定着期の業務を担い、指導・育成を行う。求められる業務を期限内に処理できる。	能力活用期の業務を担い、指導・育成を行う。求められる業務を期限内に処理できる。	係の業務の実施責任者として、困難性のある業務にも、部下育成を推進することができる。	管理職の代行者として、管理職と協力して円滑な組織運営・業務管理を行うとともに、部下育成を推進することができる。	課長補佐級	組織の総括責任者として、円滑な組織運営・業務管理を行うとともに、ワークラフ・フロンティアを支援しながら、部下職員を適切に指導・育成することができる。		
素養		公平・公正な職務遂行に 使命感・誇り(志)・意欲を持って取り組む職員 円滑なコミュニケーションにより 組織の内外で連携を図る職員 地域・組織の課題やその解決策について 自ら進んで考え、行動する職員 地域を支える「人財」として 成長し続ける職員 県民の幸福(充実した生活、安心)の実現に向けた高い使命感や誇りを持つ職員 公務員としての役割を果たす高いコンプライアンス意識を持つ職員							取組姿勢	
企画立案・業務の遂行	【業務の遂行】 ■業務の高度化、複雑化に対応できる高い専門能力(専門性) ■成果を生み出すために、自らの能力を高め、最大限に発揮しようとする意欲や行動力	*公文書の起草・発行・引継ぎ、ノーツなど基幹システムの使用、上司等への提案の表明など、基礎的な業務処理ができています。							遂行	
		*ミス、遅れ等が少なく、正確で迅速な業務遂行ができています。								
		*自分の考えを資料にまとめ、検討結果等をわかりやすく資料にまとめることができます。		*地域や保護者への説明資料、報道提供資料、議会等への報告資料など緊急な重要資料を作成できている。	*地域や保護者への説明資料、報道提供資料、議会等への報告資料など緊急な重要資料を作成できている。	*適切な状況把握のもと、様々な事態を想定しながら、重要度・緊急度も踏まえ、状況と相談しながら組織対応が迅速に対応できている。				
		*自己の知識・技能の専門性を高めている。		*自己の知識・技能の専門性を高め、高度化、複雑化に対応できている。	*業務の根拠となる法令、条例、要綱等を理解し、必要に応じて、学校を代表して問い合わせ等に対応できている。	*業務の根拠となる法令、条例、要綱等を理解し、必要に応じて、学校を代表して問い合わせ等に対応できている。	*業務の根拠となる法令、条例、要綱等を理解し、学校を代表して問い合わせ等に対応できている。	*重要な事項などの重要課題、不測の事態には自らの判断を伴いつつ、必要に応じて校長と相談しながら組織として対応している。		
【企画立案】 ■環境変化の中で、地域や組織の課題に気づき、論理的に考察、判断し、その解決策を見つめる力 ■県民視点に立って課題の把握や解決策を検討し、具体化する力	*上司や管理職の指示などを正しく理解することができている。		*組織目標、自らの職務の意義・意義、上司や管理職の指示などを正しく理解することができている。	*課題や地域・保護者等のニーズを踏まえて上司や管理職の指示と連携して具体的な施策の企画・立案ができています。	*課題や地域・保護者等のニーズを踏まえて効果的な施策の企画・立案ができています。	*課題や地域・保護者等のニーズを踏まえて効果的な施策の企画・立案ができています。	*課題や地域・保護者等のニーズを踏まえて効果的な施策の企画・立案ができています。	*県の基本方針、県の取組状況等を理解し、学校や管理業務、組織上の課題を認識できている。	学校運営	
	*論理的に物事を分析・検討できている。		*論理的に物事を分析・検討できている。	*学校や地域の状況も意識・把握して、学校の課題も意識・論理的に学校全体の視点から、物事を分析、検討できている。	*学校や地域の状況も意識・把握して、学校全体の視点から、論理的に物事を分析、検討できている。	*学校や地域の状況も意識・把握して、学校全体の視点から、論理的に物事を分析、検討できている。	*学校や地域の状況も意識・把握して、学校全体の視点から、論理的に物事を分析、検討できている。	*大域的、中長期的な視点の広い観点で、論理的に物事を分析、検討できている。		
	*新提案や制度見直しを提案している。		*新提案や制度見直しを提案している。	*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。	*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。	*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。	*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。	*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。		*上司、部下や他の教職員の業務の進捗状況に応じた必要な支援、指示ができています。
	*業務の実施状況を振り返り、点検し、改善・見直しに取り組んでいる。		*業務の実施状況を振り返り、点検し、改善・見直しに取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。		*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。
業務(組織)マネジメント	■業務目標の達成に向け、業務を的確にマネジメントする力	*計画的に業務を処理し、進捗状況を管理できている。		*学校目標、担当業務の進捗状況を確認し、上司や管理職の指示や目標を認識できている。	*学校目標、担当業務の進捗状況を確認し、上司や管理職の指示や目標を認識できている。	*学校目標、担当業務の進捗状況を確認し、上司や管理職の指示や目標を認識できている。	*学校目標、担当業務の進捗状況を確認し、上司や管理職の指示や目標を認識できている。	*学校目標、担当業務の進捗状況を確認し、上司や管理職の指示や目標を認識できている。	創意工夫	
		*業務の実施状況を振り返り、点検し、改善・見直しに取り組んでいる。		*業務の実施状況を振り返り、点検し、改善・見直しに取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。	*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。		*担当業務の目標達成に向けPDCAサイクルを実践し、見直しや改善に取り組んでいる。
		*上司や管理職等と相談しながら目標の設定や業務計画の策定ができています。		*業務の目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。		*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。
		*担当業務の優先順位が付けられている。		*業務の目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。	*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。		*学校目標を踏まえた担当業務目標を設定できている。
対話・調整・協調	■円滑なコミュニケーションや協働・連携の基礎となる対話力、調整力 ■組織のチームワークにつながる協調性・貢献力	*相手の意見を理解し、自らの意見や考えを説明できている。		*課題、対応案など、ポイントを押さえて説明できている。					創意工夫	
		*一人で業務を進めず必要に応じて他の教職員に助言や協力を依頼できている。		*自らや関係職員間で課題等を抱え込まずに必要に応じて他の教職員に助言や協力を依頼できている。	*外部や他の教職員の意見を聞き、担当業務、組織方針等を説明・調整し、説明している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。		
		*学校の一人として自ら進んで他の教職員と連携・協力できている。		*地域や保護者等からの要望、相談等に対して的確に対応できている。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。	*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。		*関係者の主張・意見を丁寧に聞き、学校の方針や考えをわかりやすく説明し、必要に応じて関係者からの納得・協力を導き出している。
		*組織への貢献		*後輩職員へ助言しながら効果的に仕事を進めている。	*後輩職員を指導・助言しながら仕事を進め、組織に貢献している。	*部下をはじめ他の教職員からの相談等に適切に対応できている。	*必要に応じて上司や管理職のサポートや代行ができています。			
人材育成・人材マネジメント	■仕事を通じて職員を指導し、育てる能力(人材育成能力)	*人事評価の目的やルールを理解し、適正に人事評価を実施し、部下の能力、適性を的確に把握している。							学校運営	
		*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。		*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。	*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。	*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。	*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。	*上司や管理職と相談しながら部下(後輩職員)に対し、人材育成、能力開発の観点から適切な指導、助言を行っている。		
		*部下の健康面、勤務状況、悩みなどに関心をもち、人事上の配慮が行われている。								
		*職場の安全衛生について配慮・点検し、具体的な対策を行っている。								

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標  
【司書主任・司書】

令和5年4月1日 鳥取県教育委員会

観点	職 ステージ	司書			司書主任	評価 育成 制度 における 評価の 観点 における		
		(基礎づくり期) 1・2年目	(基礎能力定着期) 3～5年目	(能力活用期) 6年目～	係長級			
		基礎づくり期の学校司書として、求められた業務を期限までに処理できる。	基礎能力定着期の学校司書として、業務の課題を把握し改善の視点も入れながら業務を処理できる。	能力活用期の学校司書として、職務能力を発揮し関係機関との調整などもできる。	学校司書のモデルになる存在として、困難性のある業務は自ら処理するとともに、学校現場における先駆的な取組や他校の司書の支援を行うことができる。			
素養	協働と連携により、学校教育目標の実現に貢献する事務職員	公平・公正な職務遂行に 使命感・誇り(志)・意欲を持って取り組む職員				取組姿勢		
		円滑なコミュニケーションにより 組織の内外で連携を図る職員						
		地域・組織の課題やその解決策について 自ら進んで考え、行動する職員						
		地域を支える「人財」として 成長し続ける職員						
		県民の幸福(充実した生活、安心)の実現に向けた高い使命感や誇りを持つ職員						
企画立案・業務の遂行	【業務の遂行】 ■業務の高度化、複雑化に対応できる高い専門能力(専門性) ■成果を生み出すために、自らの能力を高め、最大限に発揮しようとする意欲や行動力	・ミス、漏れ等が少なく、正確で迅速な業務遂行ができています。				業務遂行		
		・自己の知識・技能の専門性を高めている。	・自己の知識・技能の専門性を高め、高度化、複雑化に対応できている。					
		・日頃から主体的に学校図書館の管理・運営に関する情報や、生徒や教員の情報ニーズへの対応に資する情報の収集に努めている。 ・業務に必要な知識・技能を習得し、実務処理に活用できている。		・日頃から主体的に学校図書館の管理・運営に関する情報や、生徒や教員の情報ニーズへの対応に資する情報の収集に努めている。 ・業務に関連する幅広い知識・技能を習得し、課題解決、実務の処理などで活用している。				
		・管理職や司書教諭等への適時・適切な報告・連絡・相談を行いながら業務を処理できている。						
	【業務の遂行】 ■学校図書館の適切な運営・管理	・図書館資料の管理、施設・設備の整備及び学校図書館の運営を適切に行い、利用者が使いやすい学校図書館を日常的に整備できている。		・図書館資料の管理、施設・設備の整備及び学校図書館の運営を適切に行い、学校における学校図書館の意義を果たすことのできる学校図書館を整備できている。				
		・図書館利用方法の案内やレファレンスサービス、読書推進活動を通して、生徒の支援を行っている。		・図書館利用方法の案内やレファレンスサービス、読書推進活動を通して、生徒の支援、学校における読書活動の推進を行っている。				
	【業務の遂行】 ■生徒に対する教育への支援	・司書教諭や教員等との連携・協働等により、教員が学校図書館を活用して行う授業等において、生徒へ指導的に関わりながら支援を行っている。		・司書教諭や教員等との連携・協働等により、生徒の発達段階や学習指導要領に基づく学習内容に応じ、教員が学校図書館を活用して行う授業等において、生徒へ指導的に関わりながら支援を行っている。				
		・図書館資料等を活用した生徒や教員の情報ニーズへの対応を行っている。 ・探究的な学習等におけるレファレンスサービスやICTの活用等により、生徒の情報活用能力の育成への支援を行っている。		・図書館資料等を活用した生徒や教員の情報ニーズへの対応を主体的に行っている。 ・探究的な学習等におけるレファレンスサービスやICTの活用等により、生徒の情報活用能力の育成への支援を主体的に行っている。				
	【企画立案】 ■学校の教育活動や生徒等の状況を把握し、論理的に考察、判断し、その解決策を見つめる力 ■県民視点に立って課題の把握や解決方を検討し、具体化し、実行する力	・管理職の指示などを正しく理解することができる。 ・司書教諭等の教職員や関係機関と連携して具体的な施策の企画・立案に向けた工夫をしようとしている。		・組織目標、自らの職務の意義・背景、管理職の指示などを正しく理解することができる。 ・司書教諭等の教職員や関係機関と連携して具体的な施策の企画・立案に向けた工夫ができています。			・学校の教育活動や生徒等のニーズを踏まえて司書教諭等の教職員や関係機関と連携して具体的な施策の企画・立案ができています。	
		・学校図書館における各種施策や運用方法を正しく理解している。		・論理的に物事を分析・検討できている。 ・学校図書館における新規施策や運用方法見直しを提案している。			・学校の教育活動や生徒等の状況も意識・把握して、学校図書館の課題も認識し、論理的に学校全体の視点から、物事を分析、検討できている。 ・司書教諭等の教職員や他校の司書、関係機関とも連携して広く情報を収集し、コスト、効果等の考慮すべき事項を踏まえ、学校図書館の課題の解決策を企画できている。	
業務(組織)マネジメント	■業務目標の達成に向け、業務を的確にマネジメントする力	・計画的に業務を処理し、進捗状況を管理できている。		・学校目標、学校図書館の業務を取り巻く状況、管理職の指示等を理解し、学校図書館の業務の取り組む課題を認識できている。		創意工夫		
		・業務の実施状況を振り返り、点検することができる。	・業務の実施状況を振り返り、点検し、改善・見直しに取り組んでいる。					
	【組織マネジメント】 ■組織目標の達成に向け、組織を的確にマネジメントする力	・管理職や司書教諭等と相談しながら目標の設定や業務計画の策定ができています。		・管理職や司書教諭等と連携して業務の目標を設定できている。		・学校目標を踏まえた学校図書館の業務目標を設定できている。		
		・管理職や司書教諭等と相談しながら学校図書館の業務の優先順位が付けられている。		・課題等を踏まえた年間・複数年の計画を策定できている。		・学校の教育活動の展開や予算等を意識して学校図書館の業務の計画を策定し、進捗管理ができています。 ・緊急度、重要度を踏まえて学校図書館の業務の優先順位が付けられている。		
対話・調整・協調	■円滑なコミュニケーションや協働・連携の基礎となる対話力、調整力 ■組織のチームワークにつながる協調性・貢献力	・相手の意見を理解し、自らの意見や考えを説明できている。		・課題、対応案など、ポイントを押さえて説明できている。		創意工夫		
		・一人で業務を抱え込まずに必要に応じて管理職や他の教職員、他校の司書、関係機関に助言や協力を依頼できている。		・自らや関係職員間で課題を抱え込まずに必要に応じて管理職や他の教職員、他校の司書、関係機関に助言や協力を依頼できている。				
		・生徒や管理職、他の教職員等からの要望、相談等に対応できている。		・関係機関や管理職、他の教職員の意見を聴き、自らの業務・意見を調整・説明している。 ・関係機関や管理職、他の教職員の意見を聴き、学校図書館の業務、運営方針等を説明・調整し、納得・協力を導き出している。				
	■組織への貢献	・学校の一人として自ら進んで他の教職員と連携・協力ができている。		・生徒や管理職、他の教職員等からの要望、相談等に対して的確に対応できている。		学へ校の連参画		
		・必要に応じて管理職のサポートができています。						
人材育成・マネジメント	■仕事を通じて職員を支援し、育てる能力(人材育成能力)				学校運営への参画			
		・学校司書のモデルとなる存在として、人材育成、能力開発の意識を持ち、県立図書館と連携しながら他校の司書からの相談への対応や支援を行っている。				学校運営への参画		

## **【研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励】**



# 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の実施について

鳥取県教育センター

## I 新たな教師の学びの姿の実現に向けて

新たな教師の学びの姿として求められているのは、一人一人の教師が、自らの専門職性を高め、いくつあると自覚しながら、誇りをもって主体的に研修に打ち込むことである。その鍵である、教師の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現は、児童生徒等の学びのロールモデルとなることにもつながる。

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の意義は、教師が必要な学びを主体的に行っていくことにある。このため、指標や研修計画とも相俟って、適切な現状把握と主体的・自律的な目標設定の下で、新たな学びに向かうための「手段」として研修履歴が活用されることが重要である。

多様な専門性を有する質の高い教職員集団の構築に向け、多様な内容・スタイルの学びが重要視されていく中で、この研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の仕組みを、教師が自らの強みや得意分野の再認識と自信につなげ、学び続け、成長する教師の「次なる学びのエンジン」としていくことを期待する。

## II 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する基本的な考え方

研修履歴の記録は、指標や研修計画を踏まえて行う教育公務員特例法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励において活用されることが基本である。その中で各教師が学びの成果を振り返ったり、自らの成長実感を得たりすることが一層可能になると考えられる。また、これまで受けてきた研修履歴を可視化することにより、無意識のうちに蓄積されてきた自らの学びを客観視した上で、さらに伸ばしていきたい分野・領域や新たに能力開発をしたい分野・領域を見出すことができ、主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることを期待している。

対話に基づく受講奨励は、教師と学校管理職とが対話を繰り返す中で、教師が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことが基本である。新たな教師の学びの姿が、変化の激しい時代にあつて、教師が探究心をもちつつ、自律的に学ぶこと、主体的に学びをマネジメントしていくことが前提であることを踏まえ、対話に基づく受講奨励は、教師の意欲・主体性と調和したものとなるよう、当該教師の意向を十分にくみ取って行うことを望むものである。

## III 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等

### 1 対象となる教師の範囲

教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励の対象となる「公立の小学校等の校長及び教員」の範囲は以下のとおりである。

- ① 「公立の小学校等」とは、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園である。
- ② 「校長及び教員」とは、校長（園長を含む）、副校長（副園長を含む）、教頭、主幹教諭（幼保連携型認定こども園の主幹養護教諭及び主幹栄養教諭を含む）、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭及び講師（教育公務員特例法施行令（昭和24年政令第6号）第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く）である。

- ③ 臨時的任用教員等は、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではないが、口頭での確認等により対話に基づく受講奨励を行うこともできる。

## 2 研修履歴の記録の目的

研修履歴の記録は、教師が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修の奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的としている。

## 3 研修履歴の記録の範囲

教特法第22条の5第1項に基づいて、研修等に関する記録を作成するにあたり、本県における研修履歴の記録の範囲は、次のとおりとする。

### ○ 必須記録研修等

① 研修実施者が実施する研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県教育委員会（教育センター、小中学校課、高等学校課、特別支援教育課等）が主催する研修（島根県教育センター及びしまだい学校教員研修を含む）</li> <li>・ 鳥取市教育委員会が実施する研修（鳥取市立の小・中・義務教育学校に勤務する県費負担教職員）</li> </ul>
② 大学院修学休業により履修した大学院の課程等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県教育委員会が派遣する大学院等（教職員支援機構、国立特別教育総合研究所等への派遣を含む）</li> </ul>
③ 県教育委員会が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

### ○ 任意記録研修等

④ 職務研修として市町村教育委員会等が実施する研修等
⑤ 学校現場で日常的な学びとして行われる一定の校内研修・研究等
⑥ 教師が自主的に参加する研修等（教育関係諸団体の研修も含む）

## 4 研修履歴の記録の方法

令和5年度の受講履歴は、教職員評価・育成制度で使用している自己申告書に、これまでと同様に記録し、対話に基づく受講奨励に活用する。

年度当初に作成する自己申告書の「今後受講を希望する主な研修」欄に、必須記録研修等を含め、3つ程度記録する。年度中は、新たに受講した研修を追記する。欄に記録したが受講しなかった研修は、「時期・期間（期日）」を「未受講」に修正する。

記録する項目は、①研修名、②主催者、③時期・期間（期日）の3点とする。

### ○ 自己申告書の記入例

前年度の主な研修記録	今後受講を希望する主な研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初任者研修、教育センター、通年</li> <li>・ 道徳教育推進研修、教職員支援機構、10月19日～21日</li> <li>・ 児童理解、島根県教育センター、6月30日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校理科、教育センター、10月24日</li> <li>・ 地域問題解決型学習、島根大学、未受講</li> </ul>

## 5 対話に基づく受講奨励の方法・時期

対話に基づく受講奨励は、指標や研修体系を踏まえつつ、目標面談や最終面談等を活用して校長が行う。そのほか、様々な機会をとらえて、対話に基づく受講奨励を行うことが望ましい。

校長への対話に基づく受講奨励については、教育長が行う。

○ 対話に基づく受講奨励を行う際の観点

- ① 教職員の意欲や主体性の尊重
- ② 学校組織の一員としての総合的な機能の発揮
- ③ 教職員個人の人材育成

月	対象者	奨励者
4月	<p>○これまでと同様に、自己申告書を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「前年度の主な研修記録」</li> <li>・「今後受講を希望する主な研修」</li> </ul>	
<div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>目標面談（4月～6月）</b> </div>		
6月	<p>○自らの資質能力の向上につながる研修計画に関する目標設定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの専門職性を高めるための主体的な学びのマネジメント</li> <li>・学校を支える力を獲得・強化する観点からの自らの職能開発</li> </ul>	<p>○研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標・研修体系や教職員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成</li> <li>・学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保等</li> </ul>
	<p>○受講した研修について、自己申告書の「今後受講を希望する主な研修」欄に追記する。</p> <p>○希望する研修として記録したが、受講しなかった研修は、「時期・期間（期日）」を「未受講」に修正する。</p>	<p>○研修に係る出張後の復命時等、様々な機会をとらえて、対話に基づく受講奨励を行うことが望ましい。</p>
1月	<div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>最終面談（1月～3月）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長段階に応じて指標に定められた資質能力が、どれくらい身に付けられているかを確認・共有する。</li> <li>・次年度以降の職能開発の目標を話し合う。</li> </ul> </div>	
3月	<p>○研修履歴を活用しつつ、OJTや校内研修、校外研修等による学びの成果や今後の課題等を振り返る。</p>	<p>○年間の繁忙状況等を考慮した上での教職員個人の職能開発の参加状況、OJTや校内研修等の実施状況を踏まえ、研修履歴を振り返りながら、今後の資質向上のための指導助言を行う。</p>

※参照資料「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」  
(令和4年8月文部科学省)

# **【令和6年度 教職員研修実施要項】**

# I 令和6年度教職員研修の概要

鳥取県教育センター

## 1 教職員研修の基本方針

県教育委員会が設置した教職員育成協議会（研修計画等分科会）で研修内容等について協議し、「鳥取県公立学校の 校長・教員・教職員としての資質の向上に関する指標」を踏まえた研修を実施する。

- (1) 教職員のキャリアステージに沿って研修を体系化し、教職経験に応じて職務の遂行に必要な資質・指導力の向上を図る研修を実施する。
- (2) 本県教育の現状と課題を踏まえ、今日的な教育課題の解決に向けた研修を実施する。
- (3) 教職員のニーズに応じた研修内容・方法等の工夫改善を図り、多様で効果的な研修を実施する。

「教師の学びと児童生徒の学びは相似形」であることを意識し、受講者の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「研修観」の転換を図ります。

## 2 教職員研修体系の概要

ステージ	育成期(第1ステージ)	向上期(第2ステージ)	充実期(第3ステージ)	
	1～5年目	6～10年目	11～15年目	16年目以降
重点内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1ステージの経験をもとに、学習指導や学級経営の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。</li> </ul>	
基本研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手育成研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用教員研修</li> <li>初任者研修</li> <li>2年目研修</li> <li>3年目研修</li> </ul> </li> <li>6年目研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修</li> <li>16年目研修</li> </ul>		
職務研修			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>管理職研修                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>学校CIO研修   <ul style="list-style-type: none"> <li>新任教頭研修</li> <li>新任副校長研修</li> <li>新任校長研修</li> </ul> </li> <li>新任事務長研修</li> <li>事務主幹・事務長研修</li> </ul> </li> <li>新任主幹教諭研修</li> <li>学校リーダー研修</li> <li>ミドルリーダー研修</li> </ul> </li> <li>主任・主事等研修</li> <li>職務に応じた研修</li> </ul>	
専門研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育、教科指導等、情報教育、特別支援教育、教育相談・生徒指導・学級経営等、人権教育、各種教育等 ※事務局各課主催研修含む</li> <li>鳥取県教育センター、鳥根大学、他の行政機関、企業等との連携講座</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上ゼミナール</li> <li>・プロジェクト型学習推進教員養成</li> <li>・次世代を担う教員養成プロジェクト 等</li> <li>・学校訪問型研修(指導主事派遣研修)</li> <li>・指導改善研修</li> <li>・ポータルサイトによるオンデマンド動画配信</li> </ul>			

### 3 教職員研修区分

#### (1) 研修区分

教育センターが実施する研修を次のように区分し、教職経験・研修課題に応じた研修を実施する。

基本研修	初任者研修、新規採用教員研修、教職経験者研修
職務研修	学校経営研修、主任・主事等研修、職務に応じた研修
専門研修 (希望制)	幼児教育、教科指導等、各種教育課題等 島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修
その他	指導力向上ゼミナール(中学校英語)、プロジェクト型学習推進教員養成研修、次世代を担う教員養成プロジェクト、とっとり未来教師セミナー、学校訪問型研修(指導主事派遣研修)、指導改善研修、ポータルサイトでのオンデマンド動画配信

#### (2) 基本研修

##### ①初任者研修・新規採用教員研修

○教職一般について円滑な職務遂行に必要な基礎的な知識・技能の習得を図る研修を実施する。

**【対象】** 令和6年度新規採用の幼稚園教諭及び幼保連携型認定こども園保育教諭、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教諭、養護教諭

	幼稚園・幼保連携型認定 こども園 教諭・保育教諭	小・中・義・高・特 教諭		養護教諭	
主 体	日 数	日 数	合 計	日 数	合 計
教育センター	8日	10日	14日	10日	12日
地教委・県立学校		4日		2日	

※詳細は新規採用幼稚園・幼保連携型認定こども園教員研修、初任者研修、新規採用養護教諭研修の各実施要項及び実施手引を参照のこと。

##### ②教職経験者研修

○教職経験に応じて、教科等の指導力の向上、教育課題に対応できる指導力の向上等を図る研修を実施する。

○学校組織マネジメントの手法をキャリアステージに応じて取り入れた研修を実施し、各研修における内容の重点化を図り実施する。

##### ア 2年目研修

**【対象】** 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭及び養護教諭で、その在職期間が1年に達した者のうち、2年目研修の未修了者

	小・中・義・高・特 教諭	養護教諭
主 体	日 数	日 数
教育センター	3日	3日 (「先輩に学ぶ」研修1日を含む)

※詳細は、2年目研修実施要項及び実施手引を参照のこと。

##### イ 3年目研修

**【対象】** 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭及び養護教諭で、その在職期間が2年に達した者のうち、3年目研修の未修了者

	小・中・義・高・特 教諭	養護教諭
主 体	日 数	日 数
教育センター	3日	3日

※詳細は、3年目研修実施要項及び実施手引を参照のこと。

## ウ 6年目研修

【対象】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭で、その在職期間が5年に達した者のうち、6年目研修の未修了者

	小・中・義・高・特 教諭
主 体	日 数
教育センター	4日 (選択研修1日を含む)

※令和6年度は、養護教諭は実施しない

※詳細は、6年目研修実施要項及び実施手引を参照のこと。

## エ 中堅教諭等資質向上研修

【対象】 幼稚園教諭及び幼保連携型認定こども園保育教諭のうち、その在職期間が9年～10年に達した者

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭及び養護教諭で、在職期間が10年に達した者のうち、中堅教諭等資質向上研修の未修了者

	幼稚園教諭・ 幼保連携型認定こども園 保育教諭	小・中・義・高・特 教諭	養護教諭
主 体	日 数	日 数	日数
教育センター	6日 (選択研修1日を含む)	9日 (選択研修3日を含む)	8日 (選択研修1日を含む)

※詳細は、中堅教諭等資質向上研修実施要項及び実施手引を参照のこと。

## オ 16年目研修

【対象】 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教諭で、中堅教諭等資質向上研修（10年経験者研修）を修了し、在職期間が15年に達した者のうち、16年目研修の未修了者

	小・中・義・高・特 教諭
主 体	日 数
教育センター	3日

※詳細は、16年目研修実施要項及び実施手引を参照のこと。

### (3) 職務研修

学校経営研修、主任・主事等研修及び職務に応じた研修を実施する。日数等については教職員研修実施計画を参照する。

#### ①学校経営研修

特色ある学校づくりの推進に向けて、管理職の学校組織マネジメント能力を育成し、学校経営に関する資質の向上を図る研修を実施する。

研修名	対象者
学校C I O研修（小・中・義）	市町村（学校組合）立学校長
学校C I O研修（高）	県立高等学校長
学校C I O研修（特）	県立特別支援学校長
新任校長研修（全）	新任校長
管理職研修（全）	希望する校長、副校長、教頭
新任副校長研修（全）	新任副校長
新任教頭研修（全）	新任教頭
新任事務長研修（高・特）	県立学校の新任事務長
事務主幹・事務長研修（全）	希望する事務主幹・事務長
2年次校長評価者研修（全）	2年次校長
副校長評価者研修（全）	副校長
2年次教頭評価者研修（全）	2年次教頭
共同学校事務室長評価者研修（小・中・義）	共同学校事務室長・希望する事務主幹
新任主幹教諭研修（全）	新任主幹教諭 新任以外の希望する主幹教諭
学校リーダー研修（全）	別途通知
ミドルリーダーステップアップ研修（小・中・義）	別途通知



## ②主任・主事等研修及び職務に応じた研修

職務遂行に関する専門的な知識・技能等の向上を図る研修を実施する。

### ア 主任・主事等研修

研修名	対象者
新任生徒指導担当者研修(小・中・義・特)	市町村(学校組合)立学校・特別支援学校の新任生徒指導担当者
新任保健体育主事研修(全)	新任保健体育主事・新任以外の希望する保健体育主事
新任道徳教育推進教師研修(小・中・義・特)	市町村(学校組合)立学校・県立特別支援学校の新任道徳教育推進教師・新任以外の希望する道徳教育推進教師
新任特別支援教育主任研修(小・中・義・高)	市町村(学校組合)立学校・高等学校の新任特別支援教育主任・新任以外の希望する特別支援教育主任

### イ 職務に応じた研修

研修名	対象者
情報化推進リーダー研修(小・中・義)	市町村(学校組合)立学校の情報化担当に指名された教諭等
情報化推進リーダー研修(高)	県立高等学校の情報担当に指名された教諭等・情報化推進リーダーが同一校で昨年度も受講した場合、次期情報化推進リーダーの代理出席も可能とする・複数の情報担当教諭の受講も可能とする
情報化推進リーダー研修(特)	県立特別支援学校の情報担当に指名された教諭等・情報化推進リーダーが同一校で昨年度も受講した場合、次期情報化推進リーダーの代理出席も可能とする・複数の情報担当教諭の受講も可能とする
養護教諭研修(全)	養護教諭・養護助教諭
特別支援学級新担任研修～基礎編～(小・中・義)	市町村(学校組合)立学校の初めて特別支援学級を担当する者(希望する講師を含む)・新担任以外の希望する特別支援学級担任(講師を含む)
特別支援学級新担任研修～実践編～(小・中・義)	市町村(学校組合)立学校の初めて特別支援学級を担当する者及びこれまで担当したことのない障がい種を担当する者(希望する講師を含む)・新担任以外の希望する特別支援学級担任(講師を含む)
栄養教諭・学校栄養職員研修(小・中・義・特)	市町村(学校組合)立学校・特別支援学校の栄養教諭・学校栄養職員(臨時的任用職員を含む)
実習教諭・実習職員研修(高・特)	希望する実習教諭・実習職員
寄宿舎教諭・寄宿舎指導員研修(特)	希望する寄宿舎教諭・寄宿舎指導教員
教育相談・不登校担当教員研修(小・中・義)	市町村(学校組合)立学校の教育相談・不登校担当者
教育相談担当教員研修(高)	高等学校の教育相談担当者
司書教諭研修(小・義・特)	小学校・義務教育学校・特別支援学校の司書教諭・希望する学校司書
司書教諭研修(中・義・高)	中学校・義務教育学校・高等学校の司書教諭・希望する学校司書
講師研修(小・中・義)	全校種を通じて常勤の経験が2年未満の講師(教諭経験がある場合は除く。対象となる常勤の経験には県外での講師は含めない。)・希望する非常勤講師
講師研修(高)・(特)	

## ○学校事務職員研修

研修名	対象者
学校事務職員1年目研修(全)	令和6年度新規採用の事務主事・主事 下記の希望する者の受講も可能とする。 ・令和3・4・5年度採用の事務主事・主事 ・他部局等から異動してきた事務主事、主事、事務副主幹 ・臨時的任用職員(研修番号2のみ)
学校事務職員 フォローアップ研修 (全)	令和5年度採用の事務主事・主事 下記の希望する者の受講も可能とする。 ・令和2・3年度採用の事務主事・主事 ・他部局等から異動してきた事務主事、主事、事務副主幹
学校事務職員5年目研修(全)	令和2年度採用(採用5年目)の事務主事・主事 他部局から異動してきた採用5年目事務主事・主事
学校事務職員10年目 研修(全)	平成27年度採用(採用10年目)の事務主事・主事 他部局から異動してきた採用10年目の事務主事・主事
事務副主幹・ 事務次長研修(全)	事務副主幹・事務次長
事務主幹研修(小・中・ 義)	市町村(学校組合)立学校の事務主幹
学校事務職員研修(小・ 中・義)	市町村(学校組合)立学校の事務職員(臨時的任用職員を含む) ・希望する県立学校の事務職員

※希望する事務主幹・事務長の学校経営研修「管理職研修」への受講を可とする。(詳細については、60ページを参照のこと)

#### (4) 専門研修（希望制）

教科等の専門的知識・技能の向上を図る研修を実施する。

<対象者>

<p>校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習教諭、幼稚園教諭、保育教諭、保育士、実習職員、学校司書、学校事務職員、学校技能職員、学校栄養職員、寄宿舎指導員、船員、講師等、学校（園）に勤務する全ての教職員が受講することができる。</p> <p>※「非常勤講師以外の会計年度任用職員」（小学校外国語活動支援員、学校生活適応支援員、スクールカウンセラー等）を除く。</p>
--

【研修区分及び講座数】 ※異校種の研修内容でも受講可、すべて午後のみ半日開催とする。

研修区分		講座数
幼児教育に関する研修		1 講座
教科指導等に関する研修		27 講座
各種教育課題等	情報教育に関する研修	8 講座
	特別支援教育に関する研修	6 講座
	教育相談・生徒指導・学級経営等に関する研修	7 講座
	人権教育に関する研修	3 講座
	各種教育等に関する研修	8 講座
	その他	1 講座
計		61 講座

#### ○島根県教育センターとの連携講座

島根県教育センターの特色ある研修講座を受講することにより、研修の機会を拡大し、教職員のニーズに応える。

#### ○しまだい学校教員研修（島根大学との連携講座）

島根大学による各分野の専門的な講座を受講することにより、研修の機会を拡大し、教職員の多様な学びのニーズに応える。

#### (5) その他の研修

##### ①プロジェクト型学習推進教員育成研修

一人一台端末の学習で有効な活用について理解し、実践力を高めるとともに、PBL（プロジェクト型学習）についての理解を深め、今後一層求められる PBL による探究的な学習の授業設計ができる次世代リーダーを育成する。

##### ②次世代を担う教員養成プロジェクト

次期学習指導要領改訂に向けて、今後主流になっていくであろう、STEAM 教育等の各教科等横断的な学習による探究的な学びについて、「鳥取県版 PBL」の質の高い実践を積み重ねるとともに、学校全体でのカリキュラム作成に関わったり、県内で講演ができたたりするレベルの教員を育成する。

##### ③指導力向上ゼミナール（中学校英語）

市町村（学校組合）教育委員会の推薦を受けた中学校英語教諭を対象に、喫緊の教育課題について、専門的知識を基盤とした実践的指導力の向上を図り、学校や地域の中核となって課題を解決する人材を育成する。

##### ④とっとり未来教師セミナー

鳥取県で教員になりたいという志をもった学生等を対象として、教員に求められる資質や基礎的な指導力を養い、将来の鳥取県教育を担う人材を育成する。

##### ⑤学校訪問型研修（指導主事派遣研修）

鳥取県内の学校等が行う自主的・主体的な研修活動に対して、県教育センター、いじめ・不登校総合対策センター、小中学校課、人権教育課、及び社会教育課の指導主事等を派遣し、研修活動を

支援する。

#### ⑥指導改善研修

「指導改善研修を要する教員に関する人事管理指針―改訂版―」により、指導改善研修を要する教員と認定された教員に対して、関係諸機関との連携のもと職場復帰を第一の目的とした研修を実施し、資質・指導力の向上や意識改革を図る。

#### ⑦ポータルサイトでの動画配信

新たに作成中の統合型教育ポータルサイトにおいて、研修動画コンテンツを充実させ、教員の多様な研修受講ニーズに対応する。

#### 4 令和6年度教職員研修講座一覧

研修区分	研修名	
幼稚園	新規採用教員研修	
	小学校・義務教育学校	
	初任者研修	
	中学校・義務教育学校	
	初任者研修	
	高等学校	
	初任者研修	
	特別支援学校	
	初任者研修	
	養護教諭	
	新規採用教員研修	
	小学校・義務教育学校	
	2年目研修	
	中学校・義務教育学校	
	2年目研修	
	高等学校	
	2年目研修	
	特別支援学校	
	2年目研修	
	養護教諭	
2年目研修		
小学校・義務教育学校	3年目研修	
	中学校・義務教育学校	
	3年目研修	
	高等学校	
	3年目研修	
	特別支援学校	
	3年目研修	
	養護教諭	
	3年目研修	
	小学校・義務教育学校	
	6年目研修	
	中学校・義務教育学校	
	6年目研修	
	高等学校	
	6年目研修	
	特別支援学校	
	6年目研修	
	中学校・義務教育学校	中堅教諭等資質向上研修
		小学校・義務教育学校
		中堅教諭等資質向上研修
中学校・義務教育学校		
中堅教諭等資質向上研修		
高等学校		
中堅教諭等資質向上研修		
特別支援学校		
中堅教諭等資質向上研修		
養護教諭		
中堅教諭等資質向上研修		
小学校・義務教育学校		
16年目研修		
中学校・義務教育学校		
16年目研修		
高等学校		
16年目研修		
特別支援学校		
16年目研修		
高等学校		学校CIO研修(小・中・義)★
	学校CIO研修(高)★	
	学校CIO研修(特)★	
	新任校長研修(全)	
	管理職研修(全) ABCDEFGHI★	
	新任副校長研修(全)★	
	新任教頭研修(全)	
	新任事務長研修(高・特)	
	事務主幹・事務長研修(全) ABCDEFGHI★	
	2年次校長評価者研修(全)★	
	副校長評価者研修(全)★	
	2年次教頭評価者研修(全)★	
	共同学校事務室長評価者研修(小・中・義)★	
	新任主幹教諭研修(全)★	
	学校リーダー研修(全)	
	ミドルリーダーステップアップ研修(小・中・義)	
	新任生徒指導担当者研修(小・中・義・特)★	
	新任保健体育主事研修(全)★	
	新任道徳教育推進教師研修(小・中・義・特)	
	新任特別支援教育主任研修(小・中・義・高)★	
情報化推進リーダー研修(小・中・義)★		
情報化推進リーダー研修(高)★		
情報化推進リーダー研修(特)★		
養護教諭研修(全)★		
特別支援学級新任担任研修(小・中・義)		
栄養教諭・学校栄養職員研修(小・中・義・特)		
実習教諭・実習職員研修(高・特)★		
寄宿舎教諭・寄宿舎指導員研修(特)★		
教育相談・不登校担当教員研修(小・中・義)		
教育相談担当教員研修(高)★		
司書教諭研修(小・義・特)★		
司書教諭研修(中・義・高)★		
学校事務職員1年目研修(全)		
学校事務職員フォローアップ研修(全)		
学校事務職員5年目研修(全)★		
学校事務職員10年目研修(全)★		
事務副主幹・事務次長研修(全)★		
事務主幹研修(小・中・義)★		
学校事務職員研修(小・中・義)★		
講師研修(小・中・義)		
講師研修(高)		
講師研修(特)		

研修区分	研修名	
幼児教育	幼児教育 園経営研修	
	小学校国語	
	中学校国語①②	
	小学校社会★	
	中学校社会★	
	高等学校地歴・公民★	
	小学校算数	
	中学校数学①②	
	小学校理科	
	中学校理科★	
	高等学校理科★	
	中学校技術★	
	小学校音楽	
	中・高等学校美術	
	小・中・高等学校体育	
	中・高等学校家庭★	
	高等学校情報Ⅰ★	
	小学校外国語活動・外国語★	
	中学校英語①②	
	高等学校英語★	
小・中学校道徳①★		
小・中学校道徳②★		
高等学校総合的な探究の時間★		
小・中学校特別活動★		
高等学校商業★		
全教科／マネジメント(とっとり学力・学習状況調査データ活用)		
全教科／対話による深い学び		
全教科／教科等横断的な学習		
ICT活用教育①(classroomを活用した授業づくりA・B)	ICT活用教育②(単元設計編)	
	ICT活用教育③(校務活用編)	
	Google Workspace アプリ講座(基礎)	
	Education Plus/Fig Jam活用	
	プログラミング教育	
	よりよいICTの使い手	
	生成AI	
	特別支援教育①(自立活動)★	特別支援教育②(発達障がい)★
		特別支援教育③(学習障がい)★
		特別支援教育④(読み書きに関する指導・支援)★
特別支援学校教育★		
特別支援教育(ICT活用)		
教育相談①★	教育相談②★	
	生徒指導★	
	学級経営・ホームルーム経営	
	人間関係づくり	
学校の支援体制①(保護者との関係づくり)	学校の支援体制②(学級づくり)	
	人権教育①	
	人権教育②★	
人権教育③★		
ふるさとキャリア教育	図書館教育★	
	安全・健康・食育	
	博物館連携講座	
	国際教育	
	消費者教育	
	環境教育①②	
	あいサポート	
その他		
マネジメント力向上(基礎編)★		
プロジェクト型学習推進教員養成研修		
次世代を担う教員養成プロジェクト		
指導力向上セミナー(中学校英語)		

※専門研修の以下の講座は原則隔年開催する。  
 (高等学校地歴・公民／高等学校国語)(高等学校理科／高等学校数学)  
 (小学校音楽／中・高等学校音楽) (中・高等学校美術／小学校図画工作)  
 (小学校体育／中・高等学校保健体育)(中・高等学校家庭／小学校家庭)  
 (中学校技術／小学校生活)(高等学校英語／小・中学校書写、高等学校書道)  
 (高等学校総合的な探究の時間／小・中学校総合的な学習の時間)  
 (高等学校専門教科 商業／農業／工業／)

※研修形態について  
 ★印・・・非集合・オンライン型を基本とする→所属校で研修を受講する

## II 受講手続等

### 1 研修講座登録に係る期日等

#### (1) 報告（入力）期日

基本研修、職務研修		専門研修 しまだい学校教員研修		島根県教育センターとの 連携講座	
内容	期日	内容	期日	内容	期日
入力開始	4月1日（月） 午後1時	一次入力 開始	4月1日（月） 午後1時	入力開始	4月1日（月） 午後1時
※画面入力等 （各園、学校等） ↓		※画面入力等 （各園、学校等） ↓		※画面入力等 （各園、学校等） ↓	
入力締切	4月9日（火） 午後5時			入力締切	4月12日（金） 午後5時
		一次入力 締切	5月10日（金） 午後5時		
		二次入力 開始	5月17日（金） 午前9時		
		二次入力 締切	各研修講座開催 期日の2週間前		

#### (2) 5月10日までの研修講座登録の方法（教育センター研修講座登録システム（現システム）による）

- ① 教育センターホームページにある「研修講座登録システム」から入力画面を開く。
- ② 各幼稚園・保育所（園）・学校のIDとパスワードを入力する。
- ③ 基本研修、職務研修の対象者の登録を行う。
- ④ 専門研修の申込を行う。

#### (3) 5月17日以降の研修講座登録の方法（Google フォームによる）

令和7年度4月からの国の研修受講履歴記録システム（新システム）導入に伴い、現システムは運用停止します。移行措置として、5月17日から令和6年度末までは、下記サイトからGoogle フォームにより登録してください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/298804.htm>

（教育センターホームページ→研修講座登録システム）

以下のサイトも御利用ください。

とっとり教育ポータルサイト <https://tottori-portal.torikyo.ed.jp>

研修講座登録システム  
（教職員用）

## 2 研修講座受講手続等の留意点

### (1) 市町村（学校組合）立小学校・中学校（義務教育学校を含む）、県立高等学校・特別支援学校

研修対象者及び受講希望者の登録（入力）は、教育センター研修講座登録システムにより各学校が行ってください。

#### ①基本研修

- 6年目研修及び中堅教諭等資質向上研修の選択研修において、専門研修を選択受講する場合は、もれなく専門研修の入力をしてください。

#### ②職務研修

- 実施要項20～22ページ「3 教職員研修区分（3）職務研修」の対象者を十分に確認し、もれなく登録してください。

#### ③専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修

- 同一校で複数の受講希望者がある場合は、必ず全ての受講希望者を登録してください。
- 受講希望者が10人未満の講座は開講しないこともあります。
- 定員のある講座は、先着順となります。実施要項の備考欄で確認してください。
- 専門研修（島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修は除く）については、研修開催期日の2週間前まで二次入力が可能です。ただし、一次入力の時点で既に定員を満たす場合には、入力不可となります。

### (2) 幼稚園・保育所（園）・幼保連携型認定こども園、鳥取大学附属学校、私立学校等

研修対象者及び受講希望者の報告（入力）は、下記のとおり各園及び学校が行ってください。

#### ①基本研修

- 新規採用幼稚園・幼保連携型認定こども園教員研修については、公立の幼稚園・認定こども園に対象者がある場合のみ、研修を実施します。この場合は、私立の幼稚園・認定こども園の希望者も対象となります。
- 鳥取大学附属学校教員は、公立学校の教員と同様に受講できます。
- 私立学校（中学校・高等学校）は対象外です。
- 研修対象者及び受講希望者を研修講座登録システムにより入力してください。

#### ②職務研修

- 鳥取大学附属学校教員は、希望による受講とします。
- 私立学校は対象外です。
- 受講申込は、研修講座登録システムにより入力してください。

#### ③専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修

- 受講申込は、研修講座登録システムにより入力してください。
- 園、所、学校は、受講者一覧を印刷し、保管してください。
- 受講希望者が10人未満の講座は開講しないこともあります。
- 定員のある講座は、先着順となります。実施要項の備考欄で確認してください。
- 専門研修（島根県教育センターとの連携講座、鳥取大学との連携講座しまだい学校教員研修は除く）については、研修開催期日の2週間前まで二次入力が可能です。ただし、一次入力の時点で既に定員を満たす場合には、入力不可となります。

### 3 研修講座受講確定

○研修講座登録システムへの入力（申込）をもって受講を確定します。受講できない場合のみ、教育センターから連絡します。

### 4 研修講座開催要項

- 原則として、開催要項は対象者・受講者勤務校へは送付しませんので、教育センターのホームページからダウンロードしてください。
- 各研修開催要項は、研修実施日3週間前に教育センターのホームページに掲載します。
- 鳥根県教育センターとの連携講座の開催要項は、研修実施1ヶ月前に鳥根県教育センターのホームページに掲載されます。
- しまだい学校教員研修の開催要項は、研修実施1ヶ月前に鳥取県教育センターのホームページに掲載されます。

### 5 受講者の欠席等の扱い

#### (1) 基本研修、職務研修

①研修対象者・受講者の欠席、遅刻、早退、又は研修対象者・受講者の変更、受講日の変更がある場合、校長及び園（所）長は事前に教育センターに電話連絡してください。（電話番号：0857-28-2585・2586）

#### (2) 専門研修

- 講座開催日の2週間前までは研修講座登録システムで取消ができます。この場合、欠席の電話連絡の必要はありません。
- 講座開催日まで2週間を切ってから研修受講者の欠席、遅刻、早退、変更等がある場合は、上記5(1)と同様の手続を行ってください。

#### (3) 鳥根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修

- 校長及び園（所）長は、受講者の欠席、遅刻、早退がある場合は、鳥取県教育センターに電話連絡してください。
- 緊急の場合は、鳥根県教育センターとの連携講座は鳥根県教育センター（電話 0852-22-5865）、しまだい学校教員研修は鳥根大学山陰教員センター管理室（電話 0852-29-1207）に直接連絡した後、鳥取県教育センターに電話連絡をしてください。

#### (4) その他

○受講に際し配慮が必要な場合には、研修講座登録システムの「職員名簿 登録・変更」の入力の際、備考欄にどのような配慮が必要か記入した上で、事前に教育センターに連絡してください。  
（記入例：手話通訳者を必要とする 等）

## III 受講者の旅費

受講者の旅費は、教育センターが負担します。（鳥根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修を含む）

- ①市町村（学校組合）立学校は、新旅費システムにより、翌月10日までに請求してください。
- ②県立学校は、令達する予算から執行してください。

ただし、以下の受講者は除きます。

- ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園、鳥取大学附属学校、私立学校、教育センターが認定した専修学校及び市町村費による教職員



# IV 令和6年度 教職員研修実施計画

## 1 基本研修

### (1) 幼稚園・幼保連携型認定こども園

#### ①新規採用幼稚園・幼保連携型認定こども園教員研修

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	4/18(木)	○		○	○	人間関係 人権教育 社会人としての接遇の仕方 自己成長のマネジメント(1)  【全校種一部合同開催】	[オリエンテーション] [講義・演習] ・園における学級経営 [講義・演習] ・鳥取県がめざす人権教育 [開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事 幼児教育担当指導主事 人権教育課指導主事 ユミ・プロデュース 代表 池上 由美 氏	倉吉体育文化会館
2	5/17(金)		○	○	○	幼稚園教育の理解 教育課程と指導計画 (学校評価)	[講義] ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解 [講義・演習] ・園の教育課程と指導計画・学校評価 [講義・演習] ・指導計画と保育～保育指導案の作成～	幼児教育担当指導主事	上灘コミュニティセンター
3	6/7(金)		○	○	○	言葉 健康	[講義・演習] ・幼児期の言葉の発達と援助 ～絵本を活用して～ [講義・演習] ・体をしっかり使って遊びきるために	鳥取短期大学 元教授 齊木 恭子 氏 鳥取短期大学 教授 近藤 剛 氏	鳥取短期大学
4	7/23(火)	○	○	○	○	小学校教育の理解と連携・接続  【中堅教諭等資質向上研修と合同開催】	[授業参観] [講義・演習] ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のあり方	幼児教育担当指導主事 國學院大学 准教授 吉永 安里 氏	倉吉未来中心
5	9月	○	○	○	○	特別支援教育 環境(1) 自己成長のマネジメント(2)  【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・特別支援教育の実際 [講義・協議] ・特別支援学校のセンター的機能 ・発達障がいの特理解と支援 [講義・演習] ・環境の構成と教師の援助 [講義・演習] ・自己目標の振り返り	県内特別支援学校教諭 幼児教育担当指導主事 教育センター指導主事	教育センター
6	10/10(木)		○	○	○	環境(2) 表現	[講義・演習] ・レクリエーション活動の実際 [講義] ・自然体験と子どもの育ち [講義・演習] ・自然とふれあう活動の実際	大山青年の家社会教育主事	大山青年の家
7	11/8(金)	○	○	○	○	研究保育 幼児理解と評価  【中堅教諭等資質向上研修と合同開催】	[研究保育] [協議] ・子どもの学びを伝えるために [講義・演習] ・幼児理解に基づいた評価	幼児教育担当指導主事 名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏	伯耆しあわせの郷
8	1/23(木)	○	○	○	○	自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[実践発表・協議] ・1年間の振り返りと今後の取組 [講義・演習] ・今後の幼児教育に向けて [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	教育センター指導主事 幼児教育担当指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・期日未定の回については、別途連絡する。</li> </ul>								

②中堅教諭等資質向上研修（幼稚園・幼保連携型認定こども園）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	4/22(月)	○				園経営基礎（1） 学校評価 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1）  【全校種一部合同開催】	[閉講式] [講義・協議] ・園のミドルリーダーの役割Ⅰ [講義・協議] ・園のミドルリーダーの役割Ⅱ [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	洗足こども短期大学 教授 井上 真理子 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	7/23(火)	○	○	○	○	幼保小連携・接続  【新規採用幼稚園等教員研修と合同開催】	[授業参観] [講義・演習] ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のあり方	幼児教育担当指導主事 國學院大学 准教授 吉永 安里 氏	倉吉未来中心
3	9月	○		○	○	特別支援教育 環境 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2）  【新規採用幼稚園等教員研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・特別支援教育の実際 [講義・協議] ・特別支援学校のセンター的機能 ・発達障がいの特性理解と支援 [講義・演習] ・環境の構成と教師の援助 [講義・演習] ・PDCAサイクルを活用した課題研究への取組とミドルリーダーとしての役割	県立特別支援学校教諭 幼児教育担当指導主事 教育センター指導主事	教育センター
4	11/8(金)		○	○	○	研究保育 幼児理解と評価  【新規採用幼稚園等教員研修と合同開催】	[研究保育] [協議] ・子どもの学びを伝えるために [講義・演習] ・幼児理解に基づいた評価	幼児教育担当指導主事 名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏	伯耆しあわせの郷
5	1/27(月)	○	○	○	○	保護者とのかかわり・子育て支援 課題研究（3） 園経営基礎（2） 自己成長のマネジメント（3）  【全校種一部合同開催】	[講義] ・子どもと保護者がともに育つ支援のあり方 [研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 [講義・協議] ・今後の幼児教育に求められること [講義・演習] ・これからのミドルリーダーに求められるアセスメント・ファシリテーション能力 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	鳥取大学 教授 寺川 志奈子 氏 教育センター指導主事 幼児教育担当指導主事 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実 氏	倉吉体育文化会館
6						選択研修	○教育センターが実施する専門研修又は幼児教育センター主催の研修会、子育て王国課主催の保育士等キャリアアップ研修から1つ選択して受講する。		
備考	・期日未定の回については、別途連絡する。								

(2) 小学校

①初任者研修 (小学校・義務教育学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	4/8(月)～ 4/18(木) (20分程度)	○	○	○	○	【1-(1)】 教員としての服務	[講義] ・教員としての服務 ・教職員評価・育成制度の理解	教育人材開発課管理主事	動画配信
	4/8(月)～ 5/23(木) (40分程度)					【1-(1)】 鳥取県の教育 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の教育 [講義] ・教員のメンタルヘルス	教育センター指導主事 教育総務課健康管理主事	
	5/30(木)～ 6/28(金) (1時間程度)					【1-(1)】 人権教育	[講義] ・鳥取県がめざす人権教育と人権学習	人権教育課指導主事	
	4/18(木)					【1-(2)】 社会人としての接遇の仕方  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [オリエンテーション]	ユミ・プロデュース 代表 池上 由美 氏 教育センター指導主事	
2	4/19(金)～ 5/9(木) (4時間程度)	○	○	○	○	【2-(1) A 日程】 学級経営 (1)	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ～学級経営の基礎・基本 I～	所属校先輩教員	所属校
	5/9(木)					【2-(2) A 日程】 (午後) 学級経営 (1) 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学級経営の基礎・基本 I [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
	4/19(金)～ 5/16(木) (4時間程度)					【2-(1) B 日程】 学級経営 (1)	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ～学級経営の基礎・基本 I～	所属校先輩教員	所属校
	5/16(木)					【2-(2) B 日程】 (午後) 学級経営 (1) 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学級経営の基礎・基本 I [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
3	6/6(木)	○	○	○	○	【A 日程】 生徒指導 危機管理 特別支援教育 (1)	[講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と早期対応 ・危機管理と組織的対応 [講義・演習] ・発達障がいの特理解と支援	教育センター指導主事	倉吉未来中心
	6/13(木)					【B 日程】 生徒指導 危機管理 特別支援教育 (1)			中部総合事務所
4	6/27(木)	○	○	○	○	【A 日程】 学習指導 (1) (基礎編 I・II)	[講義・演習] ・学習指導の基礎・基本 I ～1時間の授業づくり～ [講義・演習] ・学習指導の基礎・基本 II ～学習規律と基本的指導技術～	教育センター指導主事	中部総合事務所
	7/4(木)					【B 日程】 学習指導 (1) (基礎編 I・II)			中部総合事務所
5	8/1(木)	○	○	○	○	【A 日程】 学習指導 (2) (授業づくり編 I・II) 自己成長のマネジメント (2)	[講義・演習] ・ねらいを明確にした学習指導 I～エキスパート教員の授業からの学びをとおして～ [講義・演習] ・ねらいを明確にした学習指導 II ～児童の姿を予想して～ [講義・演習] ・自己目標の振り返り	教育センター指導主事	上灘コミュニティセンター
	8/22(木)					【B 日程】 学習指導 (2) (授業づくり編 I・II) 自己成長のマネジメント (2)			倉吉未来中心

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T				
6	9/12(木)		○	○	○	○	【A日程】 I C T活用教育 学級経営(2) 特別支援教育(2)  [講義・演習] ・これからの社会とI C T活用の必要性 [協議] ・学級経営の基礎・基本II [講義・演習] ・児童の特性に応じた指導の工夫	教育センター指導主事	中部総合事務所
	9/26(木)						【B日程】 I C T活用教育 学級経営(2) 特別支援教育(2)		倉吉未来中心
7	10/3(木)		○	○	○	○	【A日程】 特別活動 ふるさとキャリア教育 道徳教育  [講義・演習] ・自主的・実践的な態度を育てる特別活動 ・鳥取県のめざすふるさとキャリア教育	教育センター指導主事	中部総合事務所
	10/17(木)						【B日程】 特別活動 ふるさとキャリア教育 道徳教育  [講義・演習] ・道徳教育の進め方 ・「特別の教科 道徳」の授業づくり		中部総合事務所
8	11/7(木)						【A1日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・高合同開催】	船上山少年自然の家所長及び 社会教育主事 教育センター指導主事	船上山少年 自然の家
	11/14(木)		○	○	○	○	【B1日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・特合同開催】  [講話] ・自然体験と集団活動の意義 [体験活動] ・自然体験と集団活動 [協議] ・体験活動からの学び		
	11/21(木)						【A2・B2日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・高合同開催】		
9	7月～12月		○	○	○	○	授業実践又は メンターチーム研修  [授業実践又はメンターチーム研修] ・初任者による授業実践又はメンターチーム研修(各校が設定した研修内容) [協議] ・今後に向けて	教育センター指導主事	所属校
10	1/23(木)		○	○	○	○	自己成長のマネジメント (3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】  [実践発表] ・1年間の取組と振り返り [演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1【1-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号1【1-(2)】は午後みの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2【2-(1)】は所属校の先輩教員のシャドーイングを4時間程度行う。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号2【2-(2)】は午後みの半日開催とし、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・「ココカラ部」として研修後に短時間の相談会を適宜実施する。</li> <li>・期日未定の回については、別途連絡する。</li> </ul>							

② 2年目研修（小学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
5/10(金)	○	○	○	○	○	【A日程】 自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  【小・中・義・高・養一 部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・演習] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉未来中心
5/14(火)						【B日程】 自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  【小・中・義・特一部合 同開催】			倉吉体育文化会館
8/6(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(2) 学習指導(2) 自己成長のマネジメント (2)	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基 盤とした授業づくり～ [講義・協議] ・認め合い高め合う学習集団づくり ～今後の授業実践に向けて～ [協議・演習] ・自己成長のマネジメント	小学校エキスパート教員 教育センター指導主事	上灘コミュニ ティセン ター
1/21(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(3) 学習指導(3) 自己成長のマネジメント (3)  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1はAB日程とし、初任者研修時におけるAB日程に準ずる。</li> <li>・研修番号1、研修番号3は午後だけの半日開催とする。</li> </ul>								

③ 3年目研修（小学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
5/21(火)	○	○	○	○	○	【A日程】 自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  【小・中・義・高・養一 部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・協議] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
5/30(木)						【B日程】 自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  【小・中・義・特一部合 同開催】			伯耆しあわせの郷
7/30(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(2) 学習指導(2) 自己成長のマネジメント (2)	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基 盤とした授業づくり～ [講義・演習] ・認め合い高め合う学習集団づくり ～今後の授業実践に向けて～ [協議] ・自己成長のマネジメント	小学校エキスパート教員 教育センター指導主事	中部総合事 務所
1/17(金)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(3) 学習指導(3) 自己成長のマネジメント (3)  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1はAB日程とし、初任者研修時におけるAB日程に準ずる。</li> <li>・研修番号1、研修番号3は午後だけの半日開催とする。</li> </ul>								

④ 6年目研修（小学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/28(火)	○	○		○	○	自己成長のマネジメント(1) 課題研究(1) 学習指導(1)  【小・義・特一部合同開催】	[開講式] [講義] ・学び続ける教師として [オリエンテーション] [講義・演習] ・課題研究の取組と校内還元を進め方 [講義・演習] ・資質・能力を育成する国語科の学習	教育センター指導主事 大妻女子大学 教授 権山 敏郎 氏	倉吉体育文化会館
2	7/29(月)	○	○		○	○	学習指導(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント(2)  【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[講義・協議] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をおとした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・演習] ・研修成果の還元をおとした校内組織への貢献～学びを実践につなげるために～	茨城大学 准教授 小林 祐紀 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3	1/28(火)	○	○		○	○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[協議] ・学習指導における専門性の向上に向けて [協議] ・学校組織への貢献に向けて [講話] ・視野の拡大と自己成長 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 県内企業経営者	倉吉体育文化会館
4							選択研修 又はエキスパート教員の 授業参観	○選択研修は、教育センターが実施する専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修との連携講座から1つ選択し受講する。 ○エキスパート教員の授業は、教育センターホームページ「エキスパート教員授業案内」又は「授業支援サイト」（教職員用）等を参照する。		
備考										

⑤中堅教諭等資質向上研修（小学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	4/22(月)	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 教育課題（1） （いじめ・不登校対応） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1） 【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅰ [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅱ [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と支援のあり方 [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	広島大学 教授 曾余田 浩史 氏 いじめ・不登校総合対策センター指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	5/13(月)～ 6/14(金) (2時間程度)	○				【2-1】 学校経営基礎（2） 地域連携 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の小中学校教育における課題と取組 [講義] ・地域とともにある学校づくりをめざして [講義] ・教員のメンタルヘルス	小中学校課指導主事 社会教育課社会教育主事 教育総務課健康管理主事	動画配信
	5/13(月)	○				【2-2】 人権教育 コーチング 【全校種合同開催】	[講義・演習] ・人権教育の現状と課題 [講義・演習] ・同僚性を高め合うコーチング	人権教育課 指導主事 株式会社STC 代表取締役 樋間 勢津 氏	倉吉体育文化会館
3	6/14(金)		○	○	○	学習指導（1）	[講義・演習] ・主体的・対話的で深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント [講義・演習] ・関わり合い認め合う学級経営	早稲田大学 教授 田中 博之 氏 愛媛大学 教授 白松 賢 氏	伯耆しあわせの郷
4	7/29(月)	○	○		○	学習指導（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2） 【6年目研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をとおした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・協議] ・PDCAサイクルを活用した課題研究への取組とメンターとしての役割 ・自己成長のマネジメント	茨城大学 准教授 小林 祐紀 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
5	9/20(金)	○				学校経営基礎（3） （教育法規/危機管理） 【全校種合同開催】	[講義・演習] ・学校教育と法 [講義・演習] ・学校の危機管理	浜田・木村法律事務所 弁護士 浜田 真樹 氏	所属校
6	1/27(月)	○				課題研究（3） 学校経営基礎（4） 自己成長のマネジメント（3） 【全校種一部合同開催】	[研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 [講義・演習] ・これからのミドルリーダーに求められるアセスメント・ファシリテーション能力 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実 氏	倉吉体育文化会館
7						選択研修	○教育センターが実施する専門研修、鳥根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修から、以下のように3つ選択し受講する。 (1) 「情報教育」から1つ (2) ふるさとキャリア教育、「教科指導等」「特別支援教育」「教育相談・生徒指導・学級経営等」から2つ ※鳥根県教育センターとの連携講座及びしまだい学校教員研修については、上記(1)(2)に準ずる研修を選択可能とする。		
8					選択研修				
9					選択研修				
備考									・研修番号2【2-1】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号2【2-2】は午後からの半日開催とする。 ・研修番号5は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。

⑥16年目研修（小学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1 5/31(金)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1） 【全校種合同開催】	[閉講式] [オリエンテーション] [講義・演習] ・人と組織を成長させるために [講義] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅠ [講義・演習] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅡ [実践発表] ・課題研究をととした学校組織マネジメント [講義・演習] ・課題研究に向けて～ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために～	教育センター教育企画研修課長 鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 16年目研修過年度対象者 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2 9/30(月)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2） 【全校種合同開催】	[講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅰ [講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅱ [講義・演習] ・PDCAサイクルを活用した学校組織マネジメント	鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3 1/30(木)	○	○	○	○	○	課題研究（3） 自己成長のマネジメント（3） 学校経営基礎（3） 【全校種合同開催】	[協議] ・ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために [講義・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの学校教育に求められるもの [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考	・研修番号3は午後からの半日開催とする。								



(3) 中学校

①初任者研修 (中学校・義務教育学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	4/8(月)～ 4/18(木) (20分程度)					【1-(1)】 教員としての服務	[講義] ・教員としての服務 ・教職員評価・育成制度の理解	教育人材開発課管理主事	動画配信
	4/8(月)～ 5/23(木) (40分程度)	○	○	○	○	【1-(1)】 鳥取県の教育 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の教育 [講義] ・教員のメンタルヘルス	教育センター指導主事 教育総務課健康管理主事	
	5/30(木)～ 6/28(金) (1時間程度)					【1-(1)】 人権教育	[講義] ・鳥取県がめざす人権教育と人権学習	人権教育課指導主事	
	4/18(木)	○				【1-(2)】 社会人としての接遇の仕方  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [オリエンテーション]	ユミ・プロデュース 代表 池上 由美 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	4/19(木)～ 5/9(木) (4時間程度)					【2-(1)A日程】 学級経営(1) 生徒指導(1)	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ ～学級経営と生徒指導の基礎・基本～	所属校先輩教員	所属校
	5/9(木)	○	○	○	○	【2-(2)A日程】(午後) 学級経営(1) 生徒指導(1) 危機管理 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学級経営と生徒指導の基礎・基本 [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と早期対応 ・危機管理と組織的対応 [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
	4/19(木)～ 5/16(木) (4時間程度)					【2-(1)B日程】 学級経営(1) 生徒指導(1)	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ ～学級経営と生徒指導の基礎・基本～	所属校先輩教員	所属校
	5/16(木)	○	○	○	○	【2-(2)B日程】(午後) 学級経営(1) 生徒指導(1) 危機管理 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学級経営と生徒指導の基礎・基本 [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と早期対応 ・危機管理と組織的対応 [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
3	6/13(木)		○	○	○	【A日程】 特別支援教育 学習指導(1)(基礎編)	[講義・演習] ・発達障がいの特性理解と支援 [講義・演習] ・学習指導の基礎・基本I ～学習規律と基本的指導技術～	教育センター指導主事	倉吉未来中心
	6/20(木)		○	○	○	【B日程】 特別支援教育 学習指導(1)(基礎編)			倉吉体育文化会館
4	6/27(木)		○	○	○	【A日程】 学習指導(2)(授業づくり編I) 道徳教育	[講義・協議] ・学習指導の基礎・基本II ～1時間の授業づくり～ [講義・演習] ・「特別の教科 道徳」の授業づくり	教育センター指導主事	倉吉未来中心
	7/4(木)		○	○	○	【B日程】 学習指導(2)(授業づくり編I) 道徳教育			倉吉未来中心
5	8/1(木)		○	○	○	ICT活用教育 学習指導(3)(授業づくり編II)	[講義・演習] ・これからの社会とICT活用の必要性 [講義・演習] ・ねらいを明確にした授業づくり	教育センター指導主事	中部会場

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T					
6	9/12(木)	○	○	○	○	○	【A日程】 学級経営(2) 生徒指導(2) 学習指導(4)(授業づくり編Ⅲ) 自己成長のマネジメント(2)  【B日程】 学級経営(2) 生徒指導(2) 学習指導(4)(授業づくり編Ⅲ) 自己成長のマネジメント(2)	[講義・協議] ・学級経営の実際と工夫 ・生徒理解とアセスメント [演習・協議] ・学びの質を高める授業づくりへ予想される生徒の姿とつまづきへの手立て～ [講義・演習] ・自己目標の振り返り	教育センター指導主事	倉吉未来中心
	9/19(木)									倉吉未来中心
7	10月	○		○	○	○	【A日程】 校種間連携 ふるさとキャリア教育  【B日程】 校種間連携 ふるさとキャリア教育	[講話] ・初任者に期待すること [授業体験] [講義] ・高等学校との連携のあり方 [講義・演習] ・ふるさとキャリア教育の進め方	県立高等学校長及び教諭 教育センター指導主事	県内高等学校
	10月									県内高等学校
8	11/7(木)						【A1日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・高合同開催】		船上山少年自然の家所長及び 社会教育主事 教育センター指導主事	船上山少年 自然の家
	11/14(木)	○	○	○	○	○	【B1日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・特合同開催】	[講話] ・自然体験と集団活動の意義 [体験活動] ・自然体験と集団活動 [協議] ・体験活動からの学び		
	11/21(木)						【A2・B2日程】 体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・高合同開催】			
9	7月～12月	○	○	○	○	○	授業実践又は メンターチーム研修	[授業実践又はメンターチーム研修] ・初任者による授業実践又はメンターチーム研修(各校が設定した研修内容) [協議] ・今後に向けて	教育センター指導主事	所属校
10	1/23(木)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の取組と振り返り [演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1【1-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号1【1-(2)】は午後みの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2【2-(1)】は所属校の先輩教員のシャドーイングを4時間程度行う。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号2【2-(2)】は午後みの半日開催とし、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・「ココカラ部」として研修後に短時間の相談会を適宜実施する。</li> <li>・期日・会場未定の回については、別途連絡する。</li> </ul>								

② 2年目研修（中学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	5/10(金)	○	○	○	○	○	<b>【A日程】</b> 自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  <b>【小・中・義・高・養一部合同開催】</b> [開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・協議] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉未来中心
	5/14(火)	○	○	○	○	○	<b>【B日程】</b> 自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  <b>【小・中・義・特一部合同開催】</b>		倉吉体育文化会館
2	8/5(月)	○	○	○	○	○	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業づくり～ [講義・演習] ・認め合い高め合う学習集団づくり～今後の授業実践に向けて～ [協議] ・自己成長のマネジメント	中学校エキスパート教員 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3	1/21(火)	○	○	○	○	○	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		・研修番号1はAB日程とし、初任者研修時におけるAB日程に準ずる。 ・研修番号1、研修番号3は午後のみ半日開催とする。							

③ 3年目研修（中学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	5/21(火)	○	○	○	○	○	<b>【A日程】</b> 自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  <b>【小・中・義・高・養一部合同開催】</b> [開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・協議] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
	5/30(木)						<b>【B日程】</b> 自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1)  <b>【小・中・義・特一部合同開催】</b>		伯耆しあわせの郷
2	7/30(火)	○	○	○	○	○	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業づくり～ [講義・演習] ・認め合い高め合う学習集団づくり～今後の授業実践に向けて～ [協議] ・自己成長のマネジメント	中学校エキスパート教員 教育センター指導主事	中部総合事務所
3	1/17(金)	○	○	○	○	○	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考		・研修番号1はAB日程とし、初任者研修時におけるAB日程に準ずる。 ・研修番号1、研修番号3は午後のみ半日開催とする。							

④ 6年目研修（中学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	6/24(月)	○	○		○	○	自己成長のマネジメント (1) 課題研究(1) 学習指導(1)  【中・義・高合同開催】 【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[閉講式] [講義] ・学び続ける教師として [オリエンテーション] [講義・演習] ・課題研究の取組と校内還元を進め方 [講義・演習] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をおとした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	県内学校教育関係者 教育センター指導主事 京都大学 准教授 石井 英真 氏	所属校
2	8/20(火)	○	○		○	○	学習指導(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント (2)  【中・義・高合同開催】 【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[講義・協議] ・パフォーマンス評価をおとした指導と評価の 一体化 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・演習] ・研修成果の還元をおとした校内組織への貢献 ～学びを実践につなげるために～	鳥取大学 講師 市川 和也 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/28(火)	○	○		○	○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント (3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[協議] ・学習指導における専門性の向上に向けて [協議] ・学校組織への貢献に向けて [講話] ・視野の拡大と自己成長 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 県内企業経営者	倉吉体育文化会館
4							選択研修 又はエキスパート教員の 授業参観	○選択研修は、教育センターが実施する専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修との連携講座から1つ選択し受講する。  ○エキスパート教員の授業は、教育センターホームページ「エキスパート教員授業案内」又は「授業支援サイト」（教職員用）等を参照する。		
備考	・研修番号1は、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

⑤中堅教諭等資質向上研修（中学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T				
1	4/22(月)	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 教育課題（1） （いじめ・不登校対応） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1）  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅰ [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅱ [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と支援のあり方 [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	広島大学 教授 曾余田 浩史 氏 いじめ・不登校総合対策センター指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	5/13(月)～ 6/14(金) (2時間程度)	○				【2-(1)】 学校経営基礎（2） 地域連携 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の小中学校教育における課題と取組 [講義] ・地域とともにある学校づくりをめざして [講義] ・教員のメンタルヘルス	小中学校課指導主事 社会教育課社会教育主事 教育総務課健康管理主事	動画配信
	5/13(月)	○				【2-(2)】 人権教育 コーチング  【全校種合同開催】	[講義・演習] ・人権教育の現状と課題 [講義・演習] ・同僚性を高め合うコーチング	人権教育課指導主事 株式会社S T C 代表取締役 樋間 勢津 氏	倉吉体育文化会館
3	6/24(月)		○	○	○	学級経営 学習指導（1）  【中・義・高合同開催】 【6年目研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・かかわり合い認め合う集団づくりに向けた指導力の向上 [講義・演習] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をと おした主体的・対話的で深い学びの実現に に向けた授業改善	かかわりプログラムSimple 代表 曾山 和彦 氏 京都大学大学院 准教授 石井 英真 氏	所属校
4	8/20(火)	○	○	○	○	学習指導（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2）  【中・義・高合同開催】 【6年目研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・パフォーマンス評価をと おした指導と評価の一体化 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・協議] ・P D C A サイクルを活用した 課題研究への取組とメンター としての役割 ・自己成長のマネジメント	鳥取大学 講師 市川 和也 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
5	9/20(金)	○				学校経営基礎（3） （教育法規／危機管理）  【全校種合同開催】	[講義・演習] ・学校教育と法 [講義・演習] ・学校の危機管理	浜田・木村法律事務所 弁護士 浜田 真樹 氏	所属校
6	1/27(月)	○				課題研究（3） 学校経営基礎（4） 自己成長のマネジメント（3）  【全校種一部合同開催】	[研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 [講義・演習] ・これからのミドルリーダーに 求められるアセスメント・ ファシリテーション能力 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実 氏	倉吉体育文化会館
7						選択研修	○教育センターが実施する専門研修、鳥根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修から、以下のように3つ選択し受講する。 (1) 「情報教育」から1つ (2) ふるさとキャリア教育、「教科指導等」「特別支援教育」「教育相談・生徒指導・学級経営等」から2つ ※鳥根県教育センターとの連携講座及びしまだい学校教員研修については、上記(1)(2)に準ずる研修を選択可能とする。		
8					選択研修				
9					選択研修				
備考	・研修番号2【2-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号2【2-(2)】は午後からの半日開催とする。 ・研修番号3の講義の一部は事前に動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号3、研修番号5は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。								

⑥ 16年目研修（中学校・義務教育学校）

期日	指標との関連					ICT	研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮						
1	5/31(金)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1） <b>【全校種合同開催】</b>	[開講式] [オリエンテーション] [講義・演習] ・人と組織を成長させるために [講義] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントI [講義・演習] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントII [実践発表] ・課題研究をととした学校組織マネジメント [講義・演習] ・課題研究に向けて～ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために～	教育センター教育企画研修課長 鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 16年目研修過年度対象者 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	9/30(月)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2） <b>【全校種合同開催】</b>	[講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成I [講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成II [講義・演習] ・PDCAサイクルを活用した学校組織マネジメント	鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3	1/30(木)	○	○	○	○	○	課題研究（3） 自己成長のマネジメント（3） 学校経営基礎（3） <b>【全校種合同開催】</b>	[協議] ・ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために [講義・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの学校教育に求められるもの [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考	・研修番号3は午後からの半日開催とする。									

(4) 高等学校

①初任者研修 (高等学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T					
1 4/8(月)～ 4/18(木) (20分程度)	○	○	○	○	○	【1-(1)】 教員としての服務	[講義] ・教員としての服務 ・教職員評価・育成制度の理解	教育人材開発課管理主事	動画配信	
						4/8(月)～ 5/23(木) (40分程度)	【1-(1)】 鳥取県の教育 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の教育 [講義] ・教員のメンタルヘルス		教育センター指導主事 教育総務課健康管理主事
						5/30(木)～ 6/28(金) (1時間程度)	【1-(1)】 人権教育	[講義] ・鳥取県がめざす人権教育と人権学習		人権教育課指導主事
						4/18(木)	【1-(2)】 社会人としての接遇の仕方  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [オリエンテーション]		ユミ・プロデューズ 代表 池上 由美 氏 教育センター指導主事
2 4/19(金)～ 5/23(木) (4時間程度)	○	○	○	○	○	【2-(1)】 学習指導 (1) ホームルーム経営 (1)	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ～学習指導、ホームルーム経営の基礎・基本～	所属校先輩教員	所属校	
						5/23(木)	【2-(2)】 (午後) 学習指導 (1) ホームルーム経営 (1) 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学習指導の基礎・基本 [協議] ・ホームルーム経営のあり方 [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
3 6/6(木)	○	○	○	○	○	生徒指導 (1) 危機管理 学習指導 (2)	[講義・演習] ・生徒指導のあり方 [講義・協議] ・いじめ・不登校の未然防止と早期対応 [講義・演習] ・危機管理と組織的対応 [講義・演習] ・1時間の授業づくり	教育センター指導主事	倉吉未来中心	
4 7/4(木)	○	○	○	○	○	特別支援教育 学習指導 (3)	[講義・演習] ・鳥取県の特別支援教育の現状 ・発達障がい特性理解と支援 [講義・演習] ・ねらいを明確にした授業づくり	教育センター指導主事	倉吉未来中心	
5 8/22(木)	○	○	○	○	○	特別活動 学習指導 (4) I C T活用教育 自己成長のマネジメント (2)	[講義・演習] ・特別活動の指導と工夫 [講義・演習] ・授業のねらいを達成する指導の工夫 ～つまずきの把握と手立て～ [講義・演習] ・これからの社会と教育における I C T活用の必要性 ・ I C Tを活用した授業づくり [講義・演習] ・自己目標の振り返り	教育センター指導主事	伯耆しあわせの郷	
6 9/26(木)	○	○	○	○	○	生徒指導 (2) ホームルーム経営 (2) 学習指導 (5)	[講義] ・教育相談の進め方 [講義・演習] ・ホームルーム経営の工夫 [講義・演習] ・学びの質を高める授業づくり	教育センター等指導主事	倉吉未来中心	
7 10月 又は 11月	○	○	○	○	○	生徒指導 (3) 学習指導 (6)	[講話] ・定時制通信制教育に学ぶ [授業参観] [講義・協議] ・生徒理解と個別支援の工夫 [講義・演習] ・学ぶ意欲を高める授業づくり ～授業のユニバーサルデザイン化～	県内高等学校長及び教諭 教育センター指導主事	県内高等学校	
8 10月 又は 11月	○	○	○	○	○	校種間連携 ふるさとキャリア教育	[講話] ・これからの教師に期待すること [授業参観] [協議] ・中学校教育に学ぶ [講義・演習] ・ふるさとキャリア教育のあり方	県内中学校長及び教諭 教育センター指導主事	県内中学校	

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
9	11/7(木)	○	○	○	○	体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・高合同開催】	[講話] ・自然体験と集団活動の意義 [体験活動] ・自然体験と集団活動 [協議] ・体験活動からの学び	船上山少年自然の家所長及び 社会教育主事 教育センター指導主事	船上山少年 自然の家
	11/21(木)								
10	1/23(木)	○	○	○	○	自己成長のマネジメント (3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の取組と振り返り [演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1【1-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号1【1-(2)】は午後からの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2【2-(1)】は所属校の先輩教員のシャドーイングを4時間程度行う。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号2【2-(2)】は午後からの半日開催とし、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・「ココカラ部」として研修後に短時間の相談会を適宜実施する。</li> <li>・期日・会場未定の回については、別途連絡する。</li> </ul>								



## ② 2年目研修 (高等学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/10(金)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり (1) 学習指導 (1)  【小・中・義・高・養一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・演習] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉未来中心
2	8/2(金)	○	○	○	○	○	人間関係づくり (2) 学習指導 (2) 自己成長のマネジメント (2)	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業づくり～ [講義・協議] ・認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業づくり～自身の困りの解消に向けて～ [協議・演習] ・自己成長のマネジメント	高等学校エキスパート教員 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/21(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり (3) 学習指導 (3) 自己成長のマネジメント (3)  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		・研修番号1、研修番号3は午後だけの半日開催とする。								

## ③ 3年目研修 (高等学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/21(火)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント (1) 人間関係づくり (1) 学習指導 (1)  【小・中・義・高・養一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・協議] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	8/6(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり (2) 学習指導 (2) 自己成長のマネジメント (2)	[講義] ・先輩に学ぶ～認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業づくり～ [講義・演習] ・生徒の実態把握と課題解決に向けた授業づくり～認め合い高め合う人間関係を基盤とした授業に向けて～ [協議] ・自己成長のマネジメント	高等学校エキスパート教員 教育センター指導主事	伯耆しあわせの郷
3	1/17(金)	○	○	○	○	○	人間関係づくり (3) 学習指導 (3) 自己成長のマネジメント (3)  【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考		・研修番号1、研修番号3は午後だけの半日開催とする。								

④ 6年目研修（高等学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	6/24(月)	○	○	○	○	自己成長のマネジメント (1) 課題研究(1) 学習指導(1)  【中・義・高合同開催】 【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[開講式] [講義] ・学び続ける教師として [オリエンテーション] [講義・演習] ・課題研究の取組と校内還元を進め方 [講義・演習] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をおとした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	県内学校教育関係者 教育センター指導主事 京都大学 准教授 石井 英真 氏	所属校
2	8/20(火)	○	○	○	○	学習指導(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント (2)  【中・義・高合同開催】 【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[講義・協議] ・パフォーマンス評価をおとした指導と評価の 一体化 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・演習] ・研修成果の還元をおとした校内組織への貢献 ～学びを実践につなげるために～	鳥取大学 講師 市川 和也 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/28(火)	○	○	○	○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント (3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[協議] ・学習指導における専門性の向上に向けて [協議] ・学校組織への貢献に向けて [講話] ・視野の拡大と自己成長 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 県内企業経営者	倉吉体育文化会館
4						選択研修 又はエキスパート教員の 授業参観	○選択研修は、教育センターが実施する専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修から1つ選択し受講する。  ○エキスパート教員の授業は、教育センターホームページ「エキスパート教員授業案内」又は「授業支援サイト」（教職員用）等を参照する。		
備考		・研修番号1は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。							

⑤中堅教諭等資質向上研修（高等学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T					
1	4/22(月)	○		○	○	○	学校経営基礎（1） 教育課題（1） （いじめ・不登校対応） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1）  【全校種合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅰ [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅱ [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と支援のあり方 [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	広島大学 教授 曾余田 浩史 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	5/13(月)～ 6/14(金) (2時間程度)	○					【2-(1)】 学校経営基礎（2） 地域連携 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の高等学校教育における課題と取組 [講義] ・地域とともにある学校づくりをめざして [講義] ・教員のメンタルヘルス	高等学校課指導主事 社会教育課社会教育主事 教育総務課健康管理主事	動画配信
	5/13(月)	○					【2-(2)】 人権教育 コーチング  【全校種合同開催】	【2-(2)】 [講義・演習] ・人権教育の現状と課題 [講義・演習] ・同僚性を高め合うコーチング	株式会社S T C 代表取締役 樋間 勢津 氏	倉吉体育文化会館
3	6/24(月)		○	○	○	○	学級経営 学習指導（1）  【中・義・高合同開催】 【6年目研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・かかわり合い認め合う集団づくりに向けた指導力の向上 [講義・演習] ・個別最適な学び、協働的な学びの充実をとおした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	かかわりプログラムSsimple 代表 曾山 和彦 氏 京都大学大学院 准教授 石井 英真 氏	所属校
4	8/20(火)	○	○		○	○	学習指導（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2）  【中・義・高合同開催】 【6年目研修と一部合同開催】	[講義・演習] ・パフォーマンス評価をとおした指導と評価の一体化 [講義・演習] ・校内組織の活性化に向けた取組 [講義・協議] ・P D C A サイクルを活用した課題研究への取組とメンターとしての役割 ・自己成長のマネジメント	鳥取大学 講師 市川 和也 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
5	9/20(金)	○					学校経営基礎（3） （教育法規／危機管理）  【全校種合同開催】	[講義・演習] ・学校教育と法 [講義・演習] ・学校の危機管理	浜田・木村法律事務所 弁護士 浜田 真樹 氏 教育センター指導主事	所属校
6	1/27(月)	○					課題研究（3） 学校経営基礎（4） 自己成長のマネジメント（3）  【全校種合同開催】	[研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 [講義・演習] ・これからのミドルリーダーに求められるアセスメント・ファシリテーション能力 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実 氏	倉吉体育文化会館
7							選択研修			
8							選択研修			
9							選択研修			
備考	・研修番号2【2-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号2【2-(2)】は午後からの半日開催とする。 ・研修番号3の講義の一部は事前に動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号3、研修番号5は所属校でW e b会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

⑤ 16年目研修（高等学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/31(金)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1） <b>【全校種合同開催】</b>	[開講式] [オリエンテーション] [講義・演習] ・人と組織を成長させるために [講義] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅠ [講義・演習] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅡ [実践発表] ・課題研究をおとした学校組織マネジメント [講義・演習] ・課題研究に向けて～ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために～	教育センター教育企画研修課長 鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 16年目研修過年度対象者 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	9/30(月)	○	○	○	○	○	学校経営基礎（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2） <b>【全校種合同開催】</b>	[講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅰ [講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅱ [講義・演習] ・P D C A サイクルを活用した学校組織マネジメント	鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3	1/30(木)	○	○	○	○	○	課題研究（3） 自己成長のマネジメント（3） 学校経営基礎（3） <b>【全校種合同開催】</b>	[協議] ・ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために [講義・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの学校教育に求められるもの [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考	・研修番号3は午後からの半日開催とする。									

(5) 特別支援学校

① 初任者研修 (特別支援学校)

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T				
1	4/8(月)～ 4/18(木) (20分程度)					【1-(1)】 教員としての服務	[講義] ・教員としての服務 ・教職員評価・育成制度の理解	教育人材開発課管理主事	動画配信
	4/8(月)～ 5/23(木) (40分程度)	○	○	○	○	【1-(1)】 鳥取県の教育 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の教育 [講義] ・教員のメンタルヘルス	教育センター指導主事 教育総務課健康管理主事	
	5/30(木)～ 6/28(金) (1時間程度)					【1-(1)】 人権教育	[講義] ・鳥取県がめざす人権教育と人権学習	人権教育課指導主事	
	4/18(木)	○				【1-(2)】 社会人としての接遇の仕方  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [オリエンテーション]	ユミ・プロデュース 代表 池上 由美 氏 教育センター指導主事	
2	4/19(金)～ 5/23(木) (4時間程度)					【2-(1)】 学級経営	[実務研修] ・先輩教員に学ぶ ～学級経営の基礎・基本～	所属校先輩教員	所属校
	5/23(木)	○	○	○	○	【2-(2)】 (午後) 学級経営 児童生徒理解 (1) 自己成長のマネジメント (1)	[講義・協議] ・学級経営の基礎・基本 [講義] ・発達障がい教育の指導と支援 ～特別支援学校のセンター的機能～ [講義・演習] ・1年間の目標設定	教育センター指導主事	所属校
3	6/6(木)		○	○	○	学習指導 (1) 児童生徒理解 (2) I C T活用教育 自己成長のマネジメント (2)	[講義・演習] ・ねらいを明確にした授業 ～魅力ある授業づくり～ [講義・演習] ・1時間の授業づくり ～学習指導案の作成について～ [講義・演習] ・これからの社会とI C T活用の必要性 [講義・演習] ・自己目標の振り返り	教育センター指導主事 特別支援学校エキスパート教員 教育センター指導主事	倉吉未来中心
4	7/4(木)		○	○	○	危機管理 学習指導 (2) 児童生徒理解 (3)	[講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と早期対応 ・危機管理と組織的対応 [講義・演習] ・自立活動の意義と指導の基本 [講義・演習] ・自立活動の流れ図について [協議] ・明日からの実践に向けて	教育センター指導主事 特別支援学校エキスパート教員	倉吉未来中心
5	9/12(木)		○	○	○	視覚障がい教育 学習指導 (3) 児童生徒理解 (4) 聴覚障がい教育 手話言語条例	[講義・演習] ・視覚障がい教育の指導と支援 [授業参観] [講義・演習] ・聴覚障がい教育の指導と支援 [授業参観] [講義・演習] ・コミュニケーション支援とその配慮事項 [協議] ・明日からの実践に向けて	盲学校及び聾学校教諭 教育センター指導主事	盲学校 聾学校
6	10/3(木)		○	○	○	肢体不自由教育・病弱教育 医療、福祉との連携 学習指導 (4) 児童生徒理解 (5)	[講義] ・肢体不自由教育・病弱教育の指導と支援 [授業参観] [講義・演習] ・個に応じた指導及び支援の工夫 ・関係機関との連携 [協議] ・明日からの実践に向けて	皆生養護学校教諭 教育センター指導主事	皆生養護学校
7	10/24(木)		○	○	○	高等特別支援学校の教育 ふるさとキャリア教育 学習指導 (5) 児童生徒理解 (6)	[講話] ・特別支援学校の教育 [講義・協議] ・キャリア発達を促す指導・支援 [講義] ・就労に向けた指導・支援のあり方 [授業参観] [講義] ・鳥取県におけるふるさとキャリア教育 [協議] ・明日からの実践に向けて	琴の浦高等特別支援学校校長及び教諭 教育センター指導主事	琴の浦高等特別支援学校
8	11/14(木)	○	○	○	○	体験活動 人間関係づくり  【小・中・義・特合同開催】	[講話] ・自然体験と集団活動の意義 [体験活動] ・自然体験と集団活動 [協議] ・体験活動からの学び	船上山自然の家所長及び社会 教育主事 教育センター指導主事	船上山少年 自然の家

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T					
9	11/28(木)		○	○	○	○	知的障がい教育 学習指導(6) 児童生徒理解(7)	[講義] ・知的障がい教育の指導と支援 [授業参観] [講義・演習] ・各教科等を合わせて指導を行う場合の効果的な指導のあり方 [協議] ・明日からの実践に向けて [講義・演習] ・特別支援学校の教員として	県内特別支援学校教諭 教育センター指導主事	県立白兔養護学校
10	1/23(木)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり 【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の取組と振り返り [演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1【1-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号1【1-(2)】は午後だけの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2【2-(1)】は所属校の先輩教員のシャドーイングを4時間程度行う。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号2【2-(2)】は午後だけの半日開催とし、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・「ココ♪カラ部」として研修後に短時間の相談会を適宜実施する。</li> </ul>								

## ② 2年目研修（特別支援学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/14(火)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1) 【小・中・義・特一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・演習] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	8/2(金)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(2) 学習指導(2) 自己成長のマネジメント(2)	[講義] ・先輩に学ぶ～他者とのかかわりを意識した授業づくり～ [講義・協議] ・児童生徒の実態把握と他者とのかかわりを意識した授業づくり～自身の困りの解消に向けて～ [協議・演習] ・自己成長のマネジメント	特別支援学校エキスパート教員 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/21(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(3) 学習指導(3) 自己成長のマネジメント(3) 【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		・研修番号1、研修番号3は午後みの半日開催とする。								

## ③ 3年目研修（特別支援学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/30(木)	○	○	○	○	○	自己成長のマネジメント(1) 人間関係づくり(1) 学習指導(1) 【小・中・義・特一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらいと1年間の目標設定 [講義・協議] ・豊かな人間関係を築く指導の工夫	教育センター指導主事	伯耆しあわせの郷
2	7/30(火)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(2) 学習指導(2) 自己成長のマネジメント(2)	[講義・演習] ・先輩に学ぶ～他者とのかかわりを意識した授業づくり～ [講義・演習] ・児童生徒の実態把握と他者とのかかわりを意識した授業づくり～自身の困りの解消に向けて～ [協議] ・自己成長のマネジメント	特別支援学校エキスパート教員 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/17(金)	○	○	○	○	○	人間関係づくり(3) 学習指導(3) 自己成長のマネジメント(3) 【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考		・研修番号1、研修番号3は午後みの半日開催とする。								

④ 6年目研修（特別支援学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT					
1	5/28(火)	○	○		○	○	自己成長のマネジメント(1) 課題研究(1) 学習指導(1)  【小・義・特一部合同開催】	[閉講式] [講義] ・学び続ける教師として [オリエンテーション] [講義・演習] ・課題研究の取組と校内還元を進め方 [講義・演習] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅠ ～各教科の視点を意識した授業改善～	県内学校教育関係者 教育センター指導主事 筑波大学 元教授 下山 直人 氏	倉吉体育文化会館
2	8/5(月)	○	○		○	○	学習指導(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント(2)  【中堅教諭等資質向上研修と一部合同開催】	[講義・協議] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅡ～「指導と評価の一体化」の視点を意識した授業改善～ [講義・協議] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅢ～「指導と評価の一体化」の視点を意識した授業改善～ [講義・演習] ・研修成果の還元をとおした校内組織への貢献～学びを実践につなげるために～	筑波大学 元教授 下山 直人 氏 教育センター指導主事	湯梨浜町中央公民館
3	1/28(火)	○	○		○	○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり  【全校種一部合同開催】	[協議] ・学習指導における専門性の向上に向けて [協議] ・学校組織への貢献に向けて [講話] ・視野の拡大と自己成長 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 県内企業経営者	倉吉体育文化会館
4							選択研修 又はエキスパート教員の授業参観	○選択研修は、教育センターが実施する専門研修、島根県教育センターとの連携講座、島根大学との連携講座から1つ選択し受講する。 ○エキスパート教員の授業は、教育センターホームページ「エキスパート教員授業案内」又は「授業支援サイト」（教職員用）等を参照する。		
備考										



⑤中堅教諭等資質向上研修（特別支援学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	I C T				
1	4/22(月)	○	○	○	○	学校経営基礎（1） 教育課題（1） （いじめ・不登校対応） 課題研究（1） 自己成長のマネジメント（1）  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅰ [講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーとしての役割Ⅱ [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と支援のあり方 [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	広島大学 教授 曾余田 浩史 氏 いじめ・不登校総合対策センター指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	5/13(月)～ 6/14(金) (2時間程度)	○			○	【2-(1)】 学校経営基礎（2） 地域連携 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の特別支援教育における課題と取組 [講義] ・地域とともにある学校づくりをめざして [講義] ・教員のメンタルヘルス	特別支援教育課指導主事 社会教育課社会教育主事 教育総務課健康管理主事	動画配信
	5/13(月)	○				【2-(2)】 人権教育 コーチング  【全校種合同開催】	[講義・演習] ・人権教育の現状と課題 [講義・演習] ・同僚性を高め合うコーチング	人権教育課指導主事 株式会社S T C 代表取締役 榎間 勢津 氏	倉吉体育文化会館
3	6/17(月)	○	○	○	○	学習指導（1） 教育課題（2） （保護者支援）	[講義・演習] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅠ～カリキュラム・マネジメントの視点による授業改善～ [講義・協議] ・保護者との効果的な連携をめざして	筑波大学 元教授 下山 直人 氏 ベアレントメンター鳥取 ベアレントメンター 教育センター指導主事	県立武道館
4	8/5(月)	○	○		○	学習指導（2） 課題研究（2） 自己成長のマネジメント（2）  【6年目研修と一部合同開催】	[講義・協議] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅡ～カリキュラム・マネジメントの視点による授業改善～ [講義・協議] ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりⅢ～カリキュラム・マネジメントの視点による授業改善～ [講義・演習] ・P D C A サイクルを活用した課題研究への取組とメンターとしての役割 ・自己成長のマネジメント	筑波大学 元教授 下山 直人 氏 教育センター指導主事	湯梨浜町中央公民館
5	9/20(金)	○				学校経営基礎（3） （教育法規/危機管理）  【全校種合同開催】	[講義・演習] ・学校教育と法 [講義・演習] ・学校の危機管理	浜田・木村法律事務所 弁護士 浜田 真樹 氏	所属校
6	1/27(月)	○				課題研究（3） 学校経営基礎（4） 自己成長のマネジメント（3）  【全校種一部合同開催】	[研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 [講義・演習] ・これからのミドルリーダーに求められるアセスメント・ファシリテーション能力 [演習・協議] ・今後の目標設定 [閉講式]	教育センター指導主事 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実 氏	倉吉体育文化会館
7						選択研修	○教育センターが実施する専門研修、島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修から以下のように3つ選択し、受講する。 (1)「情報教育」から1つ (2)「特別支援教育」から1つ (3)ふるさとキャリア教育、「教科指導等」「教育相談・生徒指導・学級経営等」から1つ  ※島根県教育センターとの連携講座及びしまだい学校教員研修については上記（1）（2）（3）に準ずる研修を選択可能とする。		
8					選択研修				
9					選択研修				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号2【2-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号2【2-(2)】は午後からの半日開催とする。</li> <li>・研修番号5は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>								

⑥ 16年目研修（特別支援学校）

期日	指標との関連					研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮	ICT				
1	5/31(金)	○	○	○	○	○	[閉講式] [オリエンテーション] [講義・演習] ・人と組織を成長させるために [講義] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅠ [講義・演習] ・「次世代の学校づくり」につながる組織マネジメントⅡ [実践発表] ・課題研究をとおした学校組織マネジメント [講義・演習] ・課題研究に向けて～ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために～	教育センター教育企画研修課長 鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 16年目研修過年度対象者 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	9/30(月)	○	○	○	○	○	[講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅰ [講義・演習] ・学校教育目標の実現に向けた組織的展開と人材育成Ⅱ [講義・演習] ・PDCAサイクルを活用した学校組織マネジメント	鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
3	1/30(木)	○	○	○	○	○	[協議] ・ミドルリーダーとしての総合的な実践力を高めるために [講義・演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの学校教育に求められるもの [閉講式]	教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考	・研修番号3は午後からの半日開催とする。								

(6) 養護教諭

①新規採用養護教諭研修

期日	指標との関連				研修項目	主な研修内容	講師	会場	
	素養	保健教育	保健管理	学校運営					
1	4/8(月)～ 4/18(木) (20分程度)				【1-(1)】 教員としての服務	[講義] ・教員としての服務 ・教職員評価・育成制度の理解	教育人材開発課管理主事	動画配信	
	4/8(月)～ 5/23(木) (40分程度)	○	○	○	【1-(1)】 鳥取県の教育 メンタルヘルス	[講義] ・鳥取県の教育 [講義] ・教員のメンタルヘルス	教育センター指導主事 教育総務課健康管理主事		
	5/30(木)～ 6/28(金) (1時間程度)				【1-(1)】 人権教育	[講義] ・鳥取県がめざす人権教育と人権学習	人権教育課指導主事		
	4/18(木)	○			【1-(2)】 社会人としての接遇の仕方 【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・演習] ・社会人としての心構えとマナー [オリエンテーション]	ユミ・プロデュース 代表 池上 由美 氏 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館	
2	5/23(木)	○	○	○	鳥取県の健康教育の現状と課題 養護教諭の職務と役割 保健室経営(1) 自己成長のマネジメント(1)	[講義・協議] ・鳥取県の健康教育の現状と課題 ・養護教諭の職務と役割 [講義・協議] ・学校保健計画・保健室経営計画の作成とその 必要性 [講義・演習] ・1年間の目標設定	体育保健課指導主事 教育センター指導主事	所属校	
3	6/4(火)		○	○	保健教育(1) 保健管理(1)	[講義・協議] ・保健教育の基礎と養護教諭の役割 [講義・演習] ・学校における食物アレルギーの適切な対応に 向けて [講義・演習] ・救急処置のあり方と実際	体育保健課指導主事 鳥取大学医学部附属病院小児科 講師 村上 潤 氏 日本赤十字社指導員	倉吉未来中心	
4	6/20(木)			○	○	特別支援学校の教育	[講義] ・特別支援学校の教育 [講義] ・特別支援学校における児童生徒理解 [講義・協議] ・特別支援学校における養護教諭の役割 ・安全な学校づくりの取組について ・医療的ケアの取組	鳥取養護学校 校長、教諭及び養護教諭	鳥取養護学校
5	7/5(金)			○	○	保健管理(2)	[講義・演習] ・感染症予防・疾病予防について ・生涯を通じた健康づくり [講義・演習] ・学校保健における保健管理	東部福祉保健事務所職員 国士舘大学 教授 鈴木 裕子 氏	倉吉未来中心
6	8/1(木)		○	○	○	教育課題 (いじめ・不登校対応) 保健教育(2) 保健管理(3)	[講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と早期発見 [講義・演習] ・性に関する指導と養護教諭の役割 [講義・演習] ・歯と口の健康指導 [講義・協議] ・学校薬剤師との連携	教育センター指導主事 県内学校養護教諭 県内歯科医師 県内学校薬剤師	倉吉未来中心
7	8/22(木)		○	○	保健教育(3) 保健室経営(2)	[実践発表] ・私の保健教育～前期の実践から～ [講義・演習] ・主体的・対話的で深い学びにつながる保健教育 の授業づくり [協議] ・今後の保健室経営に向けて	熊本市教育委員会 教育委員 澤 栄美 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心	
8	9/5(木)			○	○	健康相談(1) 保健組織活動 保健室経営(3)	[講義・演習] ・児童生徒のメンタルヘルス [講義・協議] ・組織的な学校保健の推進 [講義・協議] ・学校保健の推進と学校医との連携	教育総務課健康管理主事 県内学校養護教諭 県内医師(学校医)	倉吉未来中心
9	9/24(火)	○		○	○	健康相談(2) 保健室経営(4) 自己成長のマネジメント(2)	[講義・協議] ・児童虐待の現状と養護教諭の役割 [講義・協議] ・保健室経営計画の中間評価と改善 [協議] ・自己目標の振り返り	児童相談所職員 体育保健課指導主事 教育センター指導主事	中部総合事務所
10	1/23(木)	○	○	○	○	保健室経営(5) 自己成長のマネジメント(3) これからのビジョンづくり 【全校種一部合同開催】	[実践発表] ・1年間の取組と振り返り [演習] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に望むこと [閉講式]	体育保健課指導主事 教育センター指導主事 県内学校関係者	倉吉未来中心
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1【1-(1)】は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・研修番号1【1-(2)】、研修番号2は午後みの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・初任者タイムとして10～15分程度で仲間づくり等の活動を適宜実施する。</li> <li>・「ココロカラ部」として研修後に短時間の相談会を適宜実施する。</li> </ul>								

## ② 2年目研修（養護教諭）

期日	指標との関連				研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	保健教育	保健管理	学校運営				
1	5/10(金)	○		○	保健管理 課題研究(1) 自己成長のマネジメント(1) 【小・中・義・高・養一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらい [講義・協議] ・保健管理の実際と充実に向けて [演習・協議] ・1年間の目標設定と課題研究の進め方	体育保健課指導主事 教育センター指導主事	倉吉未来中心
2	6月～12月		○	○	課題研究(2) 「先輩に学ぶ」 (6～12月に実施)	[実務研修] ・保健室経営の実際 ・保健管理・保健教育・健康相談への取組 ・校内委員会等における活動の推進	県内学校養護教諭	県内学校
3	1/21(火)	○		○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント(2) 【全校種一部合同開催】	[研究発表] ・課題研究の成果と今後の取組 [協議・演習] ・3年目に向けた目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	体育保健課指導主事 教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉未来中心
備考		・研修番号1、研修番号3は午後みの半日開催とする。						

## ③ 3年目研修（養護教諭）

期日	指標との関連				研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	保健教育	保健管理	学校運営				
1	5/21(火)	○		○	健康相談(1) 課題研究(1) 自己成長のマネジメント(1) 【小・中・義・高・養一部合同開催】	[開講式] [オリエンテーション] ・研修のねらい [講義・協議] ・健康相談の実際と充実に向けて [演習・協議] ・1年間の目標設定と課題研究の進め方	体育保健課指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	8/29(木)	○		○	健康相談(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント(2) 【中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)との合同開催】	[講義・協議] ・事例から考える健康相談の実際 ～養護教諭に求められる気づきの感性～ [講義・演習] ・健康相談の進め方と連携のあり方 [協議] ・課題研究の中間報告と後期に向けて	静岡大学 教授 鎌塚 優子 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
3	1/17(金)	○		○	課題研究(3) 自己成長のマネジメント(3) 【全校種一部合同開催】	[研究発表] ・課題研究の成果と今後の取組 [協議] ・今後の目標設定 [講話] ・これからの教師に期待すること [閉講式]	体育保健課指導主事 教育センター指導主事 県内教育関係者	倉吉体育文化会館
備考		・研修番号1、研修番号3は午後みの半日開催とする。						

④中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）

期日	指標との関連				研修項目	主な研修内容	講師	会場
	素養	保健教育	保健管理	学校運営				
1	4/22(月)			○	保健室経営 保健組織活動 課題研究(1) 自己成長のマネジメント(1)  【全校種一部合同開催】	[開講式] [講義・協議] ・組織的な学校保健活動の推進 [講義・演習] ・いじめ・不登校の未然防止と支援のあり方 [講義・演習] ・中堅教諭等資質向上研修について ・1年間の目標設定	京都女子大学 教授 大川 尚子 氏 いじめ・不登校総合対策センター指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
2	6/24(月)			○	学校経営基礎(1) 保健管理	[講義・演習] ・危機管理における養護教諭の役割 ・判例をとらえて考える危機管理の実際	国士舘大学 特任教授 入澤 充 氏	所属校
3	7/5(金)		○	○	保健教育(1)	[講義] ・保健室経営計画の運用・改善 [講義・協議] ・養護教諭の専門性を生かした健康教育の推進 [講義・演習] ・組織と連携した保健教育の実際	体育保健課指導主事 京都女子大学 教授 大川 尚子 氏	所属校
4	8/29(木)		○	○	健康相談 教育課題  【3年目研修(養護教諭)との合同開催】	[講義・協議] ・事例から考える健康相談の実際 ～養護教諭に求められる気づきの感性～ [講義・演習] ・健康相談の進め方と連携のあり方 [協議] ・校内における健康相談の充実に向けて (後輩へのアドバイス)	静岡大学 教授 鎌塚 優子 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
5	9/10(火)	○	○	○	保健教育(2) 学校経営基礎(2) 課題研究(2) 自己成長のマネジメント(2)	[講義・演習] ・基本的な生活習慣の形成をめざして ～”活動と睡眠”について考える～ [講義・演習] ・将来にわたって地域減災の担い手となる子どもたちを育てるために [講義・協議] ・P D C Aサイクルを活用した課題研究への取組	鳥取看護大学 教授 田中 響 氏 教育センター指導主事	倉吉未来中心
6	10/22(火)		○	○	メンタルヘルス 特別支援教育	[講義] ・子どものメンタルヘルスの理解 [講義・協議] ・発達障がいの子どもの理解と支援	鳥取大学 教授 竹田 伸也 氏 兵庫県立大学 教授 古川 恵美 氏	所属校
7	1/27(月)	○	○	○	課題研究(3) 学校経営基礎(3) 自己成長のマネジメント(3)  【全校種一部合同開催】	[研究発表・協議] ・課題研究の成果と今後の取組 ・学校保健に求められる養護教諭の役割 [閉講式]	体育保健課指導主事 教育センター指導主事	倉吉体育文化会館
8					選択研修	○教育センターが実施する専門研修、あるいは島根県教育センターとの連携講座、しまだい学校教員研修から1つ選択し受講する。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号2、研修番号7は午後からの半日開催とする。</li> <li>・研修番号2、研修番号3、研修番号6は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>							

## 2 職務研修

### (1) 学校経営研修

研修名	学校C I O研修（小・中・義）				対象	市町村（学校組合）立学校長			
期日	5/21(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義] ・ I C Tによる授業改善と校内研修の改革 [協議] ・ 授業、校務における I C Tの活用を推進するための組織的な学校運営					熊本大学大学院教育学研究科 特任教授 前田 康裕 氏 教育センター指導主事				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後だけの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でW e b会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 市町村（学校組合）教育委員会の担当者の聴講も可能とする。</li> </ul>								

研修名	学校C I O研修（高）				対象	県立高等学校長			
期日	5/14(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義] ・ 高等学校における学校教育のデジタル化と校内体制の考え方 [協議] ・ 1人1台端末環境における学びを変革するための組織的な学校運営					奈良教育大学教職大学院 准教授 小崎 誠二 氏				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後だけの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でW e b会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 情報化推進リーダー研修（高）との合同開催とする。</li> </ul>								

研修名	学校C I O研修（特）				対象	県立特別支援学校長				
期日	5/31(金)			会場	所属校					
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T	○
研 修 内 容					講 師 等					
[講義] ・ 特別支援教育における I C T活用と校内体制の充実 [協議] ・ 効果的な I C T活用を推進するため校内体制づくり					合同会社 未来教育デザイン 代表社員 平井 聡一郎 氏					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後だけの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でW e b会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 情報化推進リーダー研修（特）との合同開催とする。</li> </ul>									

研修名	新任校長研修（全）				対象	新任校長			
研修番号1	期日	5/9(木)		会場	教育センター				
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[開講式] [講話] ・新任校長に期待すること [オリエンテーション] ・新任校長研修について [講義・演習] ・第2次評価者としての役割と実務					県教育長 教育センター指導主事 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一 氏				
研修番号2	期日	5月～10月		会場	希望する学校				
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[実務研修] ・先輩校長に学ぶ					県内学校長				
研修番号3	期日	6/11(火)		会場	県立武道館				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・校長に求められるアセスメント能力とファシリテーション能力 [講義・演習] ・学校経営と学校組織マネジメント					湘南学園 学園長 住田 昌治 氏 国士舘大学 教授 北神 正行 氏				
研修番号4	期日	6/24(月)		会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理		
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・学校危機管理と校長の役割～法的責任の理論と訴訟事例を踏まえて～					長野総合法律事務所 弁護士 峯本 耕治 氏				
研修番号5	期日	9/30(月)		会場	上灘コミュニティセンター				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[実践発表] ・地域とともにある学校として [講義・演習] ・「地域と学校の連携・協働」のこれから ～求められる学校管理職の役割とは？～ [講義・演習] ・学校の組織力を高める校長のリーダーシップ					県内学校関係者 山口県美祢市立大嶺小学校 校長 相田 康弘 氏 愛媛大学 教授 露口 健司 氏				
研修番号6	期日	10/24(木)		会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・学校管理運営のあり方					教育人材開発課人事担当 教育局学事担当				
研修番号7	期日	11/28(木)		会場	倉吉体育文化会館				
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[協議] ・学校経営の改善計画～実務研修を活かして～ [講義] ・これからの学校経営に求められること [閉講式]					教育センター指導主事 県内教育関係者				
備考	・研修番号4は管理職研修(全)(C日程)との合同開催とする。 ・研修番号3・5は管理職研修(全)事務主幹・事務長研修(全)(B日程)(G日程)との一部合同開催とする。 ・研修番号4・6は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号4・6・7は午後からの半日開催とする。								

研修名	管理職研修（全）				対象	希望する校長、副校長、教頭			
A日程	5/7(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・管理職のリーダーシップと人材育成					株式会社ナガオ考務店 代表 長尾 彰 氏				
B日程	6/11(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義・演習] ・校長に求められるアセスメント能力とファシリテーション能力					湘南学園 学園長 住田 昌治 氏				
C日程	6/24(月)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義・協議] ・学校危機管理と校長の役割～法的責任の理論と訴訟事例を踏まえて～					長野総合法律事務所 弁護士 峯本 耕治 氏				
D日程	6/28(金)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義・協議] ・管理職のリーダーシップと人材育成					キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員人事総務戦略担当 坪井 純子 氏				
E日程	7/22(月)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義] ・いじめの未然防止と「効果のある学校づくり」					鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏				
F日程	8/30(金)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義] ・次世代の学校を創る～授業観の転換～					国士舘大学 教授 喜名 朝博 氏				
G日程	9/30(月)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[実践発表] ・地域とともにある学校として [講義・演習] ・「地域と学校の連携・協働」のこれから ～求められる学校管理職の役割とは?～					県内学校関係者 山口県美祢市立大嶺小学校 校長 相田 康弘 氏				
H日程	10/22(火)				会場	教育センター又は所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義・演習] ・管理職としてのリーダーシップと人材育成					Google for Education 市場開発部/顧客戦略部 部長 上原 玲 氏				
I日程	10/29(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
[講義・演習] ・インクルーシブ教育システム構築に向けた校内体制づくり					文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 加藤 典子 氏				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後からの半日開催とする。</li> <li>・A日程は2年次校長評価者研修（全）との合同開催とする。</li> <li>・B・C・G日程は新任校長研修（研修番号3・4・5）との合同開催とする。</li> <li>・全日程とも事務主幹・事務長研修（全）と合同開催とする。</li> <li>・H日程は集合型研修又は非集合型研修を任意で選択する。非集合型研修を受講する場合は、所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・A・B・C・D・E・F・G・I日程は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>								



研修名	新任副校長研修（全）				対象	新任副校長			
期日	6/13(木)			会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講話] ・副校長に期待すること [協議] ・学校経営上の課題と今後の方策					県内学校長等				
備考	・午後のみの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・対象者の人数によっては開催しない場合がある。								

研修名	新任教頭研修（全）				対象	新任教頭		
研修番号1（1）	期日	5/16（木）		会場	教育センター			
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[開講式] [講話] ・学校運営に求められること～教頭の役割～ [講義] ・いじめ・不登校の未然防止のために [オリエンテーション] ・新任教頭研修について [講義・演習] ・教職員評価・育成制度の趣旨と実際					県教育次長 いじめ・不登校総合対策センター長 教育センター指導主事 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一 氏			
研修番号1（2）	期日	5/17（金）～6/14（金）		会場	所属校			
研 修 内 容					講 師 等			
[講義] ・教職員のメンタルヘルス					教育総務課福利担当			
研修番号2	期日	5月～10月		会場	希望する学校			
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[実務研修] ・先輩教頭に学ぶ					県内学校教頭			
研修番号3	期日	6/14（金）		会場	倉吉未来中心			
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[講義・演習] ・学校の危機管理と教頭の役割					前橋工科大学 教授 小林 清 氏			
研修番号4	期日	7/8（月）		会場	鳥取県立武道館			
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[講義・演習] ・学校運営と学校組織マネジメント					九州大学 教授 元兼 正治 氏			
研修番号5	期日	9/10（火）		会場	倉吉未来中心			
指標との関連	素養		学校経営		学校管理運営		教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[講義・演習] ・職務遂行状況の把握と評価～事例に学ぶ評価のポイント～					兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一 氏			
研修番号6	期日	10/21（月）		会場	所属校			
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[講義・演習] ・特別支援教育の視点を踏まえた学校運営のあり方 [講義・演習] ・学校管理運営のあり方					兵庫県立山の学校 校長 田中 裕一 氏 県内学校長 教育人材開発課人事担当 教育局学事担当			
研修番号7	期日	11/29（金）		会場	倉吉体育文化会館			
指標との関連	素養	○	学校経営	○	学校管理運営	○	教職員管理	○
研 修 内 容					講 師 等			
[協議] ・学校運営の改善計画～実務研修を活かして～ [講義] ・これからの学校教育に求められるもの [閉講式]					教育センター指導主事 県内学校関係者			
備考	・研修番号1（1）・6は新任事務長研修（高・特）（研修番号1・2）との一部合同開催とする。 ・第1回（2）は動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号3・5・7は午後からの半日開催する。 ・研修番号6は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。							

研修名	新任事務長研修（高・特）				対象	県立学校の新任事務長				
研修番号 1	期日	5/16(木)		会場	教育センター					
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント	<input type="radio"/>
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・教職員評価・育成制度の趣旨と実際						兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一 氏				
研修番号 2	期日	10/21(月)		会場	所属校					
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント	<input type="radio"/>
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・学校管理運営のあり方						教育人材開発課人事担当				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修番号1は午後だけの半日開催とし、新任教頭研修(全)(研修番号1)との一部合同開催とする。</li> <li>・研修番号2は午後だけの半日開催とし、新任教頭研修(全)(研修番号6)との一部合同開催とする。</li> <li>・研修番号2は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>									

研修名	事務主幹・事務長研修（全）					対象	希望する事務主幹・事務長				
A日程	5/7(火)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○	
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・協議] ・管理職のリーダーシップと人材育成						株式会社ナガオ考務店 代表 長尾 彰 氏					
B日程	6/11(火)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○	
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・演習] ・校長に求められるアセスメント能力とファシリテーション能力						湘南学園 学園長 住田 昌治 氏					
C日程	6/24(月)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行	○	業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調		人材育成・人材マネジメント		
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・協議] ・学校危機管理と校長の役割～法的責任の理論と訴訟事例を踏まえて～						長野総合法律事務所 弁護士 峯本 耕治 氏					
D日程	6/28(金)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○	
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・協議] ・管理職のリーダーシップと人材育成						キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員人事総務戦略担当 坪井 純子 氏					
E日程	7/22(月)					会場	所属校				
指標との関連	素養	○	企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント		
研 修 内 容						講 師 等					
[講義] ・いじめの未然防止と「効果のある学校づくり」						鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏					
F日程	8/30(金)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調		人材育成・人材マネジメント		
研 修 内 容						講 師 等					
[講義] ・次世代の学校を創る～授業観の転換～						国士舘大学 教授 喜名 朝博 氏					
G日程	9/30(月)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行	○	業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント		
研 修 内 容						講 師 等					
[実践発表] ・地域とともにある学校として [講義・演習] ・「地域と学校の連携・協働」のこれから ～求められる学校管理職の役割とは?～						県内学校関係者 山口県美祢市立大嶺小学校 校長 相田 康弘 氏					
H日程	10/22(火)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○	
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・演習] ・管理職としてのリーダーシップと人材育成						Google for Education 市場開発部/顧客戦略部 部長 上原 玲 氏					
I日程	10/29(火)					会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調		人材育成・人材マネジメント		
研 修 内 容						講 師 等					
[講義・演習] ・インクルーシブ教育システム構築に向けた校内体制づくり						文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 加藤 典子 氏					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非集合型の研修とし、午後からの半日開催とする。</li> <li>・A日程は2年次校長評価者研修（全）と合同開催とする。</li> <li>・B・C・G日程は管理職研修（全）、新任校長研修（全）（研修番号3・4・5）との合同開催とする。</li> <li>・全日程とも管理職研修（全）との合同開催とする。</li> </ul>										

研修名	2年次校長評価者研修（全）				対象	2年次校長			
期日	5/7(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営		教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・管理職のリーダーシップと人材育成 [講義・協議] ・教職員評価・育成制度の充実					株式会社ナガオ考務店 代表 長尾 彰 氏 教育人材開発課教員採用・人事企画担当				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については、開催要項を参照する。 ・管理職研修(全)(A日程)との一部合同開催とする。								

研修名	副校長評価者研修（全）				対象	副校長			
期日	4/23(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営		教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・第1次評価者としての副校長・教頭・共同学校事務室長に期待すること [講義・協議] ・人事評価の充実～総括評価者として～					教育人材開発課教員採用・人事企画担当				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については、開催要項を参照する。 ・2年次教頭評価者研修、共同学校事務室評価者研修との一部合同開催とする。								

研修名	2年次教頭評価者研修（全）				対象	2年次教頭			
期日	4/23(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学校経営	○	学校管理運営		教職員管理	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・第1次評価者としての副校長・教頭・共同学校事務室長に期待すること					教育人材開発課教員採用・人事企画担当				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については、開催要項を参照する。 ・副校長評価者研修、共同学校事務室評価者研修との合同開催とする。								

研修名	共同学校事務室長評価者研修（小・中・義）				対象	共同学校事務室長・希望する事務主幹			
期日	4/23(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養	企画立案・業務の遂行	業務(組織)マネジメント		対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○	
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・協議] ・第1次評価者としての副校長・教頭・共同学校事務室長に期待すること					教育人材開発課教員採用・人事企画担当				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については、開催要項を参照する。 ・副校長評価者研修との一部合同開催、2年次教頭評価者研修との合同開催とする。								

研修名	新任主幹教諭研修（全）					対象	新任主幹教諭・新任以外の希望する主幹教諭			
期日	5/28(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	
研 修 内 容						講 師 等				
[講話] ・主幹教諭としての取組 [演習] ・学校課題の解決に向けた主幹教諭の役割						県内学校長等 教育センター指導主事				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	学校リーダー研修（全）					対象	(別途通知)			
研修番号1	期日	9/13(金)			会場	倉吉未来中心他				
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	
研 修 内 容						講 師 等				
[講話] ・鳥取県の未来を拓く教育 [講話] ・学校、家庭、地域の協働による、地域とともにある学校づくり [演習] ・学校管理運営に関する諸法規とその解釈						教育センター教育企画研修課長 南部町教育委員会 教育長 福田 範史 氏 教育人材開発課人事担当 教育局学事担当				
研修番号2	期日	11/18(月)			会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・学校組織マネジメントと組織活性化に向けたリーダーシップ [演習] ・学校教育活動と学校リーダーの役割 [演習] ・人材育成と組織活性化について考える ～鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標の活用をとおして～						愛媛大学 教授 露口 健司 氏 教育センター指導主事				
備考	・対象者は別途通知する。 ・教育センターの講座登録をする必要はない。 ・研修番号2は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	ミドルリーダーステップアップ研修（小・中・義）					対象	(別途通知)			
研修番号1	期日	10/1(火)			会場	倉吉未来中心				
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	
研 修 内 容						講 師 等				
[講話] ・鳥取県の教育課題と中堅教員に望むこと [講話] ・今を未来につなげる学校経営 [講義及び演習] ・学校の管理運営について						教育人材開発課長 県内学校長 教育人材開発課人事担当 教育局学事担当				
研修番号2	期日	11/26(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・学校組織の活性化とミドルリーダーの役割 [講義・演習] ・信頼される学校づくり [講話] ・企業経営に学ぶ						岐阜大学 教授 棚野 勝文 氏 株式会社 角屋食品 代表取締役 角谷 直樹 氏				
備考	・対象者は別途通知する。 ・教育センターの講座登録をする必要はない。 ・研修番号2は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

## (2) 主任・主事等研修

研修名	新任生徒指導担当者研修（小・中・義・特）				対象	市町村（学校組合）立学校・特別支援学校の新任生徒指導担当者			
期日	6/4(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義] ・生徒指導担当者の役割と実務 [協議] ・組織的な生徒指導体制づくりをめざして						いじめ・不登校総合対策センター指導主事 県教育委員会指導主事			
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。								

研修名	新任保健体育主事研修（全）				対象	新任保健体育主事・新任以外の希望する保健体育主事			
期日	6/25(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義]（動画配信） ・鳥取県の健康教育の現状と保健体育主事の役割 [講義・演習] ・学校保健活動における組織マネジメント ・組織的な学校保健活動の推進に向けた具体的取組						体育保健課指導主事等 宇都宮大学 准教授 久保 元芳 氏			
備考	・午後からの半日開催とする。 ・研修の一部は事前に動画を視聴する。対象者は6月10日（月）～6月24日（月）の期間に講義動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。								

研修名	新任道徳教育推進教師研修（小・中・義・特）				対象	市町村（学校組合）立学校・県立特別支援学校の新任道徳教育推進教師・新任以外の希望する道徳教育推進教師			
期日	6/18(火)				会場	上灘コミュニティセンター			
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義]（動画配信） ・道徳教育推進教師の役割と実際 [講義] ・学校における道徳教育と道徳科の授業づくり [演習] ・道徳教育の要となる道徳科の授業力向上に向けて						県教育委員会指導主事 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程課 教科調査官 堀田 竜次 氏			
備考	・午後からの半日開催とする。 ・研修の一部は事前に動画を視聴する。対象者は6月3日（月）～6月17日（月）の期間に講義動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。 ・【小学校・中学校道徳②】との一部合同開催とする。								

研修名	新任特別支援教育主任研修（小・中・義・高）				対象	市町村（学校組合）立学校・高等学校の新任特別支援教育主任・新任以外の希望する特別支援教育主任			
期日	5/17(金)				会場	所属校			
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮	○	I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義] ・特別支援教育主任の役割 [講義・演習] ・特別支援教育の推進に向けた具体的な取組						特別支援教育課指導主事 県内教育関係者 県教育委員会指導主事			
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。								

### (3) 職務に応じた研修

研修名	情報化推進リーダー研修（小・中・義）				対象	市町村（学校組合）立学校の情報化担当に指名された教諭等				
期日	5/16(木)				会場	所属校				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義] ・ 自立した学習者の育成に向けたチームで取り組むICT活用 [協議] ・ 学習や校務でICT活用を充実させていくための校内体制づくり						沖縄県教育庁県立学校教育課教育DX推進室 主任指導主事 大城 智紀 氏 教育センター指導主事				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後からの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 情報化推進リーダーが同一校で昨年度も受講した場合、次期情報化推進リーダーの代理出席も可能とする。</li> <li>・ 市町村（学校組合）教育委員会の担当者の聴講も可能とする。</li> </ul>									

研修名	情報化推進リーダー研修（高）				対象	県立高等学校の情報担当に指名された教諭等・情報化推進リーダーが同一校で昨年度も受講した場合、次期情報化推進リーダーの代理出席も可能とする・複数の情報担当教諭の受講も可能とする				
期日	5/14(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義] ・ 高等学校における学校教育のデジタル化と校内体制の考え方 [協議] ・ 1人1台端末環境における学びを変革するための組織的な学校運営						奈良教育大学教職大学院 准教授 小崎 誠二 氏				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後からの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 学校CIO研修（高）との一部合同開催とする。</li> </ul>									

研修名	情報化推進リーダー研修（特）				対象	県立特別支援学校の情報担当に指名された教諭等・情報化推進リーダーが同一校で昨年度も受講した場合、次期情報化推進リーダーの代理出席も可能とする・複数の情報担当教諭の受講も可能とする				
期日	5/31(金)				会場	所属校				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義] ・ 特別支援教育におけるICT活用と校内体制の充実 [協議] ・ 効果的なICT活用を推進するため校内体制づくり						合同会社 未来教育デザイン 代表社員 平井 聡一郎 氏				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後からの半日開催とする。</li> <li>・ 対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・ 学校CIO研修（特）との一部合同開催とする。</li> </ul>									



研修名	養護教諭研修（全）				対象	養護教諭・養護助教諭			
期日	7/2(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		保健教育	○	保健管理及び 児童生徒理解・指導	○	学校運営・ 教職員連携	○	
研修内容					講師等				
<p>[講義]（動画配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県の学校保健の現状と課題</li> </ul> <p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どものメンタル面でのサポートと心のケア</li> </ul>					<p>体育保健課指導主事 社会福祉法人子どもの虐待防止センター 小児科専門医 山口 有紗 氏</p>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>午後のみの半日開催とする。</li> <li>研修の一部は動画を視聴する。対象者は6月18日(火)～7月2日(火)の期間に講義動画を視聴する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>								

研修名	特別支援学級新担任研修～基礎編～（小・中・義）				対象	市町村（学校組合）立学校の初めて特別支援学級を担当する者（希望する講師を含む）・新担任以外の希望する特別支援学級担任（講師を含む）			
期日	5/7(火)			会場	所属校				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT
研修内容					講師等				
<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級担任の役割</li> </ul> <p>[講義・協議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級の授業づくり</li> </ul> <p>[講義・協議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の意義と指導の基本</li> </ul>					<p>特別支援教育課指導主事 教育センター指導主事</p>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>午後のみの半日開催とする。</li> <li>対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>								

研修名	特別支援学級新担任研修～実践編～（小・中・義）				対象	市町村（学校組合）立学校の初めて特別支援学級を担当する者及びこれまで担当したことのない障がい種を担当する者（希望する講師を含む）・新担任以外の希望する特別支援学級担任（講師を含む）			
期日	7/5(金)			会場	中部総合事務所				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT
研修内容					講師等				
<p>[協議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の指導の充実</li> </ul> <p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい理解と中心的な課題を明確にした指導のあり方</li> </ul>					<p>特別支援教育課指導主事 県教育委員会指導主事</p>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>午後のみの半日開催とする。</li> </ul>								

研修名	栄養教諭・学校栄養職員研修（小・中・義・特）				対象	市町村（学校組合）立学校・特別支援学校の栄養教諭・学校栄養職員（臨時的任用職員を含む）			
期日	8/20(火)			会場	倉吉体育文化会館				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	食に関する指導	<input type="radio"/>	給食管理及び児童生徒理解・指導	<input type="radio"/>	学校運営・教職員連携		
研修内容						講師等			
[講義・演習] ・給食指導並びに教科等を通した食育の在り方 学校における食育の推進について 給食時間における食に関する指導 教科等における食に関する指導						大妻女子大学 教授 石井 雅幸 氏			
備考	・午後の中の半日開催とする。								

研修名	実習教諭・実習職員研修(高・特)				対象	希望する実習教諭・実習職員			
期日	選択した専門研修の実施要項を参照			会場	選択した専門研修の実施要項を参照				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	実験・実習	<input type="radio"/>	児童生徒理解・指導	<input type="radio"/>	学校運営・教職員連携		<input type="radio"/>
研修内容						講師等			
選択した専門研修の実施要項を参照									
備考	・専門研修を受講することで読み替える。								

研修名	寄宿舎教諭・寄宿舎指導員研修（特）				対象	希望する寄宿舎教諭・寄宿舎指導教員			
期日	8/1(木)			会場	所属校				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	日常生活上の世話	<input type="radio"/>	舎生の理解と生活・生徒指導	<input type="radio"/>	学校運営・教職員連携		
研修内容						講師等			
[講義・演習] ・寄宿舎生活におけるQOL向上をめざして						岡山大学 特任教授 岸 哲志 氏			
備考	・午後の中の半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・専門研修（特別支援教育・教育相談・生徒指導・学級経営等・のいずれか又はマネジメント力向上（基礎編））を受講することで読み替えることができる。								

研修名	教育相談・不登校担当教員研修（小・中・義）				対象	市町村（学校組合）立学校の教育相談・不登校担当者			
期日	7/1(月)				会場	倉吉体育文化会館			
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮	○	I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義] ・鳥取県の不登校の現状と課題 [講義・演習] ・「チーム学校」としての教育相談体制の充実をめざして						いじめ・不登校総合対策センター指導主事 県教育委員会指導主事			
備考	・午後の中の半日開催とする。								

研修名	教育相談担当教員研修（高）				対象	高等学校の教育相談担当者			
期日	7/2(火)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮	○	I C T
研 修 内 容						講 師 等			
[講義] ・県立高等学校生徒の現状～教育相談の視点から～ [講義・演習] ・教育相談担当の役割と教育相談体制づくり～効果的な支援会議のあり方を中心に～						いじめ・不登校総合対策センター課長補佐等 いじめ・不登校総合対策センター指導主事			
備考	・午後の中の半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。								

研修名	司書教諭研修（小・義・特）				対象	小学校・義務教育学校・特別支援学校の司書教諭・希望する学校司書				
期日	6/17(月)				会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T	○
研 修 内 容						講 師 等				
[説明] ・学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割 [講義・演習] ・学校図書館を活用した授業づくり～情報活用能力育成のために～						県立図書館 学校図書館支援員兼小中学校課指導主事 放送大学 客員准教授 塩谷 京子 氏				
備考	・午後の中の半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	司書教諭研修（中・義・高）				対象	中学校・義務教育学校・高等学校の司書教諭・希望する学校司書				
期日	6/4(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T	○
研 修 内 容						講 師 等				
[説明] ・学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割 [講義・演習] ・情報活用能力を育む学校図書館～多様な情報を使う授業に～						県立図書館学校図書館支援員 兼高等学校課指導主事 公益社団法人 全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 村山 正子 氏				
備考	・午後の中の半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	学校事務職員 1 年目研修 (全)				対象	令和 6 年度新規採用の事務主事・主事 下記の希望する者の受講も可能とする。 ・令和 3・4・5 年度採用の事務主事・主事 ・他部局等から異動してきた事務主事、主事、事務副主幹 ・臨時的任用職員(研修番号 2 のみ)			
研修番号 1	期日	6/4 (火)		会場	所属校				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント
研 修 内 容					講 師 等				
[講義] ・学校事務職員の使命 [講義・演習] ・サービス・法規・評価育成制度 [講義・演習] ・自己目標の達成のために					県内教育関係者 教育人材開発課人事担当 教育センター指導主事				
研修番号 2	期日	7/25 (木)		会場	倉吉体育文化会館				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・給与・諸手当認定、旅費実務					各局学事担当係長				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・研修番号 1 は所属校で We b 会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号 2 は学校事務職員フォローアップ研修(全)(研修番号 2)との合同開催とする。								

研修名	学校事務職員 フォローアップ研修 (全)				対象	令和 5 年度採用の事務主事・主事 下記の希望する者の受講も可能とする。 ・令和 2・3 年度採用の事務主事・主事 ・他部局等から異動してきた事務主事、主事、事務副主幹			
研修番号 1	期日	6/18 (火)		会場	所属校				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・自己目標の達成のために [講義・演習] ・学校組織の中で果たすべき役割					教育センター指導主事 県内教育関係者				
研修番号 2	期日	7/25 (木)		会場	倉吉体育文化会館				
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・給与・諸手当認定、旅費実務					各局学事担当係長				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・研修番号 1 は所属校で We b 会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・研修番号 1 は学校事務職員 5 年目研修(全)との一部合同開催とする。 ・研修番号 2 は学校事務職員 1 年目研修(全)(研修番号 2)との合同開催とする。								

研修名	学校事務職員 5 年目研修 (全)				対象	令和 2 年度採用(採用 5 年目)の事務主事・主事 他部局から異動してきた採用 5 年目事務主事・主事			
期日	6/18 (火)		会場	所属校					
指標との関連	素養	<input type="radio"/>	企画立案・業務の遂行	<input type="radio"/>	業務(組織)マネジメント	<input type="radio"/>	対話・調整・協調	<input type="radio"/>	人材育成・人材マネジメント
研 修 内 容					講 師 等				
[講義・演習] ・自己目標の達成のために [講義・演習] ・学校組織の中で果たすべき役割					教育センター指導主事 県内教育関係者				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校で We b 会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・学校事務職員フォローアップ研修(全)(研修番号 1)との一部合同開催とする。								

研修名	学校事務職員10年目研修(全)				対象	平成27年度採用(採用10年目)の事務主事・主事 他部局から異動してきた採用10年目の事務主事・主事				
期日	6/25(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養	○	企画立案・業務の遂行	○	業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・自己目標の達成のために [講義・演習] ・教育資源をマネジメントする学校事務職員						教育センター指導主事 岡山県鏡野町立香々美小学校 事務職員 大天 真由美 氏				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・事務副主幹・事務次長研修(全)と一部合同開催とする。									

研修名	事務副主幹・事務次長研修(全)				対象	事務副主幹・事務次長				
期日	6/25(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行	○	業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・教育資源をマネジメントする学校事務職員						岡山県鏡野町立香々美小学校 事務職員 大天 真由美 氏				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・学校事務職員10年目研修(全)と合同開催とする。									

研修名	事務主幹研修(小・中・義)				対象	市町村(学校組合)立学校の事務主幹				
期日	7/5(金)				会場	所属校				
指標との関連	素養		企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・学校事務職員のリーダーシップをどう育てるか						NPO法人SOS子どもの村JAPAN 子どもの村福岡 村長 足立 慎一 氏				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	学校事務職員研修(小・中・義)				対象	市町村(学校組合)立学校の事務職員(臨時的任用職員を含む)・希望する県立学校の事務職員				
期日	5/14(火)				会場	所属校				
指標との関連	素養	○	企画立案・業務の遂行		業務(組織)マネジメント	○	対話・調整・協調	○	人材育成・人材マネジメント	
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・地域とともにある学校づくりと事務職員の役割						福岡県春日市役所職員 文部科学省CSマイスター 西 祐樹 氏				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

研修名	講師研修（小・中・義）				対象	全校種を通じて常勤の経験が2年未満の講師（教諭経験がある場合は除く）・希望する非常勤講師				
期日	6/18(火)				会場	倉吉体育文化会館				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・学習指導の基礎・基本～ねらいを明確にした授業づくり～ [講義・演習] ・発達障がいのある児童・生徒の理解と支援のあり方						教育センター指導主事				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象となる常勤の経験には、県外での講師経験は含めない。									

研修名	講師研修（高）				対象	全校種を通じて常勤の経験が2年未満の講師（教諭経験がある場合は除く）・希望する非常勤講師				
期日	6/7(金)				会場	倉吉未来中心				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮	○	ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・効果的な生徒指導のあり方 [講義・演習] ・学習指導の基礎・基本～ねらいを明確にした授業づくり～						教育センター指導主事				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象となる常勤の経験には、県外での講師経験は含めない。									

研修名	講師研修（特）				対象	全校種を通じて常勤の経験が2年未満の講師（教諭経験がある場合は除く）・希望する非常勤講師				
期日	6/7(金)				会場	倉吉未来中心				
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮	○	ICT	○
研 修 内 容						講 師 等				
[講義・演習] ・障がい特性の理解と指導のあり方～障がいの捉え方と自立活動の指導の基本～ [講義・演習] ・個に応じた学習指導の工夫						教育センター指導主事				
備考	・午後からの半日開催とする。 ・対象となる常勤の経験には、県外での講師経験は含めない。									

### 3 専門研修

※すべて午後のみの日開催とする。

#### (1) 幼児教育

講座名	【幼児教育 園経営研修】 保育の質を高める園のあり方～一人一人の保育者が輝きつながり育ち合うチームとリーダーシップ～									
講師	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆 氏				ネットワーク	リーダーシップ 調整力 職員の連携・協働体制の構築 保護者への対応				
期日	9月27日(金)		会場	伯耆しあわせの郷						
指標との関連	素養			学校経営	○		学校管理運営	教職員管理		○
<プロフィール> 2017- 現職 2005- 白梅学園大学学長・教授 1993- お茶の水女子大学教授 1980- 聖心女子大学助教授 1977- 東京大学新聞研究所助手					<ねらい> 園の課題を的確に把握し、職員と目標やビジョンを共有しながら、高め合うチームとして課題解決に取り組むための理論と実践の具体について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○幼児教育のデザイン(東京大学出版会)2013 ○ここがポイント!3法令ガイドブック(フレーベル館)2017 ○新しい教育課程におけるアクティブな学びと教師力・学校力(図書文化)2017 ○心理学(有斐閣)2004 ○子どもの発達からみる「10の姿」の保育実践(ぎょうせい)2023					<内容> [講義・演習] ・保育者の力を引き出すリーダーシップとは [講義・演習] ・ビジョンを共有し、チーム力を最大限に発揮するために					
備考	・幼稚園長・保育所(園)長・認定こども園長・副園(所)長を対象とするが、園経営に関わる部長等の受講も可能とする。									

#### (2) 教科指導等

講座名	【小学校国語】学力向上研修(小学校国語科)									
講師	大妻女子大学 教授 樺山 敏郎 氏				ネットワーク	育成をめざす資質・能力 授業改善				
期日	8月6日(火)		会場	未定						
指標との関連	素養			学習指導	○		生徒指導	特別な配慮		ICT
<プロフィール> 2015- 現職 2006-2015 文部科学省国立教育政策研究所研究開発部教育課程研究センター 学力調査官(兼)教育課程調査官 2003-2006 鹿児島県教育委員会指導主事 2000-2003 鹿児島県公立小学校教頭 ○2019, 2022, 2023鳥取県教育センター研修講師					<ねらい> 育成をめざす資質・能力を子どもたちが身に付けるための、全国学力・学習状況調査を活用した授業づくりについて理解を深め、小学校国語科の指導力向上を図る。					
<著書・論文 他> ○個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」学級・授業・学校づくりの 実践プラン(明治図書出版)2022 ○読解×記述 重層的な読みと合目的な書きの連動(教育出版)2022 ○資質・能力を育成する小学校国語科授業づくりと学習評価 知識・技能 思考・判 断・表現 主体的に学習に取り組む態度(明治図書出版)2021 ○平成29年改訂小学校教育課程実践講座 国語(ぎょうせい)2017					<内容>					
備考	・詳細については別途小中学校課から通知する。									

講座名	<b>【中学校国語】</b> 中学校(国語科)定期考査研修会～めざす資質・能力を育む授業につながる定期考査とは～									
講師	大妻女子大学 教授 権山 敏郎 氏				キーワード	育成をめざす資質・能力 指導と評価の一体化 授業改善				
研修番号1	8月19日(月)	会場	所属校							
研修番号2	10月10日(木)	会場	中部総合事務所							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2015- 現職 2006-2015 文部科学省国立教育政策研究所研究開発部教育課程研究センター 学力調査官(兼)教育課程調査官 2003-2006 鹿児島県教育委員会指導主事 2000-2003 鹿児島県公立小学校教頭 ○2019, 2022, 2023鳥取県教育センター研修講師					<ねらい> 学習指導要領における「指導と評価の一体化」の実現に向け、評価についての理解を深め、授業及び定期考査の改善を推進する。					
<著書・論文 他> ○個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」学級・授業・学校づくりの 実践プラン(明治図書出版)2022 ○読解×記述 重層的な読みと目的な書きの連動(教育出版)2022 ○資質・能力を育成する小学校国語科授業づくりと学習評価 知識・技能 思考・判 断・表現 主体的に学習に取り組む態度(明治図書出版)2021 ○平成29年改訂小学校教育課程実践講座 国語(ぎょうせい)2017					<内容> ○研修番号1 [講義・演習] ・学習指導要領における育成すべき資質・能力について ～活用を意識した作問のあり方～ ○研修番号2 [講義・演習] ・めざす資質・能力を育成する定期考査とは ～定期考査を授業改善につなげる～					
備考	・小中学校課との共催とする。 ・本研修は2回の研修への参加を基本とする。研修番号1に参加できない場合は、研修番号1の研修動画を視聴した上で、研修番号2に参加する。 ・研修番号1は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【小学校社会】</b> 子どもと社会をつなぐ授業づくり～「問題解決のために話し合う」学習活動の充実をとおして～									
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 小倉 勝登 氏				キーワード	社会的な見方・考え方を働かせる 問題解決的な学習過程				
期日	10月7日(月)	会場	所属校							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導					
<プロフィール> 2018- 現職 2017-2018 東京学芸大学非常勤講師 兼務 1999-2018 東京学芸大学附属小金井小学校教諭 1992-1999 東京都公立小学校教諭					<ねらい> 社会的な見方・考え方を働かせた授業づくりについて理解を深め、問題解決的な学習過程を充実させた授業づくりについて考えることをとおして、実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○社会科授業づくりは「単元で考える」(明治図書)2023 ○「見方・考え方を働かせて、「主体的に学習に取り組む態度」を育てる「指導と評価の一体化」の具体がわかる[共著](明治図書)2021 ○社会科教師の授業・学級づくり「仕掛け学」(東洋館出版)2020 ○小学校社会指導スキル大全[共著](明治図書)2019 ○小学校新社会科の単元&授業モデル 平成29年版学習指導要領「見方・考え方を働かせる協同的探究学習」[共著](明治図書)2018					<内容> [講義] ・問題解決的な学習過程を充実させた授業づくり [講義・演習] ・「問題解決のために話し合う」学習活動の充実をめざして					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									



講座名	<b>【中学校社会】</b> めざす資質・能力を育む授業につながる定期考査とは～思考・判断・表現の観点から考える～									
講師	文部科学省初等中等教育局視学官 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 藤野 敦 氏				キーマン	育成をめざす資質・能力 指導と評価の一体化 授業改善				
期日	9月10日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール> 2020- 現職 2016- 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官(併任) 2014-2016 国立教育政策研究所教育課程調査官(兼務) 東京学芸大学教育学部講師 中学校・中高一貫校、高等学校に24年間勤務					<ねらい> 「指導と評価の一体化」の実現に向け、定期考査の見直しをとおして思考力・判断力・表現力等を養う授業づくりについて考える。					
<著書・論文 他> ○高等学校地理歴史科公民科必修科目ガイド[共著](学事出版)2022 ○日本の歴史を原点から探る-地域資料との出会い-[共著](地方史研究協議会編文学通信)2020 ○能動的・協働的な授業方法をどのように学修するのか-教員養成での実践-(中等社会科教育研究)2015 ○中高社会科へのアプローチ-社会科教師の専門性育成[共著](東京学芸大学出版)2010 ○東京都の誕生(歴史文化ライブラリー135(吉川弘文館)2002 等 ○教育科学 社会科教育(明治図書)2019年10月～連載中 ○NHK Eテレ「レキゲリ」制作協力					<内容> [講義・演習] ・思考力・判断力・表現力等を養う授業づくり ～定期考査のブラッシュアップをとおして～ [講師からの一言] 中学校学習指導要領社会科では、三分野全ての項目に「課題を追究したり解決したりする活動をとおして」資質・能力を育成することが求められている。ここでは、それを踏まえた学習指導と学習評価について考える。定期考査は重要な評価機会であるが、唯一の機会ではない。授業の中で抽出した場面や作業、単元末等の評価機会などと組み合わせる中で、「課題を追究したり解決したりする活動をとおし」た学習にとっての定期考査の役割とあり方について考える					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【高等学校地歴・公民】</b> 自ら学びたい、調べたいと思える授業づくり～地理総合・地理探究の授業を切り口として～									
講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 中嶋 則夫 氏				キーマン	地理的な見方・考え方を働かせる 主体的・対話的で深い学び				
期日	10月7日(月)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール> 2020- 現職 2018-2019 茨城県立八千代高等学校教頭 2015-2017 茨城県教育研修センター指導主事 2008-2014 茨城県教育庁文化課文化財保護主事 2008-2014 茨城県立竹園高等学校教諭 2002-2007 茨城県立古河第三高等学校教諭 1994-2001 茨城県立岩井西高等学校教諭					<ねらい> 地理的な見方・考え方を働かせて問いを追究し、主体的・対話的で深い学びの充実を図るとともに、指導と評価のポイントを理解し、実践的指導力を高める。					
<著書・論文 他> ○高等学校地理歴史科公民科必修科目ガイド(学事出版)2022					<内容> [講義・演習] ・自ら学ぶ意欲を高める授業とは ～地理総合・地理探究の授業づくり～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【小学校算数】学力向上研修(小学校算数科)										
講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 笠井 健一 氏					キーワード	育成をめざす資質・能力 授業改善				
期日	8月8日(木)		会場	倉吉未来中心							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T		
<プロフィール> 2008- 現職 (併)文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官(命)国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官 2007-2008 山形大学地域教育文化学部講師、山形大学大学院教育学研究科講師 2005-2007 東京都日野市立日野第七小学校主幹 2004-2005 東京都日野市立日野第七小学校教諭 1998-2004 東京学芸大学教育学部附属小金井小学校教諭						<ねらい> 全国学力・学習状況調査の分析とともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりについての理解を深め、小学校算数教科における指導力向上を図る。					
<著書・論文 他> ○みんなができる算数授業づくり(光文書院)2019 ○小学校算数 アクティブ・ラーニングを目指した授業展開(東洋館出版社)2016 ○授業における「思考力・判断力・表現力」(東洋館出版社)2012 ○教科調査官が語るこれからの授業 小学校一言語活動を生かし「思考力・判断力・表現力」を育む授業とは(図書文化社)2012						<内容>					
備考	・詳細については別途小中学校課から通知する。										

講座名	【中学校数学】 中学校(数学科) 定期考査研修会～めざす資質・能力を育む授業につながる定期考査とは～										
講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 学力調査官(併)教育課程調査官 伊吹 竜二 氏					キーワード	育成を目指す資質・能力 指導と評価の一体化 授業改善				
研修番号1	6月21日(金)		会場	所属校							
研修番号2	10月25日(金)		会場	倉吉体育文化会館							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		I C T		
<プロフィール> 2021- 現職 2019-2021 高知市教育委員会学力向上推進室主任 2017-2019 高知県教育委員会小中学校課チーフ(学力向上担当) 2013-2017 高知県教育委員会小中学校課指導主事 2009-2013 高知県教育委員会東部教育事務所指導主事 2006-2009 香美市立鏡野中学校教諭 2003-2006 香南市立赤岡中学校教諭 1996-2003 香南市立野市中学校教諭 1995-1996 室戸市立室戸岬中学校教諭						<ねらい> 学習指導要領における「指導と評価の一体化」の実現に向け、評価についての理解を深め、授業及び定期考査の改善を推進する。					
<著書・論文 他>						<内容> ○研修番号1 [講義・演習] ・学習指導要領における育成すべき資質・能力について ～活用を意識した作問のあり方～ ○研修番号2 [講義・演習] ・自作問題を用いた改善策の検討					
備考	・小中学校課との共催とする。 ・本研修は2回の研修への参加を基本とする。研修番号1に参加できない場合は、研修番号1の研修動画を視聴した上で、研修番号2に参加する。 ・研修番号1は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。										

講座名	【小学校理科】観察・実験っておもしろい～問題解決の力を養う授業～									
講師	福島大学 准教授 鳴川 哲也 氏				キーワード	観察・実験 問題解決の力 主体的に学習に取り組む態度 安全に配慮 ICT活用				
期日	9月6日(金)		会場	中部会場						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2022- 現職(人間発達文化学類) 2016-2022 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 2015-2016 福島県教育庁義務教育課指導主事 2013-2015 福島県公立小学校教頭 2011-2013 福島県教育センター指導主事 2002-2011 福島大学附属小学校教諭 1991-2002 福島県公立小学校教諭 ○2019, 2023鳥取県教育センター研修講師					<ねらい> 観察・実験の実践的指導力を身に付けるとともに観察・実験の実技をとおして問題解決の力の育成をめざす理科の授業について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○教材研究×理科 観察・実験、指導のポイントがわかる超実践ガイド 小学校・中学校(明治図書)2023 ○理科でつくるウェルビーイングー幸福で充実した人生を送るための学びー(東洋館出版社)2023 ○ふしぎエンドレス理科5年 確かめ方☆考える(NHK出版)2023 ○ふしぎエンドレス理科4年 予想☆たてる(NHK出版)2023 ○ふしぎエンドレス理科3年 ふしぎ☆見つける(NHK出版)2022 ○理科の授業で大切なこと Science Fragranceからの贈りもの(東洋館出版社)2022 ○イラスト図解ですっきりわかる理科(授業づくり編)(東洋館出版社)2022 ○見方・考え方を働かせる問題解決の理科授業(明治図書)2021 ○理科の授業を形づくるもの(東洋館出版社)2020 ○イラスト図解ですっきりわかる理科(東洋館出版社)2019					<内容> [講義・演習] ・観察・実験による実感を伴った理解を深める授業づくり ～主体的に問題を設定し科学的に解決する過程の工夫～					
備考										

講座名	【中学校理科】 めざす資質・能力を育む授業につながる定期考査とは～思考・判断・表現の観点から考える～									
講師	東京農業大学 教授 山口 晃弘 氏				キーワード	単元をとおして育成をめざす資質・能力 指導と評価の一体化 授業づくり				
期日	11月8日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2023- 現職 2021 全国中学校理科教育研究会顧問 2020 全国中学校理科教育研究会会長 2014-2020 東京都立中学校校長 2017 文部科学省学習指導要領等改善検討協力者 2015 東京都中学校理科教育研究会事務局長 2011 国立教育政策研究所評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査 研究協力者 2005 文部科学省中央教育審議会教育課程部会理科専門部会委員 1994 東京都立中学校					<ねらい> 「指導と評価の一体化」の実現に向け、定期考査の見直しをとおして思考力・判断力・表現力等を養う授業づくりについて考える。					
<著書・論文 他> ○中学校理科がもっと楽しくなる1人1台端末の活用[編著](東洋館出版社)2023 ○イラストで見える全活動・全行事の学級経営のすべて 中学校1年[編著](東洋館出版社)2023 ○中学校理科「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価完全ガイドブック[編著](明治図書出版)2022 ○中学校理科指導スキル大全[編著](明治図書出版)2022 ○板書で見える全単元・全時間の授業のすべて:理科中学校1～3年[共編著](東洋館出版社)2021 ○新3観点の学習評価完全ガイドブック中学校理科:評価事例&テスト問題例が満載![編著](明治図書出版)2021 ○中学校理科室ハンドブック:理科好きを育てる魅力ある授業を目指して[編著](大日本図書)2021 ○令和3年度版理科の世界[共著](大日本図書) ○新学習指導要領対応!中学校「理科の見方・考え方」を働かせる授業[共編著](東洋館出版社)2017					<内容> [講義・演習] ・思考力・判断力・表現力等を養う授業づくり ～定期考査のブラッシュアップをとおして～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【高等学校理科】「知りたい！」をつなげる、探究心を高める授業デザイン									
講師	崇城大学 准教授 溝上 広樹 氏				キーワード	主体的・対話的で深い学び 科学的に探究する力 探究の過程 見いだして理解する 関連づけて理解する 振り返りの視点				
期日	9月17日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2024- 現職 2022-2023 熊本県公立高等学校指導教諭 2009-2022 熊本県公立高等学校教諭 東京理科大学第2回理科の授業者大賞 最優秀賞(令和5年12月) 令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰 受賞 令和3年度熊本県教育功労(優秀教職員)表彰 受賞					<ねらい> 生徒が自ら課題を発見し、科学的に探究する力を育成する授業デザインについて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○「理科と評価」歴史総合の授業と評価のデザイン(清水書院)2023 ○「1人1台端末を利用した高校生物における看図アプローチ授業実践」全国看図アプローチ研究会研究誌 vol.12 pp.3-9 2022 ○シリーズ学びとピーニング 1.いま授業とは、学校とは何かを考える[特別寄稿](りょうゆう出版)2022 ○「生徒が疑問や質問を出し合う対話を軸にした学びで、自律的学習者を育てる」VIEW21(ベネッセ教育総合研究所10月号)2020 ○「対話を重視した学びの中で知識を整理させながら、教科の枠を超えた生きる力を養う」VIEW21(ベネッセ教育総合研究所8月号)2017					<内容> [講義・演習] ・生徒が自ら探究する高等学校理科の授業デザイン					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【中学校技術】 「情報の技術」の授業づくり～小学校プログラミング教育、高等学校情報Ⅰとの連携を意識して～									
講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 渡邊 茂一 氏				キーワード	学習指導要領 題材計画の作成 社会の発展と技術 情報の技術				
期日	7月8日(月)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 情報教育振興室教科調査官					<ねらい> 学習指導要領における内容のまとめ「D情報の技術」についての理解を深め、中学校で行われている様々な授業実践や現状と課題について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○自動機械のひみつ理科でプログラミング(角川アスキー総合研究所/汐文社)2021 ○創作のしれん国語・社会・図工・音楽・家庭科でプログラミング(角川アスキー総合研究所/汐文社)2021 ○正多角形のなぞ算数でプログラミング(角川アスキー総合研究所/汐文社)2021					<内容> [講義・演習] ・「情報の技術」の授業づくり ～小学校プログラミング教育、高等学校情報Ⅰとの 連携を意識して～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【小学校音楽】音楽に対する感性を働かせる合唱の体験！～歌い、合わせて、響き合う～									
講師	作曲家 三宅 悠太 氏				キーワード	育成をめざす資質・能力 音楽的な見方・考え方 感性 思いや意図				
期日	9月3日(火)		会場	中部会場						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2022- エリザベト音楽大学講師 2011- 東京都立総合芸術高等学校講師 2010- 聖心女子大学講師 2019-2020 武蔵野音楽大学講師 2015-2018 文教大学講師 2015-2016 聖徳大学講師 2012-2015 桐朋学園大学講師 2011-2014 東京藝術大学助手					<ねらい> 音楽に対する感性を働かせながら、思いや意図を表現することをおして、合唱の魅力を感じ、授業づくりの充実につなげる。					
<著書・論文 他> ○文部科学省検定済小学校音楽教科書「小学生の音楽」[共著](教育芸術社)2024 ○文部科学省検定済中学校音楽教科書「中学生の音楽」[共著](教育芸術社)2021 ○こどものためのピアノ曲集「黒猫クロのとおりみち」(カワイ出版)2022 ○第83回NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「次元」(NHK出版)2016 他多数					<内容> [講義・演習] ・音楽に対する感性を働かせる合唱					
備考										

講座名	【中学校・高等学校美術】 どう料理する?! 県立美術館新コレクション《プリロ・ボックス》～本物との出会いをとおして～									
講師	県立博物館／美術館整備局 学芸員・専門員				キーワード	鑑賞教育の充実 美術館や博物館との連携 造形的な見方・考え方 主体的・対話的で深い学び				
期日	8月6日(火)		会場	県立博物館						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール>					<ねらい> 鑑賞教育の充実をめざして、県立美術館のコレクション活用の可能性を探り、鑑賞授業の新たなアイデアや学校と美術館のよりよい連携のあり方を考える。					
<著書・論文 他>					<内容> [演習・協議] ・本物と出会い、問いを立てる  [講義] ・作品の向こうに見えるもの ～洗剤付き金属タワシの箱の価値とは?～					
備考	【全教科／対話による深い学び】研修(9月12日開催)との連続した参加を推奨する。 演習は、県立博物館(県立美術館)の所蔵作品を用いて行う。									

講座名	<b>【小学校・中学校・高等学校体育】</b> 効果てきめん！すべての児童生徒が楽しさや喜びを味わえる水遊び・水泳運動の効果的な指導法とは！？～安心・安全な水遊び・水泳運動の学習の実施に向けて～									
講師	(公益財団法人) 日本スポーツ協会公認水泳コーチ				キーワード	実技指導（水遊び・水泳運動） 意欲の向上、主体性 脱力、呼吸、浮く、け伸び、ストリームライン 安心・安全				
期日	6月24日(月)		会場	県営東山水泳場屋内プール						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール>					<ねらい> 水遊び・水泳運動についての基本的知識や指導方法を学ぶとともに、安心・安全を確保しながら児童生徒の主体性を引き出す指導について考え、実技をととして実践的指導力を高める。					
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・水中で脱力するための効果的な指導方法について ・水中に顔をつけることに不安のある児童生徒への効果的な指導方法について ・水中で息を吐いたり、浮いて呼吸をしたりする方法を習得するための指導方法について ・「伏し浮き」及び「け伸び」の正しい姿勢を習得するための指導方法について					
備考										

講座名	<b>【中学校・高等学校家庭】</b> 問いから始まる授業づくり～問題を見出して課題を設定する力を育む授業とは～									
講師	広島大学 教授 鈴木 明子 氏				キーワード	問題を見出し、課題を設定する力 指導と評価の一体化 中高の系統性				
期日	10月29日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2013- 現職 2004-2013 広島大学大学院教育学研究科准教授 1998- 長崎大学大学院教育学研究科助教授 1994- 倉敷市立短期大学服飾美術学科講師・助教授 1989- 広島大学大学院教育学研究科助手 小学校学習指導要領（家庭編）改善協力者（2006～2008）					<ねらい> 育成をめざす資質・能力について理解を深め、学習過程の充実を図るとともに、指導と評価のポイントを理解し、実践的指導力を高める。					
<著書・論文 他> ○小学校学習指導要領解説家庭編 平成20年8月(東洋館出版社)2008 ○平成20年改訂小学校教育課程講座家庭(ぎょうせい)2008 ○教育実践力をつける家庭科教育法(大学教育出版)2018					<内容> [講義・演習] ・問いから始まる授業づくり ～生徒の学びの質を高めるための授業の工夫～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【高等学校情報Ⅰ】情報活用能力を育む「情報Ⅰ」の学び									
講師	国立教育政策研究所 教育課程調査官 田崎 文晴 氏				キーワード	情報科「情報Ⅰ」 情報活用能力 授業づくり				
期日	6月11日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール> 2021- 現職 2020-2021 東京都立中学校副校長 2015-2020 東京都学校経営支援センター学校経営支援主事 2011-2015 公立中等教育学校主幹教諭 2005-2009 公立高等学校教諭					<ねらい> 情報科「情報Ⅰ」における、情報活用能力を育むための主体的対話的な深い学びとなる授業づくりの実現をめざす。					
<著書・論文 他> ○これからの情報科の指導について常に考え続けるということ(東京都高等学校情報教育研究会)2014 ○新版 情報A 教授資料(教育出版)2007 他多数					<内容> [講義] ・情報科「情報Ⅰ」で生徒に身に付けさせたい資質・能力 [演習・協議] ・情報社会に主体的に参画する資質・能力を育成する「情報Ⅰ」の授業づくり					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【小学校外国語活動・外国語】Let's Try! 必然性のある言語活動と効果的なデジタル教科書の活用									
講師	宇都宮大学 助教 田村 岳充 氏				キーワード	学習指導要領 必然性のある言語活動 デジタル教科書の効果的な活用				
期日	10月8日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール> 2018- 現職 2009-2017 宇都宮大学教育学部附属中学校教諭 2004-2008 宇都宮市公立中学校教諭 2001-2003 在フィリピン日本大使館附属マニラ日本人学校教諭 1994-2000 宇都宮市公立中学校教諭 ○2017, 2018 NHKラジオ「基礎英語2」講師 ○2019 NHKラジオ「基礎英語1」講師 ○2019, 2021, 2022, 2023鳥取県教育センター研修講師					<ねらい> 小学校外国語において育成をめざす資質・能力について理解を深め、必然性のある言語活動とデジタル教科書の効果的な活用を取り入れた授業づくりを学ぶことをとおして実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○実例でわかる 英語スピーキングテスト作成ガイド[分担執筆](大修館書店)2022 ○くわしい 中1英語[分担執筆](文英堂)2021 ○NHK基礎英語 書いて確認 1週間でマスター 中1の英文法[監修](NHK出版)2021 ○音声DL BOOK イラストで覚える中1の英単語500[監修](NHK出版)2020 ○1週間で仕上げる中2の英文法[監修](NHK出版)2018 ○NHK基礎英語2 16日間完全マスター!書き込み式ワークブック 夏の総まとめ編[監修](NHK出版)2017 ○小・中の授業をつなぐ!教室英語使い方ガイド&フレーズ集(明治図書)2010 ○聞く・話す・読む・書く4技能を高める!コミュニケーションワーク37(明治図書)2008					<内容> [講義・演習] ・必然性のある言語活動と効果的なデジタル教科書の活用を踏まえた授業づくり					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【中学校英語】 中学校(英語科) 定期考査研修会～めざす資質・能力を育む授業につながる定期考査とは～									
講師	島根大学 准教授 猫田 英伸 氏				キーワード		育成を目指す資質・能力 指導と評価の一体化 授業改善			
研修番号1	6月14日(金)	会場	所属校							
研修番号2	10月18日(金)	会場	中部会場							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2022- 現職 2018-2021 島根大学学術研究院教育学系准教授 2011-2017 島根大学教育学部准教授 2009-2010 島根大学教育学部講師 2008- 広島大学大学院教育学研究科助教					<ねらい> 学習指導要領における「指導と評価の一体化」の実現に向け、評価についての理解を深め、授業及び定期考査の改善を推進する。					
<著書・論文 他> ○教師教育講座 中等英語教育(協同出版)2014 ○新しい小学校英語科教育法(協同出版)2013 ○新しい学びを拓く 英語科授業の理論と実践(ミネルヴァ書房)2009					<内容> ○研修番号1 [講義・演習] ・学習指導要領における育成すべき資質・能力と評価の3観点の関連① ～サンプル問題を用いた改善策の検討～ ○研修番号2 [講義・演習] ・学習指導要領における育成すべき資質・能力と評価の3観点の関連② ～自作問題を用いた改善策の検討～					
備考	・小中学校課との共催とする。 ・本研修は2回の研修への参加を基本とする。研修番号1に参加できない場合は、研修番号1の研修動画を視聴した上で、研修番号2に参加する。 ・研修番号1は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【高等学校英語】授業が変わる！高校英語「話すこと」の指導と評価									
講師	福山市立福山中・高等学校 教諭 上山 晋平 氏				キーワード		「話すこと」の指導と評価 段階的な指導 効果的なフィードバック 足場架け(スキップオールディング)			
期日	6月21日(金)	会場	所属校							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2009- 現職 福山市立福山中学校教諭 庄原市立東城中学校教諭					<ねらい> 話すことの指導と評価についての理解を深めるとともに、効果的なフィードバックや足場架けを考えることで、段階的な指導を踏まえた授業づくりについて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○高校教師のための「探究学習」ガイドブック(明治図書)2024 ○英語トリオ・ディスカッション指導ガイドブック(明治図書)2022 ○英語リテリング&ショート・プレゼンテーション指導ガイドブック(明治図書)2022 ○至極の英語授業づくり&活動アイデア(明治図書)2022 ○改訂版 高校教師のための学級経営365日のパーフェクトガイド(明治図書)2022 ○中学・高校英語 ライティング指導(学陽書房)2020 ○中学・高校 英語スピーキング指導(学陽書房)2018					<内容> [講義・演習] ・授業が変わる!高校英語「話すこと」の指導と評価 ～効果的なフィードバックや足場架けを考える～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									



講座名	【小・中学校道徳①】「深い学び」を実現する道徳科の授業づくり～発問づくりをとおして～									
講師	畿央大学 教授 島 恒生 氏				キーワード	考え、議論する道徳 多面的・多角的 自分を見つめる 発達段階に応じた指導 発問づくり				
期日	9月2日(月)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』作成協力者 文部科学省「道徳教育に係る評価の在り方に関する専門家会議」委員 中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会道徳教育専門部会） 小学校教諭、奈良県立教育研究所を経て、畿央大学教育学部教授					<ねらい> 「考え、議論する道徳」について理解し、発問づくりをとおして、道徳科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○初等教育資料「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての道徳科の推進・充実」(東洋館出版)2023 ○道徳教育を充実させる多様な支援[共著](学文社)2021 ○小学校 中学校 納得と発見のある道徳科-「深い学び」をつくる内容項目のポイント(日本文教出版)2020					<内容> [講義・演習] ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をめざして～発問づくり～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【小学校・中学校道徳②】学校における道徳教育と道徳科の授業づくり									
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 堀田 竜次 氏				キーワード	考え、議論する道徳 道徳教育と道徳科 道徳教育の要 物事を多面的・多角的に考える道徳				
期日	6月18日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2023- 現職 2021-2023 鹿児島県始良市立始良小学校学校長 2018-2021 鹿児島県教育庁義務教育課指導主事・主任指導主事 2017-2018 独立行政法人教職員支援機構チーフ・研修プロデューサー 2015-2017 独立行政法人教員研修センター主任指導主事					<ねらい> 学校における道徳教育と道徳教育の要となる道徳科のつながりを理解し、児童生徒が「考え、議論する」道徳科の授業づくりについて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○令和5年度道徳教育推進研修 講義題「道徳教育のマネジメントについて」「特別の教科 道徳の指導と評価」「道徳科の指導・助言の在り方」 ○NITS・南九州プラットフォーム(鹿児島大学・熊本大学)コラボ研修「ミドルリーダーマネジメント能力育成プログラム」講義題「全教育活動における道徳教育」					<内容> [講義] ・学校における道徳教育と道徳科の授業づくり					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。 ・新任道徳教育推進教師研修と合同開催とする。									

講座名	【高等学校総合的な探究の時間】「探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト」									
研修番号1	期日	6月28日(金)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<ねらい>	探究的な学びに向かう生徒の姿について、講義や協議をとおして考え、探究に対する認識を問い直し、所属校での実践に生かす									
<研修内容>					<講師>					
[講義・協議] ・探究する生徒ってどんな姿!?					東京学芸大学 教授 西村 圭一 准教授 藤村 祐子					
研修番号2	期日	8月8日(木)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<ねらい>	総合的な探究の時間の実践事例から、所属校での取組を考え、探究の可能性を探る。									
<研修内容>					<講師>					
[講義・報告・協議] ・実践からの学びをどう生かす?					東京学芸大学 教授 西村 圭一 准教授 藤村 祐子					
研修番号3	期日	11月22日(金)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<ねらい>	他教科・科目において行われる探究を実現するために、総合的な探究の時間との共通点や相違点を探り、他教科・科目で行う探究の意義や価値について考える。									
<研修内容>					<講師>					
[講義・協議] ・他教科・科目で探究するとは!?					東京学芸大学 教授 西村 圭一 准教授 藤村 祐子					
研修番号4	期日	2月10日(月)				会場	所属校			
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	
<ねらい>	自校に探究を広げていくために、講義や協議、リフレクションを基に、生徒の学びの可能性を改めて考え、来年度の実践に生かす。									
<研修内容>					<講師>					
[講義・協議] ・探究的な学びをどう広げていくか!?					東京学芸大学 教授 西村 圭一 准教授 藤村 祐子 特命教授 長尾 篤志					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の県との共同開催とする。</li> <li>・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> <li>・全4回を受講することが望ましいが、希望する回のみ受講も可能とする。</li> </ul>									

講座名	<b>【小学校・中学校特別活動】 「特別活動×生徒指導・学級経営」～生徒指導・学級経営の視点から特別活動の意義を考える～</b>									
講師	國學院大學 教授 杉田 洋 氏				キーワード	生徒指導提要改訂 自発的、自主的な活動 互いを尊重し合う 自己存在感				
期日	6月11日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2015- 現職 2004-2015 教科調査官を経て視学官 2001-2004 さいたま市教育委員会 1998-2001 浦和市教育委員会 1980-1998 埼玉県公立小学校教諭					<ねらい> 特別活動の特質と生徒指導の充実との関わりを考えることをとおして、特別活動の実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○特別活動で学校が変わる!(小学館)2021 ○特別活動で日本の教育が変わる!～特活力で、自己肯定感を高める～(小学館)2020 ○特別活動・キャリア教育 楽しい学校生活 第1学年～第6学年(文溪堂)2018 ○次代を創る資質・能力の育成と特別活動(ぎょうせい)2017 ○平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 特別活動編(明治図書)2017 ○特別活動の教育技術(小学館)2013					<内容> [講義] ・特別活動をととして育成をめざす資質・能力 [講義・協議] ・特別活動の特質と生徒指導の充実					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【高等学校商業】これからの授業を考えるためのヒントが満載！～魅力ある授業を展開するために～</b>									
講師	宮崎産業経営大学 教授 笠木 秀樹 氏				キーワード	主体的・対話的で深い学び 新学習指導要領 商業の見方・考え方				
期日	10月4日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール> 2023- 現職 2020-2023 宮崎産業経営大学経営学部准教授 2017-2020 岡山県立大学地域共同研究機構コーディネーター 1981-2017 岡山県立高等学校教諭・指導教諭					<ねらい> 学習指導要領の位置づけや構造、商業科の各科目について指導方法や評価方法などを理解するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた高等学校商業の授業づくりについて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○商業科教育法：理論と実践[編著](東京法令出版)2021 ○文科省検定済高等学校商業科用教科書 商業702『ビジネス基礎』同 商業705『ビジネス・コミュニケーション』[共著](東京法令出版)2022 ○「高等学校学習指導要領解説」商業編[協力](実教出版)2021 ○「観光ビジネス」の授業に関する検討(商業教育論叢)2024 ○「見方・考え方を働かせる授業モデル」(商業教育論叢)2023 ○「いま、求められている授業づくり」(北海道商業教育63号)2021 他					<内容> [講義・演習] ・商業の見方・考え方を働かせる授業モデルの構築 ～新たな商業教育の学びをめざして～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【全教科／マネジメント】とっとり学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修会									
講師	文部科学省大臣官房人事課 人事企画官(併)副長 大江 耕太郎 氏					ネットワーク				
期日	未定		会場		未定					
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT		
＜プロフィール＞ 2023- 現職 2021-2023 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課企画官(併) 大学改革官 2018-2021 在米日本大使館一等書記官 2017-2018 文化庁文化芸術文化課文化活動振興室長心得 2016-2017 文部科学省初等中等教育局教職員課課長補佐(併) 教員育成指標専門官 2015-2016 同(併) 教員養成カリキュラム開発専門官 2013-2015 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長 2012-2013 埼玉県教育局総務部教育政策課副課長					＜ねらい＞ とっとり学力・学習状況調査の意義や効果的な活用方法について理解を深め、教育データを学校経営に生かす方法等について理解し、学校経営への活用に資する。					
＜著書・論文 他＞ ○現場で役立つ!教育データ活用術 データの収集・分析・活用まで[共著](日本評論社)2023 ○埼玉県が進める「新学力調査」は何か凄いのか ビッグデータでわかる良い教師の条件とは?[共著](東洋経済オンライン)2018 ○教育公務員特例法等の一部を改正する法律(平成28年法律第87号)(雅礼社)2017 ○平成28年改正 教育公務員特例法等の一部改正の解説～学校教育を担う教員の資質能力向上をめざして～[共著](第一法規)2017 ○改正教育公務員特例法に基づく指針、指標、教員研修計画及び協議会等について～政令及び大臣指針のポイント～(ジダイ社)2017					＜内容＞					
備考	・小中学校課との共催とする。 ・詳細については別途小中学校課から通知する。									

講座名	【全教科／対話による深い学び】アートがもたらす対話で新たな自分に出会う ～美術館のラーニング・プログラムは、教育に何をもたらすか～									
講師	森美術館 アソシエイト・ラーニング・キュレーター 白木 栄世 氏					ネットワーク		ラーニング(学び) 対話 共有 教科等横断的な学び		
期日	9月12日(木)		会場		県立博物館					
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT		
＜プロフィール＞ 2017- 現職 ※2003年より森美術館パブリックプログラム・アシスタントとして勤務 森美術館の展覧会に関連するシンポジウム、ワークショップ、アクセスプログラム、学校プログラムなど、ラーニング・プログラムの企画・運営を行う。また、「手話ツアー」「耳でみるアート」などのラーニング・プログラムの企画・運営を行うほか、日本財団DIVERSITY IN THE ARTS企画展「ミュージアム・オブ・トゥギャザー」で障がいのある方と鑑賞を楽しむアクセス・アート・プログラムを担当。THEATRE for ALLの公募事業の審査員も務める。 2006 武蔵野美術大学大学院修了					＜ねらい＞ それぞれの関心や知識、経験を共有し合い、双方向に学び合う「ラーニング」という考え方や美術館での実践を学ぶことをとおして、これからの時代に求められる「子どもたちに育むべき力」について、教科等横断的な視点に立って考える。					
＜著書・論文 他＞ ○美術館20周年記念企画展「ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会」(2023, 森美術館) ○M+(香港)との共催シンポジウム「M+インターナショナル×森美術館「美術館の『コレクション』を考える」(2019)など、国際シンポジウムのコーディネートを担当 ○テート・アジア太平洋リサーチセンター(ロンドン)との共催シンポジウム「トラウマとユートピア」(2014, 森美術館) ○「六本木クロッシング2013:アウト・オブ・ダウト展」関連プログラム「ディスカッション・プラットホーム」(2013-2014, 森美術館)の企画・運営 ○鴻池朋子のワークショップ・プロジェクト「六森未来図」(2007-2008, 森美術館)					＜内容＞ [講義・演習] ・アートがもたらす対話で新たな自分に出会う ～美術館のラーニング・プログラムは、教育に何をもたらすか～					
備考	・講義・演習は、県立博物館の新コレクション アンディ・ウォーホルの《プリロ・ボックス》も用いる。									

講座名	【全教科／教科等横断的な学習】教科等を横断した探究学習～児童生徒が自走する探究へ～									
講師	東京学芸大学 准教授 登本 洋子 氏				ネットワーク	教科横断的な学び 探究的な学習 情報活用能力				
期日	9月13日(金)		会場	教育センター						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2021- 現職 2017-2020 桐蔭学園中等教育学校/高等学校教諭(探究統括主任) 2017 東北大学大学院情報科学研究博士課程修了、博士(情報科学)取得 -2016 玉川学園高学年(中3～高3)教諭(情報科教科主任) 文部科学省 高等学校情報科オンライン学習会 司会進行、GIGAスクール構想 ×探究学習、学校DX戦略アドバイザー					<ねらい> 将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子どもたちが実社会での問題に気づき、解決を図るために、情報活用能力の育成をめざした教科等を横断した探究的な学習のあり方を考える。					
<著書・論文 他> ○改訂版 学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション(玉川大学出版部) 2023 ○探究ナビ(Benesse) ○高校生の探究的な学習を支援する探究学習態度尺度の開発と探究学習態度タイプの分類の試み(教育情報研究)2022 ○「総合的な探究(学習)の時間」におけるクラウド活用の利点と教員に求められるスキルの検討 ～「総合的な探究の時間」の実践と評価の考察から～(日本学校教育学会年報)2022 他					<内容> [講義・協議] ・実践例から学ぶ、教科等を横断した探究的な学習 [講義・演習] ・教科等を横断した探究的な学びを意識した単元設計					
備考	・定員は50名とする。									

### (3) 情報教育

※Google WorkspaceとはGoogle Workspace for Educationのことを指す。  
WorkspaceアプリとはGoogle Workspace for Educationアプリのことを指す。

講座名	【ICT活用教育①(Classroomを活用した授業づくり)】情報活用能力を育む1コマの授業づくり									
講師	Google合同会社講師 教育センター指導主事				ネットワーク	Google Classroom 授業づくり				
A日程	6月18日(火)		会場	教育センター						
B日程	9月9日(月)		会場	西部会場						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール>					<ねらい> Google Classroomを中心にWorkspaceアプリを効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力を育成する1コマの授業設計力を身につける。					
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・授業におけるGoogle Classroomを中心としたGoogle Workspaceアプリの活用 [演習] ・Google Classroomを中心とした児童生徒の情報活用を育成する1コマの授業づくり					
備考	・定員は40名とする。 ・令和5年度専門研修「ICT活用教育①(1コマ授業設計編)」と同じ内容となる。									

講座名	<b>【ICT活用教育②(単元設計)】</b> 1コマの授業から単元をとおした活用へ 学びのプロセスに情報活用能力を位置付けた単元づくり									
講師	Google合同会社講師 教育センター指導主事				キーマン	情報活用能力 Workspaceアプリ 探究的な学び 連続性 指導と評価の一体化				
期日	9月12日(木)	会場	教育センター							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール>					<ねらい> Workspaceアプリを組み合わせ、学びのプロセスに情報活用能力を位置付けた単元設計力を身につける。					
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・単元をとおしたGoogle Workspaceアプリの活用 [演習・協議] ・Google Workspaceアプリを効果的に活用し、学びのプロセスに情報活用能力を位置付けた単元づくり					
備考	・定員は40名とする。 ・令和5年度専門研修「ICT活用教育②(単元設計編)」と同じ内容となる。									

講座名	<b>【ICT活用教育③(校務活用編)】</b> 校務に生かそう！業務改善につながるGoogle Workspace活用術									
講師	Google合同会社講師 教育センター指導主事				キーマン	Workspaceアプリ 業務改善 校務効率化				
期日	10月28日(月)	会場	教育センター							
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT	○
<プロフィール>					<ねらい> Workspaceアプリを効率よく活用し、授業以外の校務効率化に向けた応用スキルの習得をめざす。					
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・校務で使えるGoogle Workspace 活用のコツと実践					
備考	・定員は40名とする。 ・令和5年度専門研修「ICT活用教育③(校務活用編)」と一部同じ内容となる。 ・Workspaceアプリの基本操作ができる者を対象とする。									

講座名	【Google Workspaceアプリ講座(基礎)】すぐに活用できる！Google Workspaceアプリ活用術										
講師	Google合同会社講師 教育センター指導主事				キーワード	Workspaceアプリ 業務改善 校務効率化					
期日	6月17日(月)	会場	中部会場								
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール>					<ねらい> Workspaceアプリの共同編集機能を中心とした実用的な使い方を理解し、日常的に活用する力を身につける。						
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・Google Workspaceアプリの共同編集機能の基礎基本						
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を40名とする。</li> <li>・令和5年度専門研修「【Google Workspaceアプリ講座(共同編集編)】」と一部同じ内容となる。</li> </ul>										

講座名	【Education Plus/FigJam活用】学習環境をアップグレードするEducation PlusとFigJamの活用										
講師	Google合同会社講師 教育センター指導主事				キーワード	Education Plus FigJam					
期日	9月10日(火)	会場	教育センター								
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール>					<ねらい> 本年度、夏以降に全県導入予定のEducation Plusの授業における効果的な活用方法とJamboardの後継の1つであるオンラインホワイトボードアプリFigJamの活用のコツを学ぶ。						
<著書・論文 他>					<内容> [講義・演習] ・学習環境をアップグレードするEducation Plusの活用 ・楽しく共同編集！！オンラインホワイトボードFigJamの活用						
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員30名とする。</li> <li>・FigJam活用の研修については、この研修の他に、年数回実施する予定である。詳細については、別途通知する。</li> </ul>										

講座名	【プログラミング教育】 「プログラミング的思考を育む」とは？プログラミング体験をとおして考える授業づくり										
講師	茨城県つくば市教育局（兼）総合教育研究所 指導主事 大坪 聡子 氏					キーワード	プログラミング的思考 プログラミング体験 プログラミングの日常的な活用				
期日	7月26日（金）		会場	教育センター							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2023- 現職 2020-2022 茨城県つくば市立手代木中学校 教諭 2014-2019 茨城県つくば市立荃崎第三小学校 教諭 2005-2013 茨城県土浦市立下高津小学校 教諭 日本e-learningアワード 文部科学大臣賞受賞 第6回日本ICT教育アワード 全国ICT教育首長協議会優秀賞受賞 文部科学省 優秀教職員 受賞 ICT夢コンテスト 文部科学大臣賞受賞 文部科学省学校DX戦略アドバイザー デジタル教科書に関する研究委員（教科書研究センター）						<ねらい> プログラミングを実際に体験しながら、児童生徒の試行錯誤を大切にしながらプログラミング的思考を育む授業づくりについて学ぶ。					
<著書・論文 他>						<内容> [講義] ・プログラミング的思考はなぜ必要か  [演習・協議] ・プログラミング体験をとおして行う「プログラミング的思考を育む」授業づくり					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を30名とする。</li> <li>・研修で実施する授業づくりの対象は、小・中・義務教育学校であるが、高等学校、特別支援学校の教職員も受講可能とする。</li> <li>・プログラミング教材は「タコラッチ」を使用して演習等を実施する。</li> </ul>										

講座名	【よりよいICTの使い手】 ICTは道具！制限じゃなく、とにかく使いながら目指す「よりよいICTの使い手」										
講師	合同会社 未来教育デザイン 代表社員 平井 総一郎 氏					キーワード	情報モラル デジタル・シティズンシップ 授業づくり 1人1台端末				
期日	9月17日（火）		会場	中部会場							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール> 2021- 合同会社未来教育デザイン代表社員 2017-2020 情報通信総合研究所特別研究員 2006- 茨城大学教育学部非常勤講師 1984-2017 古河市教育委員会参事兼指導課長 古河第五小学校校長 茨城県教育委員会指導主事 茨城県公立小中学校教諭 等						<ねらい> これからのデジタル社会を生きていく児童生徒に必要な情報活用能力を育成し、積極的にデジタル技術を活用しながらよき使い手となるための授業づくりについて考える。					
<著書・論文 他> ○GIGAにとどまる学校、学校DXに進化する学校：ネクストGIGAの新しい学びを求めて（教育開発研究所）2023 ○GIGAスクール構想で進化する学校、取り残される学校（教育開発研究所）2021 ○ポスト・コロナの学校を描く（教職研修総合特集 701号）[共著]2020						<内容> [講義] ・「よりよいICTの使い手」となるためには  [演習・協議] ・実践例から学ぶ「よりよいICTの使い手」となるための授業づくりのヒント					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を40名とする。</li> </ul>										



講座名	【生成AI】生成AIの基礎基本～教育活動に活かす生成AI～									
講師	京都橋大学 教授 池田 修 氏				キーワード	生成A I デジタル社会 プロンプト (指示文) 対話型生成A I				
期日	10月25日(金)		会場	教育センター						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	○	特別な配慮		I C T	○
<プロフィール> 2023 「初等中等教育段階における生成A Iの利用に関する暫定的なガイドライン」作成学識経験者 2012- 東京書籍中学校国語教科書「新しい国語」編集委員 2016- 同大学発達教育学部教授 2006-2016 京都橋大学文学部准教授 -2006 東京都公立中学校教諭					<ねらい> デジタル社会において、教育活動や教職員の働き方改革に寄与する可能性がある革新的なツールである生成A Iについて、プロンプト(指示文)の入力等基礎基本的な操作を体験し、今後の学校現場での活用を考える。					
<著書・論文 他> ○「作文指導を変える つまずきの本質から迫る実践法」(明治図書出版)2023 ○「子供の「困った発言」に5秒で返す 教師の「切り返し」」(明治図書出版)2022 ○NHK総合テレビ「チコちゃんに叱られる！」急がば回れ の解説出演 他					<内容> [講義] ・生成A I から見えるこれからの学校 [講義・演習] ・体験!!対話型生成A Iの世界					
備考	・定員を50名とする。									

#### (4) 特別支援教育

講座名	【特別支援教育①(自立活動)】 アセスメントに基づく自立活動の指導の実際～一人一人に応じた指導と支援の工夫～									
講師	東京学芸大学 准教授 増田 謙太郎 氏				キーワード	障がいの捉え方 アセスメントを基にした自立活動 自立活動の指導の実際				
期日	8月19日(月)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	I C T	
<プロフィール> 2018- 現職 東京都北区教育委員会指導主事 東京都内公立小学校主任教諭・主幹教諭 東京都内公立小学校教諭					<ねらい> 障がいの捉え方及び自立活動の指導目標や具体的な指導内容設定までの各過程を正しく理解し、自立活動における実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○学びのユニバーサルデザインUDLと個別最適な学び(明治図書出版)2022 ○通級による指導担当の仕事術100(明治図書)2022 ○教育実習論 教師のための教育学シリーズ12(学文社)2022 ○特別支援教育サポートBOOKS 指導計画が立てられる!特別支援学級をはじめ担任する先生のための(自立活動)授業づくり(明治図書)2021 他					<内容> [講義] ・自立活動の意義と指導の基本 [講義・演習] ・個に応じた自立活動の指導目標と具体的な指導内容の設定					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【特別支援教育②(発達障がい)】 子どもの行動の意味を考える～子どもの育ちを支える指導・支援の実際～									
講師	高岡病院 精神科 児童精神科医 三木 崇弘 氏				キーワード	発達障がい 特性の理解 特別支援教育の考え方 子どもの育ちを支える				
期日	9月5日(木)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT	
<プロフィール> 2022 現職 2022 早稲田大学ビジネススクール修了 2019 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了 2013 国立成育医療研究センターこころの診療部フェロー・医員 2008 愛媛大学医学部卒					<ねらい> 発達障がいのある児童生徒の認知特性への理解を深め、障がい特性を考慮した、個々の児童生徒に応じた適切な指導及び支援のあり方について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○リエゾンこどものこころ診療所ー凸凹のためのおとなのこころがまえ(講談社)2023 ○漫画「リエゾンこどものこころ診療所ー」[医療監修](講談社)2023					<内容> [講義] ・発達障がいのある児童生徒の認知特性の理解と指導の基本  [講義・演習] ・発達障がいのある児童生徒への指導・支援					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【特別支援教育③(学習障がい)】 ワーキングメモリを生かす算数の学習支援～子どもの「困った」に応える指導・支援の工夫～									
講師	福岡教育大学 准教授 河村 暁 氏				キーワード	困りや困難さの背景を分析 支援・指導内容 教材の有効活用 合理的配慮				
期日	8月2日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT	
<プロフィール> 2023- 現職 2022- 広島文化学園大学学芸学部教授 2021- 広島文化学園大学学芸学部准教授 2007 筑波大学大学院人間総合科学研究科一貫制博士過程修了 2003-2021 発達ルームそら(特別な支援を行う民間支援機関)運営					<ねらい> 児童生徒一人一人の困りや困難さの背景を分析し、個に応じた指導・支援について、具体的な実践例から学ぶ。					
<著書・論文 他> ○ワーキングメモリを生かす数・計算の教材:数の合成・分解から分数までの数と計算に関するつまずき解消!(Gakken)2023 ○特別支援教育の基本とコツがわかる本(ソシム)2022 ○ワーキングメモリを生かす漢字プリント(学研プラス)2022 ○教師の中のワーキングメモリ:弱さのある子に配慮した支援:理論に基づいた「学習」を目指して(明治図書出版)2021 ○ワーキングメモリを生かす指導法と読み書き教材:学習困難な子どものつまずき解消!実践編(学研教育みらい 学研プラス)2019 ○学習障害のある子どもを支援する(日本評論社)2019					<内容> [講義] ・子どもの困りや困難さの背景を考えた支援  [講義・演習] ・学びを支える授業と子どもへの支援 ～意欲的に学習を進めるための工夫～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【特別支援教育④(読み書きに関する指導・支援)】 通常の学級における読み書きの基礎的な力を育てる指導・支援</b>									
講師	明治学院大学 教授 海津 亜希子 氏				キーワード	困り感や困難さの背景 早期支援 読む力・書く力を高める指導・支援 多層指導モデルM I M				
期日	8月20日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	I C T	
<プロフィール> 2022- 現職 2005 テキサス大学オースティン校客員研究員 2001-2022 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研究員 ○2017～2021 鳥取県教育委員会特別支援教育課研修講師					<ねらい> 読み書きに関するつまづきの背景や実態を理解し、日々の学習指導の中でできる実態把握のためのアセスメントについて知り、児童生徒の読む力や書く力の向上を図る指導・支援の工夫を学ぶ。					
<著書・論文 他> ○「学びのアクセス」という観点からみえる発達障害のある児童生徒を対象とした通級指導教室の役割「教科の内容を取り扱いながらの自立活動の指導」の全国調査結果から(LD研究)2022 ○学習障害(LD)のある小学生・中学生・高校生を支援する個別の指導計画作成と評価ハンドブック(Gakken)2017 ○多層指導モデルMIM アセスメントと連動した効果的な「読み」の指導(Gakken)2016 ○多層指導モデルMIM 読みのアセスメント・指導パッケージ(学研教育みらい)2010					<内容> [実践発表・指導助言] ・通常の学級、通級指導教室における取組 [講義・演習] ・子どもの実態の早期把握、早期支援による学習につまづかせないためにできる指導・支援					
備考	・参加者は所属校でW e b 会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【特別支援学校教育】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざした指導の実践</b>									
講師	名寄市立大学 准教授 郡司 竜平 氏				キーワード	主体的・対話的で深い学び 育成をめざす資質・能力 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実				
期日	10月28日(月)		会場	所属校						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	I C T	○
<プロフィール> 2022- 名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科准教授 2008-2022 北海道札幌養護学校教諭 2004-2008 北海道公立小学校教諭 2001-2004 北海道公立小学校特別支援学級教諭					<ねらい> 知的障がい教育における各教科等の見方・考え方を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を考える視点から、育成すべき資質・能力を踏まえた授業実践力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○イラストで見る学級経営のすべて 2年生[分担執筆](東洋館出版社)2023 ○小学校・中学校「撮って活用」授業ガイドブックふだん使いの1人1台端末・カメラ機能の授業活用[分担執筆](インプレス)2023 ○オンラインとオフラインで考える特別支援教育[共編著者](明治図書出版)2021 ○ICT活用新しいはじめの一步(学事出版)2019					<内容> [講義] ・知的障がい教育における主体的・対話的で深い学びについて [講義・演習] ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざした指導の実践					
備考	・参加者は所属校でW e b 会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【特別支援教育(ICT活用)】目からウロコ！プレゼンテーションソフトを使った教材づくりと活用術									
講師	熊本大学教育学部附属特別支援学校 教諭 後藤 匡敬 氏				ネットワーク	ICT活用 支援ツールとしての活用 可能性を広げる支援 合理的配慮 個別最適な学び				
期日	未定		会場	中部会場						
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮	○	ICT	○
<プロフィール> 2022- 熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻特別支援教育実践 高度化コース 非常勤講師 2013- 熊本大学教育学部附属特別支援学校 教諭 2009 熊本県立球磨養護学校 教諭 2005 熊本県立松橋養護学校 教諭 2004 熊本大学教育学部附属中学校 非常勤講師					<ねらい> 児童生徒一人一人の実態や認知特性に応じたICT活用について 理解し、ICT端末を活用した効果的な指導・支援のあり方につ いて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○特別支援教育×ロイノート:個別最適化された学び・協働的な学びを実現するICT 活用[編著者] (さくら社) 2023 ○特別支援教育 1人1台端末活用実践ガイド各教科中心編[編著者](明治図書) 2022 ○特別支援教育 1人1台端末活用実践ガイド自立活動他編[編著者](明治図書) 2022 他					<内容> [講義] ・特別支援教育におけるICTの活用 [講義・演習] ・パワーポイントを使った教材づくりとその活用					
備考										

#### (5) 教育相談・生徒指導・学級経営等

講座名	【教育相談①】 困りを抱える子どもの理解とその支援の実際～学校でできる適切なアセスメントとは～									
講師	国立武蔵野学院 非常勤医師 前 三重県立子ども心身発達医療センター長 金井 剛 氏				ネットワーク	困りを抱える子ども 子ども理解 アセスメント 保護者支援				
期日	9月13日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導	○	特別な配慮	○	ICT	
<プロフィール> 2023- 現職 2017-2023 三重県立子ども心身発達医療センター長 2016-2017 三重県立小児心療センターあすなる学園長 2014-2016 横浜市中央児童相談所所長 2001-2013 横浜市中央児童相談所					<ねらい> 困りを抱える子どもに対しての適切な支援のあり方や保護者への 働きかけについて理解を深め、事例をとおしてよりよい支援の実際 について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○子どもの精神科入院治療—子どもを養育するすべての人へ(明石書店)2021 ○福祉現場で役立つ 子どもと親の精神科(明石書店)2009 ○「児童相談所における支援者支援」、子どもの虐待とネグレクト;第25巻第3号、 2023 ○「発達障害の治療の考え方を教えてください」精神医学、第65巻第5号(医学書院) 2023					<内容> [講義・演習] ・困りを抱える子どもの理解とその支援の実際 ～事例をとおして～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【教育相談②】困りを抱える子どもたちへの寄り添い方									
講師	鹿児島大学 名誉教授 大坪 治彦 氏				キーワード	困りを抱える子ども 子ども理解 アセスメント 関係機関との連携のあり方				
期日	11月19日(火)		会場	所属校						
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導	○	特別な配慮	○	ICT	
<プロフィール> 2018- 現職 2018-2023 鹿児島国際大学特任教授 2017-2018 鹿児島大学教育学部副学部長 2001-2017 鹿児島大学教育学部教授 1985-2001 鹿児島大学教育学部助教授 1984-1985 鹿児島大学教育学部講師 1983-1984 九州大学文学部助手					<ねらい> 困りを抱える子どもに対する適切なアセスメントの方法や関係機関とのあり方について理解を深め、事例をとおしてよりよい寄り添い方の実際について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○新版教育カウンセラー標準テキスト中級編(図書文化)2014 ○よくわかる発達心理学(ミネルヴァ書房)2009 ○新生理心理学 第3巻-新しい生理心理学の展望[共著](北大路書房)1998 ○認知科学のフロンティアⅢ[共著](サイエンス社)1993					<内容> [講義・演習] ・困りを抱える子どもたちへの寄り添い方 ～事例をとおして～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	【生徒指導】「令和」時代の新しい生徒指導！「直す」指導から「育てる」指導へ									
講師	東京理科大学 教授 八並 光俊 氏				キーワード	個別発達支援 2軸3類4層の重層的支援構造 発達支持的生徒指導 児童生徒理解 学級・ホームルーム経営				
期日	6月21日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2023- こども家庭庁いじめ調査アドバイザー 2022- 文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会及びいじめ防止対策協議会・委員 2021- 日本生徒指導学会・会長 2019 日本生徒指導学会より「学会功労賞」・「研究貢献賞(執筆部門)」 「研究貢献賞(発表部門)」のトリプル受賞 2011 東京理科大学より「理事長賞」受賞 2009 アメリカ国務省より次世代の日本のリーダーに選出 1998- 東京大学・客員研究員 1991 アメリカインディアン大学					<ねらい> 文部科学省が2022年12月に公開した生徒指導の基本書である『生徒指導提要』デジタルテキストに基づいて、①生徒指導の定義・目的・構造・特色を理解し、②発達支持的生徒指導の内容を具体的に理解すると同時に、③その推進を図るためのポイントを検討する。さらに、④学習指導と、生徒指導(教育相談)・キャリア教育(進路指導)・特別支援教育の円環的な関係性を理解する。					
<著書・論文 他> ○やさしくわかる生徒指導提要ガイドブック(明治図書)2023 ○新生徒指導ガイド(図書文化社)2008 ○応用実践期におけるチーム援助研究の動向と課題-チーム援助の社会的ニーズと生徒指導との関連から-(教育心理学年報)2006					<内容> [講義] ・生徒指導提要の改訂の理解と、発達支持的生徒指導の充実に向けた具体的取組					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【学級経営・ホームルーム経営】 誰もが力を発揮できる学級づくり～ファシリテーション技術を活かした学級経営・ホームルーム経営～</b>									
講師	上越教育大学 教授 阿部 隆幸 氏				キーワード	学級づくり ファシリテーション技術				
期日	8月30日(金)		会場	倉吉体育文化会館						
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2020- 現職 2016-2020 上越教育大学大学院学校教育研究科准教授 1989-2015 福島県公立小学校教諭					<ねらい> ファシリテーション技術を活かした学級経営について理解し、互いに認め合い尊重し合う温かな関係を基盤にしてすべての児童生徒が安心できる学級づくりについて学ぶ。					
<著書・論文 他> ○学級経営がうまくいくファシリテーション[共著](学事出版)2023 ○学級経営DX：60のエピソードで示すデジタル活用の実践[編著](学事出版)2023 ○『学び合い』が機能する学級経営：進め方・考え方・あり方で示す60の事例[編著](学事出版)2021 ○これで、ICT活用・プログラミング×(かける)『学び合い』は成功する[分担執筆](学事出版)2020 ○学級経営が主役のカリキュラム・マネジメント：キャリア意識を育むコラボレーション授業の実践[共著](学事出版)2019					<内容> [講義・演習] ・ファシリテーション技術を活かした学級経営・ホームルーム経営～互いに認め合い、誰もが力を発揮できる学級づくりに向けて～					
備考										

講座名	<b>【人間関係づくり】 心理的安全性を醸成する人間関係づくり～自分も相手も大切にしたい「自己表現」とおして～</b>									
講師	近畿大学 教授 堀田 美保 氏				キーワード	人間関係 自己尊重 心理的安全性				
期日	9月3日(火)		会場	中部総合事務所						
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2010- 現職 2000-2010 近畿大学文芸学部助教授 1993-2000 近畿大学文芸学部講師 1991-1992 カールトン大学心理学部「社会心理学演習」講義助手					<ねらい> 心理的安全性を支える人間関係づくりについて体験的に学び、自己を尊重する児童生徒の育成のために、教員自らのコミュニケーション力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○アサーティブネス その実践に役立つ心理学(ナカニシヤ出版)2019 ○社会心理学が描く人間の姿(ヴィヴィアン・パー プレーン出版)2005 ○求められる「個性的な私」現代文化スタディーズ(晃洋書房)2001					<内容> [講義・演習] ・心理的安全性を醸成する人間関係づくりについて ～自己を尊重する自己表現をとおして～					
備考										

講座名	【学校の支援体制①(保護者との関係づくり)】 保護者と良好な関係を築くスキル～コーチングの手法を活かして～									
講師	ナラティブ・コミュニケーション教育研究所 所長 佐藤 敬子 氏				ネットワーク	保護者理解 いじめ・不登校・問題行動 未然防止				
期日	6月28日(金)		会場	倉吉未来中心						
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		I C T	
<プロフィール> 2023- 現職 2020- 別府大学客員教授 2016- 別府大学文学部教授 2011- 大分県総務部職員研修所主幹 2008- 大分県生活環境部男女共同参画センター主幹 2005- 大分県教育庁大分県教育センター教育相談部長 1992- 大分県教育行政にかかわる 1982- 横浜市、大分市、挾間町、別府市の小・中学校に勤務					<ねらい> 保護者理解を進めることで保護者との良好な関係を築き、困り感を抱える児童生徒の支援に活かす。					
<著書・論文 他> 月刊「児童心理」「学校マネジメント」「教職研修」「指導と評価」他 多数 ○指導主事による校内研究活性化のための指導モデルの開発(国立教育政策研究所)2015 ○自分力UPキラメキ講座(おおいたインフォメーションハウス)2014 ○子育てコーチング だいじょうぶママ(大分毎日広告社)2014 ○教育オピニオン「今、教師が身につけたい“接遇”」(明治図書)2013 ○教員免許更新ガイドブック[共著](明治図書)2009 ○教師のコミュニケーション力を高めるコーチング[共著](明治図書)2008 ○教育関係者のためのコーチングプログラム開発に関する調査研究報告書(国立教育政策研究所)2006 ○学校におけるコーチングDVD[共著](PHP)2005					<内容> [講義・演習] ・保護者と良好な関係を築くスキル ～コーチングの手法を活かして～					
備考										

講座名	<b>【学校の支援体制②(学級づくり)】</b> クラス全員が関わり合える学級づくり～ピア・メディエーションによるいじめ問題などへの対応をとおして～									
講師	ピアメディエーション学会 理事 池島 徳大 氏				キーマン	いじめ 不登校 問題行動 未然防止 学級づくり ピア・サポート ピア・メディエーション				
期日	7月30日(火)		会場	倉吉未来中心						
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 日本ピア・サポート学会前会長(名誉会長) ピアメディエーション学会理事 奈良県公立学校スクール・カウンセラー、日本学校教育相談学会奈良県支部 理事、ピア・サポート・コーディネーター、元臨床心理士、学校心理士SV、 奈良県王寺町教育委員会教育委員  2018-2022 関西学院大学非常勤講師 2018-2020 兵庫教育大学大学院特任教授 2008-2018 奈良教育大学教育学研究科教授教職大学院長 2000-2008 奈良教育大学教育学部准教授					<ねらい> ピア・メディエーションによるいじめ問題などへの対応のスキル を高めるとともに、クラス全員が関わり合える学級づくりへの実践 的な指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○理論と実践の融合を目指すピア・メディエーションプログラムの開発ー「集団や社 会の形成者としての視点」を働かす特別活動に着目してー兵庫教育大学「理論と実践 の融合」に関する共同研究」2018 ○ピア・サポートによるトラブル・けんか解決法!ー指導用ビデオと指導案ですぐできる ピア・メディエーションとクラスづくりー(ほんの森出版)2011 ○ピア・メディエーションに関する基礎研究(奈良教育大学教育実践総合センター研究 紀要)第19号2010 ○不登校への対応(新学校経営相談12ヶ月 第5巻発達に応じた学年・学級経営) (教育開発研究所)2010 ○クラス担任によるいじめ解決への教育的支援ーいじめの心理理解と道徳・特別活動 におけるロールプレイングの活用ー(日本教育新聞社)2002 ○新中学校教育課程講座「道徳」(ぎょうせい)2000 ○教育による教師改革(感性心の教育/明治図書)1999 ○心の教育とカウンセリング・マインド(東洋館出版社)1999 ○変貌する学校教育と教師(東洋館出版社)1999 ○クラス担任によるいじめ解決への教育的支援(日本教育新聞社)1997 ○第34回読売教育賞児童生徒指導部門最優秀賞受賞 論文名:「いじめ克服への取 り組みー学年教師による心理劇活動を通してー」1985					<内容> [講義・演習] ・ピア・サポートをとおした人間関係づくりの実際について ～ピア・メディエーションによるいじめ問題などへの対応と その実際～					
備考										

## (6) 人権教育

講座名	<b>【人権教育①】自尊感情を育む集団づくり</b>									
講師	元大阪教育大学 教授 園田 雅春 氏				キーマン	自尊感情 いじめの未然防止				
期日	7月29日(月)		会場	中部会場						
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導	○	特別な配慮		ICT	
<プロフィール> 2018-2021 びわこ成蹊スポーツ大学客員教授 2014-2018 大阪成蹊大学教授 2010-2012 大阪教育大学附属平野小学校校長併任 2007-2014 大阪教育大学教授 2002-2007 甲子園短期大学教授 1971-2002 大阪府高槻市立公立小学校を歴任 ○2021鳥取県教育センター研修講師					<ねらい> 「鳥取県人権教育基本方針ー第3次改訂ー」等に基づく人権教育 のあり方や児童生徒の自尊感情を育む集団づくり(学校づくり・学 級づくり)について理解するとともに、教職員の人権意識と実践力 の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○月刊 部落解放「子ども・教育・自由ノート」(解放出版社)連載中 ○つながりを育み 授業を愉しむ(解放出版社)2021 ○道徳科の「授業革命」人権を軸に(解放出版社)2018 ○自尊感情が育つ元気教室(解放出版社)2016 ○若い教師が元気の出る7つの提言～教育者としてのキャリアのつみ方～[共著](明 治図書)2010					<内容> [説明] ・鳥取県がめざす人権教育  [講義・演習] ・自尊感情を育む集団づくり					
備考										



講座名	<b>【人権教育②】</b> 同和問題(部落差別)に関する教育をどう進めるか～これからの同和問題学習のあり方～									
講師	中央大学 教授 池田 賢市 氏				キーワード	同和教育 人権教育で育てたい資質・能力				
期日	7月5日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導	特別な配慮	ICT			
<プロフィール> 2007- 現職 2005-2006 中央大学文学部助教授 2001-2004 中央学院大学商学部(教職課程)助教授 2000-2005 獨協大学教職課程非常勤講師 2000-2004 中央学院大学商学部学部長補佐 1998-2000 中央学院大学商学部(教職課程)専任講師 R5年度 独立行政法人教職員支援機構主催人権教育推進研修講師(同和問題に関する教育の実施)					<ねらい> 同和問題(部落差別)について理解するとともに、これまでの同和問題学習の成果、課題等を明らかにし、これからの同和問題学習のあり方を考える。					
<著書・論文 他> (著書) ○学びの本質を解きほぐす(新泉社)2021 ○能力2040AI時代に人間する(太田出版)2020 ○「特別の教科道徳」ってなんだ?子どもの内面に介入しない授業・評価の実践例(現代書館)2018 ○市場化する学校(八月書館)2014 (論文) ○教育実践の基盤となる人権教育を2014 ○人権問題学習のための覚書2013					<内容> [講義・協議] ・同和問題とは ・同和問題に関する状況 ・教科書記述から ・課題解決に向けた学習のあり方 [質疑応答] ・講義内容についての質疑 ・参加者から事前に質問などを受け付け、答えていただく時間を設ける					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

講座名	<b>【人権教育③】性の多様性を尊重した学校づくり</b> ～性にかかわらず自分と他者の多様性が尊重される環境の実現にむけて～									
講師	埼玉大学ダイバーシティ推進センター 准教授 渡辺 大輔 氏				キーワード	性の多様性 LGBT/SOGIESC 人権教育で育てたい資質・能力				
期日	6月21日(金)		会場	所属校						
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導	特別な配慮	ICT			
<プロフィール> 2024- 現職 2014-2023 埼玉大学基盤教育研究センター 准教授					<ねらい> 多様な性のあり方についての理解を深めるとともに、性の多様性についての授業づくりや性の多様性を尊重する学校づくりの実現に向けた人権教育の実践的指導力の向上を図る。					
<著書・論文 他> ○マンガカラフルKids(子どもの未来社)2023 ○実践包括的性教育(エイデル研究所)2022 ○マンガワークシートで学ぶ 多様な性と生-ジェンダー、LGBTQ、家族、自分について考える-(子どもの未来社)2019 ○性の多様性ってなんだだろう?(中学生の質問箱)(平凡社)2018 ○いろいろな性、いろいろな生きかた(ポプラ社)2016					<内容> [講義・演習] ・性の多様性を尊重した学校づくり [説明] ・指導参考資料の案内等					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。									

(7) 各種教育等

講座名	【ふるさとキャリア教育】										
講師						キーワード					
期日	未定		会場	未定							
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT		
<プロフィール>						<ねらい>					
<著書・論文 他>						<内容>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校課、高等学校課、特別支援教育課との共催とする。</li> <li>・詳細については別途通知する。</li> </ul>										

講座名	【図書館教育】みんなで知ろう！考えよう！学校教育と著作権										
講師	東京学芸大学こども未来研究所教育支援フェロー 学校著作権ナビゲーター 原口直氏					キーワード	情報活用能力 学校図書館 主体的・対話的で深い学び				
期日	9月19日(木)		会場	所属校							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT	○	
<プロフィール>						<ねらい>					
<p>2020- 東京学芸大こども未来研究所教育支援フェロー 2009-2020 東京都公立中学校・東京学芸大学附属世田谷中学校教諭</p> <p>音楽文化事業に関する有識者委員会委員 (JASRAC) / 共通目的事業委員会専門委員 (SARTRAS) / 東京学芸大こども未来研究所教育支援フェロー</p> <p>著作権の研修実績 (学校司書、ICT情報担当、教務主任、学校事務、養護教諭、音楽科教員などを対象に、文化庁、自治体、学校からの依頼で実施) 著作権の出前授業の実績 (小中高の児童生徒に向けて、学年や図書委員会、文化部を対象に実施) 知財創造教育コンソーシアム (内閣府) (協力)</p>						<p>情報活用能力を育成する授業づくりの一環として、著作権に関する正しい知識を身につけるとともに、著作権の大切さを意識し理解を深める。</p>					
<著書・論文 他>						<内容>					
<p>○You Tubeで授業/学級経営やってみた!(東洋館出版社)2020 ○国立大学 附属学校の先進教育(東方通信社)2018 ○未来を創る授業ガイド(特許庁)2019 ○みんなで考えよう!著作権と海賊版(文化庁)(監修)2023 ○学校の「著作権」トラブル、例外規定の範囲は?掲示物や動画、音楽の利用に注意(東洋経済education×ICT)2023</p>						<p>[講義・演習] ・学校教育と著作権～子どもたちを伸ばし、守るために～ [講師からの一言] 図書だよりやしおり、掲示物を作成する際に、著作権を考慮していますか?フリーイラストの利用規約を読んだことありますか?学校では文章、イラスト、写真、音楽など、たくさんの著作物を使ったり、生み出したりしています。著作権法の中で学校・子どもたちに関する部分を、わかりやすく、実践を交えて、リアルタイムでやりとりしながら考えます。</p>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。</li> </ul>										

講座名	【安全・健康・食育】子どもたちの姿勢づくりと運動機能～学校でできる簡単トレーニング～										
講師	一般社団法人鳥取県理学療法士会 学術局長 山崎 祐輔 氏					キーワード	姿勢づくり 体幹 運動機能 スポーツ障がい けが防止				
期日	7月26日(金)		会場	倉吉未来中心							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT		
<プロフィール> 一般社団法人鳥取県理学療法士会学術局長 Y M C A 米子医療福祉専門学校理学療法士科長						<ねらい> 姿勢づくりのポイントや学校において実践可能なトレーニング方法を演習をとおして理解し、指導力の向上を図るとともに、成長期のスポーツ障がいと予防法を理解する。					
<著書・論文 他>						<内容> [講義・演習] ・子どもたちの姿勢づくりと運動機能について ・学校でできる簡単トレーニング					
備考											

講座名	【博物館連携講座】教員のための博物館の日2024 in 鳥取県立博物館										
講師	県立博物館学芸員・専門員					キーワード	社会教育施設（博物館）活用 教材研究 郷土の資料に学ぶ 本物に触れる				
期日	8月2日(金)		会場	県立博物館							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT		
<プロフィール>						<ねらい> 博物館の活用方法を学ぶとともに、児童生徒の興味を引き出す授業づくりのためのアイデアを広げる。					
<著書・論文 他>						<内容> [説明] ・博物館の概要、利用法紹介 [意見交換] ・学芸員とのフリートーク（自然分野、人文分野、美術分野） [展示案内] ・企画展「アートって、なに？ ～あそびながら知る、美術館のおもしろさ～」(仮称)					
備考	・「教員のための博物館の日2024 in 鳥取県立博物館」は終日実施しているため、午前中から企画展見学等の参加も可能である。										

講座名	【国際教育】ESD、SDGsの視点から多文化共生を考える										
講師	JICA独立行政法人国際協力機構 鳥取県国際協力推進員 首藤 あずさ 氏 JICA中国職員					キーワード	異文化理解 多文化共生 人権 SDGs ESD				
期日	11月26日(火)		会場	中部会場							
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導	特別な配慮			ICT		
<プロフィール> 首藤 あずさ 2022- 現職 2014-2022 JICAシエラレオネ支所現地職員						<ねらい> 持続可能な社会の創り手や地球市民の育成に向け、ESDの視点を生かした国際教育の意義や進め方を学ぶ。					
<著書・論文 他> 首藤 あずさ ○マイノリティの諸相：日常における葛藤や交渉へのまなざしから[共著](中西印刷株式会社出版部松香堂書店)2010						<内容> [講義・演習] ・異文化疑似体験ゲーム ・SDGs/ESDと国際教育とのつながり ・学校でできる国際教育のワークショップ紹介					
備考											

講座名	【消費者教育】自立した消費者の育成に向けて										
講師	文部科学省消費者教育アドバイザー					キーワード	消費者教育 成年年齢引下げ				
期日	9月2日(月)		会場	中部会場							
指標との関連	素養		学習指導	○	生徒指導	特別な配慮			ICT		
<プロフィール>						<ねらい> 若年者があいやすい消費者トラブルの事例を踏まえ、自立した消費者の育成に向けた消費者教育の意義を理解するとともに、具体的な授業実践のヒントを得る。					
<著書・論文 他>						<内容> [講義・演習] ・消費者教育の意義 ・若年者の消費者トラブルの特性 など					
備考											

講座名	<b>【環境教育】 小中学生に伝える地球温暖化問題とその対策～全国の事例から学ぶ「気候変動教育」～</b>										
講師	全国地球温暖化防止活動推進センター 理事長 高田 研 氏					キョウト	地球温暖化 気候変動 環境教育 総合的な学習の時間 社会科 理科 SDGs ESD				
研修番号1 集合型	6月20日(木)		会場	倉吉未来中心							
研修番号1 非集合型	6月27日(木)～ 12月20日(金)			動画配信							
研修番号2	8月22日(木)		会場	倉吉未来中心							
指標との関連	素養	○	学習指導	○	生徒指導		特別な配慮		ICT		
<プロフィール> 兵庫県、大阪府で小中公立学校教員の後、国立青年の家に出入し文部事務官として国内の自然教育の質的向上を図る。その後、岐阜県立森林文化アカデミー（森林環境教育）を経て都留文科大学に着任。専門は環境教育。2023年4月退官。 2019- 現職 2006-2013 文科省中央研修「環境教育」講師 1997-2004 環境教育担当教員研修会（文科省）講師 ※2007から現在まで、徳島の高等学校4校において参加型の授業改革（ワークショップ）を支援。 ※その他要職 公害地域再生センター（あおぞら財団）理事。ボランティア学習協会理事。 日本インタープリテーション協会監事。全国学校・園庭ビオトープコンクール中央審査委員。						<ねらい> 地球温暖化問題に関する基礎的な内容を理解し、地球温暖化問題についての知識が児童、生徒に定着するような授業づくりの方法を学ぶ。 気候変動教育を実施している全国の事例も参考にしながら具体的な年間計画の立て方や授業実施方法について学ぶ。					
<著書・論文 他> ○「環境教育学」社会的公正と存在の豊かさを求めて(法律文化社)2013 ○「環境教育辞典」(教育出版)2014 ○持続可能な地域と学校のための「学校文化論」(学文社)2017 ○「岩手県釜石市片岸地区 東日本大震災に関わる聞き取り調査報告書」(都留文科大学)2012～2019 ○「事典 持続可能な社会と教育」2項目執筆(教育出版)2019 ○「公害スタディーズ」 悶え、哀しみ、語りつぐ(ころから株式会社)2022						<内容> ○研修番号1 [講義] ・地球温暖化問題の概要 ・他自治体の事例紹介 ○研修番号2 [演習] ・研修番号1で学んだ全国の事例等を参考にしながら、気候変動教育の授業実施方法等に関するグループワークを行う。					
備考	・集合型研修又は非集合型動画配信研修を任意で選択する。詳細については、開催要項を参照する。 ・研修番号1の参加者は研修番号2を受講することが望ましい。 ・研修番号2の参加者は研修番号1（集合型研修又は非集合型動画配信研修）を受講すること。										

講座名	<b>【あいサポート】VRでの体験活動を通じた発達障がいへの理解</b>										
講師	『エール』鳥取県発達障がい者支援センター職員 株式会社シルバークラウド ファシリテーター ペアレントメンター鳥取 発達障がい当事者の御家族					キョウト	障がい理解 合理的配慮 インクルーシブ教育 あいサポート運動				
期日	8月5日(月)		会場	エキパル倉吉							
指標との関連	素養		学習指導		生徒指導		特別な配慮	○	ICT		
<プロフィール>						<ねらい> VRを活用した発達障がい特性の体験や、当事者家族の話等とおして、発達障がいの困りごとや必要な配慮について学ぶ。					
<著書・論文 他>						<内容> [講義] ・あいサポート運動について ・発達障がいについての基礎知識、概要 ・学校における必要な配慮、知ってほしいこと等について [体験] ・VR発達障がい (VR機器を使用して発達障がいの特性を実際に体験)					
備考	・定員を50名とする。										

(8) その他

講座名	【マネジメント力向上(基礎編)】視野を広げてみよう！同僚の持ち味を生かすマネジメント										
講師	岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 氏					キーワード	マネジメント力 分掌・教科等の組織を活性化				
期日	6月17日(月)		会場	所属校							
指標との関連	素養	○	学習指導		生徒指導		特別な配慮		ICT		
<プロフィール> 2015- 現職 2012-2015 小牧市立小牧中学校長 2010-2012 愛知県教育委員会海部教育事務所長 2008-2010 愛知県教育委員会義務教育課主査 2007-2008 愛知県教育委員会義務教育課指導主事 2004-2007 小牧市立光ヶ丘中学校長 1998-2004 小牧市立小牧中学校教頭 1996-1998 小牧市立桃陵中学校教諭 1990-1996 愛知教育大学附属名古屋中学校文部教官 1982-1990 小牧市立味岡中学校教諭 1979-1982 小牧市立米野小学校教諭						<ねらい> 「マネジメント」の理論を学び、所属する組織の目標達成に必要な考え方や手法を学ぶ。					
<著書・論文 他> ○スクールリーダーの“刺さる”言葉 教職員、子どもの心を動かす55のフレーズ(明治図書)2024 ○学校を元気にする次世代学校ICTシステム活用術-情報機器を眠らせない全校体制の進め方-(EDUCOM)2021 ○落語家直伝-うまい!授業のつくりかた[監修](誠文堂新光社)2017 ○仕事に押し潰されず、スマートに学校を動かす!スクールリーダーのための「超」時間術(明治図書)2016 ○主任から校長まで学校を元気にするチームリーダーの仕事術(明治図書)2015 ○NITS独立行政法人教職員支援機構校内研修シリーズ「これからの学校におけるミドルリーダーシップ」						<内容> [講義・協議] ・マネジメントとは? ～マネジメント力向上で広がる視野、高まる意欲～					
備考	・参加者は所属校でWeb会議システムを使って受講する。詳細については開催要項を参照する。										



分類	議題名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	係	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属はRS年度のもの)
教育課題	学校図書館を活用した授業改善講座 ～各教科等の学習活動を支える、情報活用能力の育成と活用を考える～	1235	10月3日(木)オンライン <1日>35名		○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員 (RS年度は希望者多数の場合、中学校及び高等学校の教職員を優先する)	学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学校図書館をどのように活用し、授業改善を図るのか。そのヒントを学び、実践的指導力を高めること」を促す。	放送大学客員 准教授 塩谷京子
	就学前入権教育講座 ～「気になる子どもの背景を考える～	1206	8月27日(火)松江合同庁舎 <午後>120名	○	○					・幼稚園、認可こども園の教職員 ・保護者の保護士 ・特別支援学校の幼稚部担当教職員	幼児期における入権教育・保育の実践力向上につなげる。	
	子ども支援実践講座 ～気づく、つなぐ、支える～	1253	9月13日(金)あすてらす <1日>30名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	学校と社会福祉との連携の重要性について理解するとともに、児童生徒やその保護者等の抱える困難を早期に発見し、適切な支援策につなげ、必要な支援を確実に届けることができる実践力を身に付ける。	
	国立産業所長島愛生園訪問研修 ～ハンセン病問題を考える～	1284 1284	9月17日(金)国立産業所長島愛生園 (松江市) 9月18日(土)国立産業所長島愛生園(浜田県) 9月19日(日)国立産業所長島愛生園(浜田県) 定員:各日10名以上20名							小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	ハンセン病被害者への支援を通して、ハンセン病問題について理解を深めることとハンセン病問題の課題を認識し、学校での指導、啓発に活かす。	
職業の情報化	GIGAスクール時代の教育情報セキュリティ講座 ～日々変遷を遂げる教育情報システム及び情報セキュリティの理解～	1289	10月3日(木)オンライン <午前>30名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末の導入や端末クラウド活用を背景に、高まる教育情報セキュリティの重要性について理解を深め、最新の動向に関する講義を通して教育情報セキュリティに関する実践力を高める。	柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田光昭
	GIGAスクール時代の情報モラル講座 ～1人1台端末を持つのが当たり前の時代に求められる情報モラルとは？～	1290	10月3日(木)オンライン <午後>30名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	GIGAスクールの重要性について理解を深め、最新の動向に関する講義を通して情報モラルに関する実践力を高める。	常葉大学 講師 酒井細平
	不登校の理解と支援講座 ～不登校の要因や背景を深め、子どもへのかかわりを見直したい方へ～	921	7月5日(金)オンライン <午後>70名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	島根県の喫緊の課題である不登校への理解を深め、子どもたちの社会的な自立を自覚してどのように支えるのか、支援の視点について考え、対応する力を高める。	奈良女子大学 教授 伊藤美奈子
	子ども理解と支援講座 ～顔や集団への理解を深め、子どもへのかかわりを見直したい方へ～	1288	9月12日(木)ハイブリッド型研修(島根県教育センター、オンライン) <午後>70名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	児童・生徒の発達の違いを踏まえたかかわりや相手への意図を高める。	島根大学 人間科学部 教授 岩宮直子
生徒指導・教育相談・特別支援教育	すべての教職員に役立つ！支援につながる子どもの理解講座 ～子ども理解の願いに寄り添うための教師の基本姿勢～	1289	10月29日(火)オンライン <1日>100名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	通常の学級等における特別な支援を必要とする子ども一人一人の学びの保障の視点から、子ども理解に努め、子どもに寄り添ったかかわりや支援について学び、実践に生かそうとする態度を身に付ける。	宮城学院女子大学 教授 梅田真理
	教職員のかかわり力を高める実践講座 ～子どもや保護者・同僚とのかかわりによりよくなる方へ～	1100	11月14日(木)島根県教育センター <1日>30名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	体験的な学習を通して、子どもや保護者・同僚とのよりよいかかわりや支離について理解を深めるとともに実践力を高める。	県内講師SG等複数名
	学級作り仲間作り講座 ～よりよい関係づくり実践講座～	1303	5月30日(木)浜田教育センター <1日>40名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	全国の多くの学校で実施されている「スリップル・プログラム」の実践的な取り組みについて、開発者である早山先生の講義と演習を通じ、学級作り、仲間作りについて学ぶ。	かかわりプログラム Simple代表 曾山和彦
	特別支援学校・特別支援学級における授業づくり講座 ～思考力、青年期の知的障がいのある子どもの自立活動をメンタルヘルスの視点から考える～	1222	8月21日(水)～8月22日(木) <2日間>25名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	カウセンシング的コミュニケーション、保護者とかかわる力、子どもとかかわる力、事例から学ぶ力を2日間の演習を中心に学ぶ。	島根県スクールカウンセラー 稲田 彰 島根県スクールカウンセラー 森田 清 島根県スクールカウンセラー 玉木 敬
居場所づくり・絆づくり実践講座 ～教育工学を活用した全ての児童生徒が社会とつながる方法と、教職員の豊かな居場所、絆づくりを促す～	1233	9月25日(水)オンライン <午後>40名 7月26日(金)オンライン <1日>80名	○	○	○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	知的障がいのある子どもへの思考力、青年期におけるメンタルヘルスの不調に関する基本的情報について学び、事例などを基に理解を深める。また、学校現場において実際に指導・支援を担う教職員の役割について考える。	信州大学教育学部 准教授 下山直衣	





分類	講座名 ～サブタイトル～	期日・会場・定員	幼小中高特	対象者	内容等	外部講師
12	中学校、高等学校数学科における 数学的モデリングの指導とキャリア教育	8月21日(水) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	中学校、義務教育学校後期課程、高等学校、中等教育学校(対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容を学びます) 数学科 (対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容を学びます。) 教員、広く学校教育関係者	現行学習指導要領においては、数学的活動は「算数・数学の問題解決、算数の過程」に基づいて実施していただくことが明確にされました。この過程には、日常生活や社会から始まる数学的モデリングの指導が求められています。数学的モデリングは、さまざまな学問分野に共通して活用される数学の指導のためのICTの活用もまた、教材の紹介と、具体的な本研修では、その活用を考えた上で、生徒へのキャリア教育へとつなげます。 <美濃形態 講義>	鳥根大学教育学部 教授 御園 真史
13	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践	8月27日(火) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	○	全職種 外国語 (対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容を学びます。) 教員、広く学校教育関係者	小学校「外国語活動」「外国語科」の目標、意義、評価についての基本を再確認することに加え、児童の発達段階(学習意欲)に応じた指導の在り方、小中連携についても理解を深めます。演習では、実際の教材(学習指導要領)を用いて、実際に言語活動や評価(ルーブリック)を実施し、評価方法を学びます。 <美濃形態 講義、演習>	鳥根大学教育学部 講師 櫻村 恭子
14	図画工作科の授業と教材開発	8月27日(火) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	○	幼稚園(保育園)、小学校、義務教育学校 前期課程 図画工作科(対象校種、対象教科外) 美術、図画工作科 教員、幅広く学校教育関係者	小学校図画工作科教育における基礎的な教材を体系的に理解し、子どもが表現しやすい教材開発のポイントを学びます。 ① 図画工作科の具体的な方法、技術(点描と陰影法)を学びます。 ② 立体に表す、着色を活用して活動する「ヒョウザウルスがやってきた!」の授業ビデオを視聴し、図画工作科の授業実践について学びます。 ③ 図画工作科の生活で培われるものから、簡単な版作りをする。刷ることの楽しさを学びます。 <美濃形態 実習、実験、ワークショップ>	鳥根大学教育学部 教授 川路 遼人
15	英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える (理論・実践編)	7/19(金)～8/23(金) オンライン (YouTube限定公開) 9月2日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	全職種 外国語 (対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容を学びます。) 教員、幅広く学校教育関係者	社会のグローバル化、多様化が進み、小中革を通じた英語活動の充実、教員力向上が重視されている。母語ではない英語を学ぶこと、他の教科にはない「英語」を教える上でもいろいろな工夫を加えることも必要で、子どもたちの困難さなど、どのように取り扱うべきか、どのような授業実践を工夫して進めようか、その背景や事例を紹介し、学びます。 <美濃形態 講義、ワークショップ>	鳥根大学教育学部 特任教授 大谷 みどり
16	「教育×テクノロジー」で培う「自ら学ぶ力」 ～自己調整学習を促進するために～ (現職教員研修と共同開講)	10月7日(月) 午前 ZOOM <半日(3.5時間)> 10名	○	全職種 教員、養護教諭、広く学校教育関係者	教育において自ら学ぶ力を育成するニーズが高まっている。学習指導要領において「主体的、対話的で深い学び」が、中央教育審議会答申において「個別最適な学び」などと表現されている。この学びは、おおむね「自己調整学習」に該当すると考えられる。本研修では、AIを含むデジタル技術(EdTech)を活用した自己調整学習の促進、実践の方法についてグループワークを通じて学ぶ。 <美濃形態 講義、演習 (ZOOM)>	東京国立大学大学院 教授 松田 岳士
17	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の 授業づくり(小学校向け)	12月12日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 7名	○	小学校 道徳科(小学部) 全教員 教員	本研修では、近年の道徳科の政策動向を踏まえ、これからの道徳科の在り方について、講義と演習を通じて理解を深め、具体的には、①「特別の教科 道徳」が目指す授業づくりのポイントについて検討した上で、②実際に、読み物教材を用いたグループワーク等を行います。 <美濃形態 講義、演習>	鳥根大学教育学部 准教授 堤洋 英樹
18	山陰地域の教育の現在 ～地域間「格差」を乗り越える思考法～	6月22日(木) 午後 山陰教員研修センター ハイフレックス型(対面+ YouTube Live配信) <半日(3時間)> 10名	○	全職種 教員 広く学校教育関係者	本研修では、統計データを用いて山陰の教育を眺め解いていきます。この際、山陰の教育の現状を把握するために、統計データを用いた簡単な分析を受講者自身が行うことで、統計データの解釈の仕方に慣れていきます。これらを通じて、データに基づいた思考とそれに基づいた教育実践について学びます。本研修では、①「特別の教科 道徳」が目指す授業づくりのポイントを踏まえ、②実際に、読み物教材を用いたグループワーク等を行います。 <美濃形態 講義、演習>	鳥根大学教育学部 講師 津波 成輔
19	教師の働き方改革 ～研究と現場との交流を通して考える～	7月22日(月) 山陰教員研修センター ハイフレックス型(対面+ YouTube Live配信) <1日(6時間)> 10名	○	全職種 教員 幅広く学校教育関係者	近年注目されている教師の働き方について、政策的動向と全国調査のデータから現状を学びます。その上で、学校現場に即した実践的な考え方、データの活用についてもお話しします。皆様が直面している学校の働き方について、参加者同士の意見交換や、他自治体の取り組み事例などの共有を促すことで、課題を共有し、解決策を模索していきます。 <美濃形態 講義、演習>	山陰大学教育学部 特任助教 上地 香社
20	多様性と共生に生きる学校について考える	7月25日(木) 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	○	全職種 教員 幅広く学校教育関係者	学校では、急速な変化、多様化、個性化、ジェンダー・性自認、外国にカーズの増加による文化間の相違、配慮すべき要約が理解、多様化している。本研修では、こうした多様な多様化に共通している「共生」について、主体的な学びに基づいて、具体的な実践には、「共生」に即した実践的な事例を踏まえて、討議を行う中で学校のあり方を考える。 <美濃形態 講義、演習、討論>	鳥根大学教育学部 元鳥根大学教育学部 教授 成輔 英明
21	教師の多様性を活かすための学校の改革と リーダーの役割 (現職教員研修と共同開講)	8月5日(月) 午後 ZOOM <半日(3.5時間)> 10名	○	全職種 教員 幅広く学校教育関係者	現在の社会は、VUCA (Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性) 社会とよばれる特徴が顕著な時代があります。そうした社会において、「多様な個性を活かす」ことをキーワードに、学校をどのように変革していくか、組織論の知見を踏まえて考える。 <美濃形態 講義、ワークショップ>	大分大学教育学部 准教授 熊丸 真太郎
22	学校の組織マネジメントと危機管理	8月19日(月) 午前 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	○	全職種 教員 幅広く学校教育関係者	本研修では、まず、近年の教育改革から学校における組織マネジメントと危機管理にかかわる諸問題を踏まえて、今後の学校組織とマネジメント、危機管理の在り方とその課題について理解を深めます。 <美濃形態 講義、演習>	鳥根大学教育学部 講師 小早川 健美

分類	番号	講座名 ～サブタイトル～	期日・会場・定員	幼小中高特	対象者	内容等	外部講師
教育 課 題	23	予一ム学校の可能性を拓く ～サブタイトル～	8月19日(月)午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	働き方改革の導入により教職システム、教職員の業務が今大きく変わりつつあります。こころや心も変化してきています。予一ム学校の可能性を拓くという視点で考えてみていただけます。予一ム学校の必要性は理解できているのか、現場の様々な場面をどう考えていくか。実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取県立学校アドバイザー 島根県立教育委員会委員 元鳥取県立教育委員会委員 元鳥取県立教育委員会委員 島根県立教育委員会委員 木下 公明
	24	学校教育における「多文化共生」 (現職教員研修と共同開講)	10月7日(月) 午後 ZOOM <半日(3.5時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	本研修では、学校教育における「多文化共生」について、その学術的な議論を踏まえつつ、現場に活用できる具体的な事例を紹介しながら、多文化共生を推進する上で必要な課題を抽出し、多文化共生の課題を具体的に考察することができると考えています。	兵庫教育大学大学院教育研究科 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	25	教室空間における「インクルージョン」 (現職教員研修と共同開講)	10月24日(木) 午後 ZOOM <半日(3.5時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭	本研修では、以下の3つの問いについて参加者とともに考えます。 ①「インクルージョン」とはどのような状態のことを指すのか ②特定の子どもを排除しているものは何か ③「インクルージョン」の知識を学んだら、どのように実践していくことができるのか 当日はこれらの活動を一通りして、「インクルージョン」をめぐって更新していくことを目指します。	福井大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	26	いじめの早期発見・早期対応 ～小中の事例を基に考える～	7月22日(月) 午後 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	〇〇〇〇〇	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校(対象校種以外の方には受講できません。) 全校種 全教科 教諭、養護教諭	中小学校における、いじめの発生件数が増加している。しかし、いじめをいじめと認知しない、児童生徒間の人間関係の崩壊やトラブルが増えたり、学校内からいじめや虐待が起るといわれている。いじめの問題や早期発見・早期対応の重要性を踏まえ、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	27	G-U調査を活用した 児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方	7月29日(火) 午前 山陰教員研修センター ハイブリンクス型(対面+YouTube Live配信) 実地 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	児童生徒理解や学級集団の理解に活用されているG-U調査について、理論的な背景や結果の分析の仕方等について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育実践研究科 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
生徒指導・ 教育相談・ 特別支援 教育	28	アセスメントの重要性和多機関連携の在り方	8月8日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <1日(6時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	本研修では、多様なアセスメントの課題に活用されているG-U調査について、理論的な背景や結果の分析の仕方等について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	29	予防・開発的生徒指導 聴くことから始める人間関係づくり	8月9日(金) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	不登校やいじめ、発達障害などの課題を抱えている子どもへの理解や対応について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	30	支援につなげるための不登校理解 ～早期支援に焦点をあてて～	9月5日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校(対象校種以外の方でも受講可能) 全校種 全教科 教諭、養護教諭	本研修では、不登校児童生徒の支援を行うにあたり必要な視点や実践について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	31	障がいのある子を養育されている保護者の「語り」からの学び	10月10日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	不登校やいじめ、発達障害などの課題を抱えている子どもへの理解や対応について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
	32	児童・生徒のこころの理解 ～愛着の視点から～	10月17日(木) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	不登校やいじめ、発達障害などの課題を抱えている子どもへの理解や対応について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明
33	子ども理解とかかわり ～特別支援教育の視点から～	10月21日(月) 午後 山陰教員研修センター ハイブリンクス型(対面+YouTube Live配信) 実地 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	特別支援教育の現状や課題について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明	
34	特別支援教育における医療職との連携	11月12日(火) 午後 山陰教員研修センター 対面 <半日(3時間)> 10名	〇〇〇〇〇	全校種 全教科 教諭、養護教諭、広く学校教育関係者	特別支援教育の現状や課題について、実践的な事例を講義、演習で考えていきます。	鳥取大学教育学部 講師 坂口 真真 鳥取県立教育委員会 元鳥取県立教育委員会委員 木下 公明	

## Ⅶ その他の研修

### (1) 令和6年度 県教育委員会が主催する主な教職員研修

※研修期日等の詳細については、主管より後日連絡する。

#### 【幼児教育】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
幼保小接続推進研修会 全2回	7月下旬・1月下旬～2月上旬	管理職、教諭、保育教諭、保育士	幼・小・義・特	小中学校課
鳥取県幼児教育推進研究協議会	8月29日(木)	管理職、教諭、保育教諭、保育士	幼・小・義・特	小中学校課
令和6・7年度鳥取県幼児教育充実期ミドルリーダー研修会(令和6年度3回)	未定	充実期後期(採用から概ね16年以上)の教諭、保育教諭、保育士	幼	小中学校課
東部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会(3回/年)	①6月10日(月) ②7月5日(金) ③10月15日(火)	教諭・保育教諭・保育士	幼・小・義・特(東部地区公立学校、東部地区特別支援学校、東部地区各園対象)	東部教育局
幼保小連携・接続ワークショップ	夏季休業中	教諭	小・義・特(東部地区公立学校、東部地区特別支援学校対象)	東部教育局
中部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等合同研修会(年3回)	①6月25日(火) ②9月24日(火) ③12月2日(月)	教諭・保育教諭・保育士	幼・小・義・特(中部地区公立学校、中部地区特別支援学校対象)	中部教育局
西部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会(年3回)	①6月13日(木) ②11月28日(木) ③1月16日(木)	教諭・保育教諭・保育士	幼・小・義・特(西部地区公立学校、西部地区特別支援学校、西部地区各園対象)	西部教育局

#### 【教科指導等】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
道徳教育研究協議会	①東部(小学校)9月27日(金) ②西部(中学校)10月22日(火)	管理職・教諭	小・中・義・特	小中学校課
小学校英語専科教員等指導力向上研修会	9月	小学校英語専科教員	小・義	小中学校課
英語教育推進フォーラム	11月	教諭	小・中・義・高・特	小中学校課
授業改善ワークショップ(講師:エキスパート教員)	12月26日(木)	教諭	小・中・義・特(東部地区公立学校、東部地区特別支援学校対象)	東部教育局
研究主任等研修会	未定	研究主任	小・中・義(東部地区公立学校対象)	東部教育局
中部版スクラム教育事業 研究主任等研修会	4月4日(木)	研究主任	小・中・義(中部地区公立学校対象)	中部教育局
研究主任等研修会(年2回)	①5月17日(金) ②2月7日(金)	研究主任	小・中・義(西部地区公立学校対象)	西部教育局
教務主任等研修会(学力向上)(年1回)	8月7日(水)	教務主任	小・中・義(西部地区公立学校対象)	西部教育局
西部地区公立学校講師等研修会(年1回)	7月30日(火) または、 7月31日(水)	講師・教諭	小・中・義(西部地区公立学校対象)	西部教育局

#### 【情報教育】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
中部版スクラム教育事業 教育DX推進研修会	夏季休業中	情報教育担当	小・中・義(中部地区公立学校対象)	中部教育局

#### 【特別支援教育】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
学校における医療的ケア児を中心とした多職種協働研修	4月5日(金)	教諭・養護教諭	小・中・義・特	特別支援教育課
特別支援学校指導的な立場となる看護師ネットワーク会議	4月5日(金)	看護師(看護主任及び看護士)	特	特別支援教育課

学校における医療的ケア研修会	未定	教諭・養護教諭	小・中・義・特	特別支援教育課
学校における看護師研修会（医大シミュレーションセンター）	7月～8月	看護師	小・中・義・特	特別支援教育課
重症心身障がい児及び医療的ケア児の理解促進研修（医大シミュレーションセンター 摂食）	7月～8月	教諭・養護教諭・看護師	小・中・義・特	特別支援教育課
障がいのある子どもの就学支援研修会	6月末または7月上旬	管理職、教諭、市町村教育委員会就学支援担当者	小・中・義・特	特別支援教育課
特別支援教育充実研修会（仮）	8月20日（火）	管理職、教諭、市町村教育委員会特別支援教育担当者	小・中・義・高・特	特別支援教育課
通級による指導のための研修会	8月、11月	教諭	小・中・義・高・特	特別支援教育課
鳥取県教育職員免許法認定講習（5講座）	7月～8月	教諭	幼・小・中・義・高・特	特別支援教育課
特別支援教育におけるICTを活用した学びの実践事業	6月、9月、11月、2月	教諭	特	特別支援教育課
令和6年度特別支援教育担当者研修会	5月20日（月）・2月	教諭、市町村教育委員会特別支援教育担当者	特	特別支援教育課
教務主任、研究主任等研修会（2回）	7月、1月	教務主任、研究主任	特	特別支援教育課
特別支援教育に係るワークショップ（センター的機能の活用）	4月～5月	特別支援教育主任・特別支援学級担任	小・中・義	東部教育局
特別支援教育に係るワークショップ（授業づくり）	12月～1月	特別支援教育主任・特別支援学級担任	小・中・義	東部教育局
特別支援教育に係る意見交換の場「かたりば」（5～6回/年）	6月～11月 隔月で開催予定	特別支援教育主任・特別支援学級担任	小・中・義 （東部地区公立学校対象）	東部教育局
中部地区特別支援教育研修会	6月中旬	特別支援教育担当	小・中・義 （中部地区公立学校対象）	中部教育局
教務主任等研修会（特別支援教育）（年2回）	①7月下旬～8月上旬 ②12月上旬	教務主任	小・中・義 （西部地区公立学校対象）	西部教育局

【教育相談・生徒指導・学級経営等】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
学級経営ワークショップ（講師：エキスパート教員）	未定	教諭	小・中・義・特 （東部地区公立学校、東部地区特別支援学校対象）	東部教育局
スクールカウンセラー研修会	7月29日（月）	スクールカウンセラー	小・中・義・高・特（東部地区公立学校、東部地区特別支援学校対象）	東部教育局
中部版スクラム教育事業生徒指導担当者研修会（年2回）	①4月22日（月） ②夏季休業中	生徒指導・教育相談担当者	小・中・義 （中部地区公立学校対象）	中部教育局
中部地区スクールカウンセラー研修会	①6月上旬 ②8月上旬	スクールカウンセラー	小・中・義 （中部地区公立学校対象）	中部教育局
西部地区スクールカウンセラー研修会	8月	スクールカウンセラー	小・中・義 （西部地区公立学校対象）	西部教育局

【人権教育】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
高等学校及び特別支援学校人権教育主任研究協議会	4月12日(金)	人権教育主任	高・特	人権教育課
高等学校人権教育推進教員研究協議会	8月7日(水)	人権教育主任	高・特	人権教育課
県立学校人権教育主任研究協議会	1月20日(月)	人権教育主任	高・特	人権教育課
中部地区人権教育懇談会(年4回)	①6月27日(木) ②7月30日(火) ③10月15日(火) ④10月19日(土)	教諭	幼・小・中・義・高・特 (中部地区公立学校、中部地区県立学校、中部地区各園対象)	中部地区人権教育懇談会 (中部教育局)

【各種教育等】

研修名	期日	対象とする主な職	主な対象校種	主管
鳥取県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」	未定	管理職・教諭・事務職員	小・中・義・高・特	社会教育課・小中学校課・特別支援教育課・高等学校課
鳥取県地域コーディネーター養成講座(全4回)	6月～9月	地域連携担当	小・中・義・高・特	社会教育課
社会教育主事講習	1月中旬～2月中旬	教諭	小・中・義・高・特	社会教育課
鳥取県図書館大会	7月31日(水)	管理職・教諭・学校司書	小・中・義・高・特	県立図書館
学校図書館活用教育普及講座	8月	管理職・教諭・学校司書	小・中・義・特	県立図書館
学校図書館司書研修会	10月～11月	学校司書	高・特	県立図書館
豊かな心を育む読書応援事業 児童サービス専門講座	未定	教諭・学校司書	小・中・義	県立図書館
学校司書のためのICTスキルアップ講座	①東部5月22日(水) ②中部5月23日(木) ③西部5月24日(金)	学校司書	小・中・義・高・特	県立図書館
鳥取県スポーツ指導者研修会	第1回6月2日(日) 第2回9月1日(日) 第3回11月10日(日) 第4回2月9日(日)	教諭 部活動指導員 運動部活動外部指導者	小・中・義・高・特	体育保健課
部活動指導者研修会	10月～12月	教諭 部活動指導員 運動部活動外部指導者	小・中・義・高・特	体育保健課
社会教育ワークショップ(コミュニティ・スクール)	10月	管理職・地域連携担当	幼・小・中・義・高・特 (東部地区公立学校、東部地区県立学校、東部地区各園対象)	東部教育局
社会教育ワークショップ(ふるさとキャリア教育)	6月	管理職・教諭	小・中・義・高・特(東部地区公立学校、東部地区県立学校対象)	東部教育局

(2) 独立行政法人教職員支援機構(NITS)の動画教材(校内研修シリーズ)

※独立行政法人教職員支援機構「動画教材(校内研修シリーズ)」の動画一覧(令和6年3月現在)(<https://www.nits.go.jp/>)ホームページ参照  
 「ホーム」→「動画教材」→「校内研修シリーズ(テーマ別)」  
 ※講師の所属・職名は、撮影当時のものです

カテゴリ		タイトル	講師	
マネジメント概論	組織マネジメント	学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために:校内研修シリーズ No72	大阪市立大空小学校 初代校長 木村泰子	
		学校のマネジメントモデルの転換と事務職員の役割:校内研修シリーズ No86	国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 藤原文雄	
		学校のビジョンと戦略:校内研修シリーズ No97	千葉大学 名誉教授 天笠茂	
		学校の内外環境の分析と特色づくり:校内研修シリーズ No101	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一	
		学校ビジョンの理解と共有:校内研修シリーズ No102	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一	
		教職員が育つ学校づくり ~校内OJTの考え方と進め方~:校内研修シリーズ No103	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一	
	リスク・マネジメント	リスクマネジメント ~学校の危機をいかに防ぐか~:校内研修シリーズ No44	高崎経済大学講師、高崎市教育長 飯野真幸	
		あの日学校で起きたこと ~改めて備えと災害時の対応について考える~:校内研修シリーズ No62	富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員、戸倉小学校 元校長 麻生川教	
		災害から考える リスク・マネジメント:校内研修シリーズ No64	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二	
		事件や事故に遭遇したとき、学校はどう対応すればよいのか:校内研修シリーズ No71	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二	
	地域連携	「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ:校内研修シリーズ No24	文部科学省初等中等教育局 参事官 木村直人	
		地域の教育活性化とスクールリーダー:校内研修シリーズ No49	愛媛大学大学院 教授 露口健司	
		コミュニティ・マネジメント ~地域との連携・協働を進める視点~:校内研修シリーズ No92	独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター長 清國祐二	
		地域とともにある学校づくり:校内研修シリーズ No136	国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ	
		地域と共に創る教育:校内研修シリーズ No137	島根大学大学教育センター 准教授 中村怜詞	
		地域の教育活性化とスクールリーダー -ウェルビーイング循環編-:校内研修シリーズ No138	愛媛大学大学院 教授 露口健司	
	働き方改革(タイム・マネジメント)	学校における働き方改革「先生が忙しすぎる」をあきらめない:校内研修シリーズ No50	文部科学省 学校業務改善アドバイザー、第9期中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員 妹尾昌俊	
		働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメント・スキル:校内研修シリーズ No59	東北大学大学院教育学研究科 准教授 青木栄一	
		「先生が忙しすぎる」をあきらめないⅡ 働き方を見つめなおす Why What How:校内研修シリーズ No144	一般社団法人ライフ&ワーク 代表理事 妹尾昌俊	
	財務マネジメント	学校財務マネジメント:校内研修シリーズ No52	日本大学 教授 末富芳	
	学習指導の充実	カリキュラム・マネジメント	総則とカリキュラム・マネジメント:校内研修シリーズ No10	文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室 室長 大杉住子
			アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ:校内研修シリーズ No53	独立行政法人教職員支援機構 研修協力員/研修プロデューサー 稲岡寛
			カリキュラム・マネジメント ~新学習指導要領とこれからの授業づくり~:校内研修シリーズ No54	横浜国立大学 名誉教授 高木展郎
深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント:校内研修シリーズ No65			國學院大學 教授 田村学	
カリキュラム・マネジメント:校内研修シリーズ No120			千葉大学 名誉教授 天笠茂	
総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント:校内研修シリーズ No126			甲南女子大学 教授 村川雅弘	

カテゴリ		タイトル	講師
学習指導の充実	主体的・対話的で深い学び	新しい学習指導要領において期待される学び: 校内研修シリーズ No4	國學院大學 教授 田村学
		「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて: 校内研修シリーズ No25	國學院大學 教授 田村学
		アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ: 校内研修シリーズ No53	独立行政法人教職員支援機構 研修協力員／研修プロデューサー 稲岡寛
		『主体的・対話的で深い学び』を見取り、実現する校内研修: 校内研修シリーズ No58	國學院大學 教授 田村学 独立行政法人教職員支援機構 研修プロデューサー／研修協力員 宮迫隆浩
		深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント: 校内研修シリーズ No65	國學院大學 教授 田村学
	学習指導要領	学習指導要領: 校内研修シリーズ No9	文部科学省初等中等教育局教育課程課 課長 合田哲雄
		総則とカリキュラム・マネジメント: 校内研修シリーズ No10	文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室 室長 大杉住子
		カリキュラム・マネジメント ～新学習指導要領とこれからの授業づくり～: 校内研修シリーズ No54	横浜国立大学 名誉教授 高木展郎
		学習指導要領の読み解き方: 校内研修シリーズ No63	國學院大學 教授 田村学
	スクール・コンプライアンス	スクール・コンプライアンス	教育と法Ⅰ(学習指導要領と教育課程の編成): 校内研修シリーズ No11
教育と法Ⅱ(生徒指導): 校内研修シリーズ No12			明星大学 教授 樋口修資
教育と法Ⅲ(地方教育行財政制度): 校内研修シリーズ No39			明星大学教育学部 教授 樋口修資
教育と法Ⅳ(学校の保健安全管理): 校内研修シリーズ No40			明星大学教育学部 教授 樋口修資
スクール・コンプライアンス(著作権): 校内研修シリーズ No105			東京学芸大学 教授 佐々木幸寿
法務相談体制の活用について: 校内研修シリーズ No134			おにざわ法律事務所 弁護士 鬼澤秀昌
初等中等教育の充実	外国語教育	新学習指導要領を具現化した新教材の解説: 校内研修シリーズ No34	文部科学省初等中等教育局 教育課程課・国際教育課 教科調査官 直山木綿子
	日本語指導	外国人児童生徒等に対する日本語指導: 校内研修シリーズ No36	東京学芸大学 教授 齋藤ひろみ
	キャリア教育	キャリア・パスポート: 校内研修シリーズ No109	筑波大学人間系 教授 藤田晃之
		キャリア教育の実践: 校内研修シリーズ No149	東北福祉大学 教授 長田徹
	いじめ問題	ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応: 校内研修シリーズ No45	兵庫県立大学 准教授 竹内和雄
		いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方: 校内研修シリーズ No48	公益社団法人日本社会福祉士会 アドバイザー 愛沢隆一
		いじめのとらえ方と予防: 校内研修シリーズ No56	日本大学 文理学部 教授 藤平敦
		学校におけるいじめ問題への対応のポイント: 校内研修シリーズ No90	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 専門官 伊藤淳
	生徒指導・教育相談	教育相談に関するマネジメントの推進: 校内研修シリーズ No15	神田外語大学 客員教授 嶋崎政男
		児童虐待防止に向けた学校の取組: 校内研修シリーズ No55	大正大学 教授 玉井邦夫
		コーチングのスキルと活用Ⅲ ～不登校解決のためのリソースを探す～: 校内研修シリーズ No79	別府大学 教授 佐藤敬子
		教育機会確保法と不登校支援施策: 校内研修シリーズ No89	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長 補佐 廣石孝
		自殺予防: 校内研修シリーズ No95	関西外国語大学 教授 新井肇
		不登校児童生徒の理解と保護者への支援: 校内研修シリーズ No96	開善塾教育相談研究所 所長 藤崎育子
子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしたための「生命(いのち)の安全教育」について: 校内研修シリーズ No118		文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官 森本晋也	



カテゴリ		タイトル	講師
初等中等教育の充実	生徒指導・教育相談	不登校児童生徒の対応について:校内研修シリーズ No121	鳥取県立精神保健福祉センター 所長 原田豊
		子どもを救い、チーム学校を形成するスクリーニング(理論編):校内研修シリーズ No124	大阪公立大学 教授 山野則子
		学級・学年・学校支援につながるスクリーニング(実践編):校内研修シリーズ No125	糸満市教育委員会 指導主事 當山誠
		生徒指導Ⅰ:校内研修シリーズ No129	関西外国語大学 教授 新井肇
		生徒指導Ⅱ:校内研修シリーズ No130	関西外国語大学 教授 新井肇
		学校現場における児童虐待対応:校内研修シリーズ No131	文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室 生徒指導調査官(併)児童虐待防止・対策専門官 井川恭輔
		希死念慮のある児童生徒への適切な対応について①:校内研修シリーズ No139	いのち支える自殺対策推進センター 子ども・若者自殺対策室 松田芳明
		希死念慮のある児童生徒への適切な対応について②:校内研修シリーズ No140	いのち支える自殺対策推進センター 子ども・若者自殺対策室 松田芳明
		不登校児童生徒の支援と教育相談:校内研修シリーズ No141	こども教育宝仙大学 教授 石川悦子
	道徳教育	道徳教育:校内研修シリーズ No5	香川大学教育学部附属 教職支援開発センターセンター長 七條正典
		道徳科の授業の充実を図るために:校内研修シリーズ No23	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見哲也
		発達の段階に応じた道徳科の指導:校内研修シリーズ No67	畿央大学 教授 島恒生
		道徳教育とカリキュラム・マネジメント:校内研修シリーズ No68	帝京大学大学院教職研究科 教授 赤堀博行
		高等学校における道徳教育の充実に向けて:校内研修シリーズ No81	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚秀彦
		特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学級における指導の在り方:理論編～:校内研修シリーズ No98	聖徳大学 名誉教授 吉本恒幸
		特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学級における指導の在り方:実践編～:校内研修シリーズ No99	聖徳大学 名誉教授 吉本恒幸
		特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～通常の学級における指導の在り方:理論と実践～:校内研修シリーズ No135	聖徳大学 名誉教授 吉本恒幸
		道徳科に求められる評価:校内研修シリーズ No147	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田竜次
	人権教育	学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち:校内研修シリーズ No87	宝塚大学看護学部 教授 厚生労働省エイズ動向委員会 委員 日本思春期学会 理事 日高庸晴
		ハンセン病問題学習:校内研修シリーズ No100	盈進中学高等学校 校長 延和聰
		人権教育:校内研修シリーズ No113	学習院大学文学部教育学科 教授 梅野正信
		学校における男女共同参画の推進:校内研修シリーズ No117	独立行政法人国立女性教育会館 研究員 飯島絵理
	健康教育	保健教育の基礎:校内研修シリーズ No27	横浜国立大学 教授 物部博文
		重大事故発生時の対応～救命処置の観点から～:校内研修シリーズ No73	公益社団法人日本AED財団 理事、元さいたま市教育委員会教育長、埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター 研究員 桐淵博
		学校における環境衛生(感染症対策):校内研修シリーズ No84	文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 小出彰宏
		学校における感染症対策の在り方:校内研修シリーズ No85	文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎美枝
		養護教諭の職務:校内研修シリーズ No146	文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎美枝

カテゴリ		タイトル	講師
初等中等教育の充実	食育	学校全体で取り組む食育の進め方:校内研修シリーズ No128	福岡教育大学教職大学院 教授 脇田哲郎
	学校安全	あの日学校で起きたこと～改めて備えと災害時の対応について考える～:校内研修シリーズ No62	富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談員、戸倉小学校 元校長 麻生川敦
		災害から考える リスク・マネジメント:校内研修シリーズ No64	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二
		事件や事故に遭遇したとき、学校はどう対応すればよいのか:校内研修シリーズ No71	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二
		生活安全:校内研修シリーズ No114	大阪教育大学 教授、学長補佐(校安全担当)、学校安全推進センター長 藤田大輔
		学校安全(総論):校内研修シリーズ No116	東京学芸大学教職大学院 教授 渡邊正樹
		子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための「生命(いのち)の安全教育」について:校内研修シリーズ No118	文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官 森本晋也
		災害安全:校内研修シリーズ No143	岩手県立図書館 館長 森本晋也
		幼児教育	幼児教育:校内研修シリーズ No28
	幼児教育の質の向上の重要性:校内研修シリーズ No93		京都教育大学 教授 古賀松香
	幼保小の接続について:校内研修シリーズ No110		文部科学省初等中等教育局 幼児教育課長 大杉住子
	特別支援教育 (インクルーシブ教育)	特別支援教育の実際:校内研修シリーズ No17 ～通常学級における「特別な配慮」～	FR教育臨床研究所 所長 花輪敏男
		自閉症スペクトラム当事者からみた特別支援教育:校内研修シリーズ No70	NPO法人東京都自閉症協会 綿貫愛子
		多様な学びの支援～新学習指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するために～:校内研修シリーズ No77	十文字学園女子大学 准教授 齋藤忍
		病弱教育におけるICT活用:校内研修シリーズ No78	京都女子大学 教授、 京都教育大学大学院 教授 滝川国芳
		学校における医療的ケアについて:校内研修シリーズ No115	文部科学省 初等中等教育局 視学官 (併)特別支援教育課特別支援教育調査官 菅野和彦
		特別支援教育総論:校内研修シリーズ No119	新潟大学 教授 長澤正樹
		特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅰ:校内研修シリーズ No122	関西大学 名誉教授 松村暢隆
		特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅱ:校内研修シリーズ No123	関西大学 名誉教授 松村暢隆
	小規模校教育	これからのへき地・複式・小規模校教育(上):校内研修シリーズ No111	北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター センター長 玉井康之
これからのへき地・複式・小規模校教育(下):校内研修シリーズ No112		北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター センター長 玉井康之	
教科書の活用	よりよい授業づくりのための“新しい”教科書の使い方—小学校編—:校内研修シリーズ No127	東京学芸大学大学院 教授 西村圭一	
教育課題マネジメント	言語活動	言語活動:校内研修シリーズ No145	文化庁参事官(芸術文化担当)付、文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 河合紳和
	消費者教育	消費者教育:校内研修シリーズ No133	鳴門教育大学 教授 坂本有芳
	体力向上	体力向上マネジメント:校内研修シリーズ No142	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部 教授 柳沢和雄

カテゴリ		タイトル	講師	
教育課題マネジメント	情報化(ICT)教育	学校教育の情報化:校内研修シリーズ No37	東京学芸大学 准教授 高橋純	
		学校におけるICTを活用した学習場面:校内研修シリーズ No76	放送大学 教授 中川一史	
		病弱教育におけるICT活用:校内研修シリーズ No78	京都女子大学 教授、 京都教育大学大学院 教授 滝川国芳	
		情報社会に主体的に参画する態度を育む指導:校内研修シリーズ No82	静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾	
		児童生徒の協働的な学びにおけるICT活用:校内研修シリーズ No83	放送大学 教授 中川一史	
		分かりやすい授業づくりのための教科指導におけるICT活用:校内研修シリーズ No88	東京学芸大学 准教授 高橋純	
		1人1台端末の活用による情報活用能力の育成:校内研修シリーズ No104	信州大学教育学部 助教 佐藤和紀	
	ESD(持続可能な開発のための教育)	ESD(持続可能な開発のための教育):校内研修シリーズ No106	宮城教育大学教育学部 教授 市瀬智紀	
	主権者教育	主権者教育の推進①～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～:校内研修シリーズ No107	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山恭子	
		主権者教育の推進②～指導上の政治的中立の確保等の留意点～:校内研修シリーズ No108	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山恭子	
ヒューマンリソース・マネジメント	コーチング	人材育成とコーチング:校内研修シリーズ No16	神田外語大学 客員教授 嶋崎政男	
		コーチングのスキルと活用Ⅰ:校内研修シリーズ No66	別府大学 教授 佐藤敬子	
		コーチングのスキルと活用Ⅱ:校内研修シリーズ No69	別府大学 教授 佐藤敬子	
		コーチングのスキルと活用Ⅲ～不登校解決のためのリソースを探す～:校内研修シリーズ No79	別府大学 教授 佐藤敬子	
		コーチングのスキルと活用Ⅳ～円滑な保護者対応に生かす～:校内研修シリーズ No80	別府大学 教授 佐藤敬子	
		教育現場におけるコーチングコミュニケーション:校内研修シリーズ No148	シナジープラス株式会社 代表取締役社長 三宅裕之	
	リーダーシップ	これからの学校におけるミドルリーダーシップ:校内研修シリーズ No74	岐阜聖徳学園大学 教授 玉置崇	
		リーダーシップとマネジメント:校内研修シリーズ No75	THS経営組織研究所 代表社員 慶応義塾大学大学院理工学研究科 訪問教授 小杉俊哉	
	メンタルヘルス	教職員のメンタルヘルス・マネジメント—管理職に求められる個別対応—:校内研修シリーズ No31	早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 河村茂雄	
		学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり:校内研修シリーズ No132	東京大学 名誉教授 小川正人 労働安全衛生研究所 部長 山本健也	
	研修企画	研修の企画・運営・評価:校内研修シリーズ No33	独立行政法人教職員支援機構 チーフ・研修プロデューサー 堀田電次	
	NITS調査研究プロジェクト	NITS調査研究プロジェクト	育成指標の機能と活用:校内研修シリーズ No57	独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター長 大杉昭英 愛媛大学 教授 露口健司
			『主体的・対話的で深い学び』を見取り、実現する校内研修:校内研修シリーズ No58	國學院大學 教授 田村学 独立行政法人教職員支援機構 研修プロデューサー／研修協力員 宮迫隆浩
働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメント・スキル:校内研修シリーズ No59			東北大学大学院教育学研究科 准教授 青木栄一	
教員採用統一試験実施の可能性と課題:校内研修シリーズ No60			国士館大学 教授 北神正行	
教師の資質と役割とをめぐるディスコースの国際動向:校内研修シリーズ No61			独立行政法人教職員支援機構 首席フェロー 百合田真樹人	

### (3) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(NISE)の動画教材

参考資料 NISE学びラボ コンテンツ一覧(令和6年4月1日予定)  
 ※独立行政法人 国立特別支援教育研究所(<http://www.nise.go.jp/nc/>)  
 「ホーム」→「研修・セミナー」→「NISE学びラボ」

No.	分類	コース	コンテンツ名	
1	特別支援教育全般	インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築	
2			インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(1)障害児教育の歴史	
3			インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(2)特別支援教育の理念と基本的な考え方	
4			インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(3)学習指導要領と教育課程	
5			特別支援教育におけるICFの活用	
6			特別支援教育における教材・教具の活用	
7			特別支援教育におけるICTの活用	
8			特別支援教育におけるカウンセリング技法	
9			インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習	
10			個別の教育支援計画と個別の指導計画①学習指導要領上の位置付けと役割	
11			個別の教育支援計画と個別の指導計画②作成と活用	
12			自立活動の指導—指導計画の作成—	
13			インクルーシブ教育システムの構築	
14			インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修	
15			特別支援学校の地域におけるセンター的機能①—センター的機能の考え方と内容—	
16			特別支援学校の地域におけるセンター的機能②—センター的機能が有効に発揮されるために—	
17			障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援	
18			合理的配慮と基礎的環境整備	
19			特別支援教育の視点を生かした学校経営	
20			障害のある児童生徒における学習評価	
21			通常の学級における個々の子供への指導や支援	
22			活用してみようインクルCOMPASS～園・学校でのインクルーシブ教育システム構築の充実に向けて～	
23			活用してみようインクルDB～子供一人一人に応じた合理的配慮を検討するために～	
24		各学びの場における教育	各学びの場における教育	多様な学びの場(1)特別支援学校の教育
25				多様な学びの場(2)小学校・中学校等①
26				多様な学びの場(2)小学校・中学校等②
27				「通級による指導」の成立とその意義
28				通級による指導を担当する皆さんへ「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」の活用について
29		幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育の考え方
30				幼児期の具体的な関わり方の実際
31				幼児期の関係機関との連携
32				幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
33				幼児期の個別の指導計画の作成と活用
34		高等学校段階における特別支援教育	高等学校段階における特別支援教育	高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
35				高等学校における校内支援体制づくり(1)
36				高等学校における校内支援体制づくり(2)
37				高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
38				高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
39				高等学校段階(思春期)における障害のある生徒の心理と自己理解
40		役割と連携	役割と連携	小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
41				特別支援教育コーディネーター—役割と活動を中心に—
42				教育と福祉・医療等との連携

No.	分類	コース	コンテンツ名	
43	特別支援教育全般	発達、生理・病理	医学的理解―行動上の問題・てんかん―	
44			小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解	
45			発生期、胎生期及び周産期における障害	
46			中枢神経系における障害	
47			主な検査の種類と方法及び留意事項―発達検査法と知能検査法―	
48		各障害に関連する諸検査	検査の意義とアセスメント―アセスメントの目的と意義―	
49			視覚検査法	
50			聴力検査	
51			視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
52				視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
53	視覚障害教育における情報機器等の活用			
54	視覚障害教育における自立活動の指導			
55	視覚に障害のある子どもにおける触覚活用			
56	視覚障害教育における教科指導法―国語の指導―			
57	視覚障害児の認知と指導			
58	弱視学級における指導と学習支援			
59	弱視用視覚補助具概論―弱視レンズの選定と指導―			
60	聴覚障害	きこえのしくみと検査・補聴機器		
61		聴覚障害児のコミュニケーション		
62		聴覚障害児への教育的支援		
63		聴覚障害教育概論		
64		聴覚障害乳幼児の療育と指導		
65		手話の活用		
66		聴覚機能の理解と指導		
67		特別支援学校(聴覚障害)における進路指導・職業教育―キャリア教育の充実―		
68		聴覚障害児の自己理解と教育		
69		障害種別の専門性	知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
70	知的障害教育における教育課程の編成①―知的障害教育における教育課程の考え方―			
71	知的障害教育における教育課程の編成②―知的障害教育における各教科―			
72	知的障害教育における教育課程の編成③―知的障害教育における道徳科及び領域等―			
73	知的障害教育の各教科における指導の工夫①―指導計画の作成と内容の取扱いの要点小学部―			
74	知的障害教育の各教科における指導の工夫②―指導計画の作成と内容の取扱いの要点中学部―			
75	知的障害教育の各教科における指導の工夫③―指導計画の作成と内容の取扱いの要点高等部―			
76	知的障害教育の各教科における指導の工夫④―指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い―			
77	障害のある児童生徒のキャリア教育			
78	知的障害教育における自立活動の指導			
79	知的障害教育における主体的・対話的で深い学び			
80	知的障害教育における各教科等を合わせた指導①―各教科等を合わせた指導の考え方―			
81	知的障害教育における各教科等を合わせた指導②―日常生活の指導、遊びの指導―			
82	知的障害教育における各教科等を合わせた指導③―生活単元学習、作業学習―			
83	知的障害教育の教育課程の歴史①―知的障害教育の学習指導要領制定までの歩み―			
84	知的障害教育の教育課程の歴史②―知的障害教育の学習指導要領の変遷―			

No.	分類	コース	コンテンツ名
85	障害種別の専門性	肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
86			肢体不自由教育における教育課程
87			肢体不自由教育の実際その1
88			肢体不自由教育の実際その2
89			肢体不自由教育における自立活動の指導
90			肢体不自由のある子どもへのAAC
91			肢体不自由教育におけるICFの活用
92			肢体不自由教育の歴史
93			小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態
94			病弱・身体虚弱
95		病弱・身体虚弱教育における指導の実際	
96		病弱・身体虚弱教育における情報機器活用	
97		子どもの身体発育と運動発達	
98		病弱教育の歴史	
99		慢性疾患の理解	
100		言語障害	言語障害の定義・特性・分類 言語障害教育の制度
101			言語障害のある児童生徒の理解と指導ー構音障害・吃音障害ー
102			言語障害のある児童生徒の理解と指導ー言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害ー
103			構音障害の理解と指導
104			吃音の理解と対応ー自己肯定感への支援ー
105			口唇口蓋裂の医療
106			言語障害教育の現状と課題ー全国調査の結果からー
107			ことばの遅れをめぐって
108		情緒障害	情緒障害教育概論
109			情緒障害のある児童生徒の指導と対応
110			関係性の障害とその対応
111			選択性かん黙などの心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導
112		発達障害	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(1)定義と判断
113			LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(2)学校における気づきと実態把握
114			LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(3)特性の理解
115			LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(4)特性に応じた指導
116			LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(5)個別の指導計画の作成と活用
117	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論(6)校内支援体制の構築		
118	自閉症教育概論		
119	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導		
120	自閉症のある児童生徒の家族支援		
121	自閉症のある子どもの教育課程		
122	自閉症のある子どもの実態把握		
123	通常の学級における自閉症スペクトラム障害(ASD)のある児童生徒の指導の対応		
124	自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導		
125	ADHDのある子どもの理解と対応		
126	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援(前半)		
127	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援(後半)		
128	幼児期の発達障害		
129	LDのある子どもの理解と対応		
130	アセスメントの目的と活用		
131	発達障害のある子どもの通常の学級における支援ー協同学習による一人一人のちがいを生かす支援ー		
132	発達障害のある子どもの通級による指導		

No.	分類	コース	コンテンツ名	
133	障害種別の専門性	重複障害	重複障害の概念と教育課程	
134			訪問教育における指導	
135			重複障害のある子どもの実態把握と指導の基本的観点	
136			重複障害のある子どものコミュニケーション	
137			盲ろうの子どもたちの理解と指導	
138			重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり	
139			重複障害教育の現状と課題	
140			重度・重複障害者の卒後の支援―地域における当事者中心の支援を目指して―	
141			盲ろうの子どもたちの指導の実際	
142			手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践―情報パッケージ「ぱれっと」の提案―	
143			医療的ケアを必要とする子どもへの対応	
144			強度行動障害の理解	
145			概論	学習指導要領にみる特別支援教育
146				教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
147	小学校段階	小学校国語		
148		小学校算数		
149		小学校社会		
150		小学校理科		
151		小学校生活科		
152		小学校音楽		
153		小学校図画工作		
154		小学校家庭		
155		小学校体育		
156		小学校外国語活動・外国語科		
157		小学校特別の教科道徳		
158		小学校特別活動		
159		小学校総合的な学習の時間		
160	中学校・高等学校段階	中高国語		
161		中高数学		
162		中社会、高地歴・公民		
163		中高理科		
164		中外国語、高外国語 英語		
165		中高保健体育		
166		中高音楽		
167		中高美術		
168		中技術・家庭、高家庭		
169		中高特別活動		
170		中高道徳		
171		中高総合的な学習の時間		
172	高情報			

Ⅷ 令和6年度教職員研修年間計画表

4 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	月	登録システム入力開始(午後1時)			
2	火				
3	水				
4	木				
5	金	第1回初任者研修指導教員等研修会・連絡協議会、新規採用養護教諭研修担当教員研修会・連絡協議会			
6	土				
7	日				
8	月				
9	火	基本研修・職務研修入力締切(午後5時)			
10	水				
11	木				
12	金				島根県連携講座入力締切 (午後5時)
13	土				
14	日				
15	月				
16	火				
17	水				
18	木	幼①小・義①中・義①高①特① 養①			
19	金				
20	土				
21	日				
22	月		中堅幼①小・義①中・義①高① 特①養①		
23	火			副校長評価者 2年次教頭評価者 共同学校事務室長評価者	
24	水				
25	木				
26	金				
27	土				
28	日				
29	月				
30	火				



5 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	水				
2	木				
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火			管理職A事務主幹・事務長A 2年次校長評価者 特別支援学級新担任基礎編(小・中・義)	
8	水				
9	木	小・義②A中・義②A		新任校長①	
10	金		2年目小・義①A中・義①A高① 養①		専門研修・しまだい学校教員研修 一次入力締切
11	土				
12	日				
13	月		中堅小・義②中・義②高②特②		
14	火		2年目小・義①B中・義①B特①	学校事務職員(小・中・義) 学校CIO(高) 情報化推進リーダー(高)	
15	水				
16	木	小・義②B中・義②B		新任教頭① 新任事務長(高・特)① 情報化推進リーダー(小・中・義)	
17	金	幼②		新任特別支援教育主任(小・中・義・高)	専門研修・しまだい学校教員研修 二次入力開始
18	土				
19	日				
20	月				
21	火		3年目小・義①A中・義①A高① 養①	学校CIO(小・中・義)	
22	水				
23	木	高②特②養②			
24	金				中英語ゼミナール①
25	土				
26	日				
27	月				
28	火		6年目小・義①特①	新任主幹教諭	
29	水				
30	木		3年目小・義①B中・義①B特①		
31	金		16年目小・義①中・義①高①特 ①	学校CIO(特) 情報化推進リーダー(特)	

6 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	土				
2	日				
3	月	第2回初任者研修指導教員等 研修会・連絡協議会			
4	火	養③		司書教諭(中・義・高) 新任生徒指導担当者 事務1年目①	
5	水				
6	木	小・義③A高③特③			
7	金	幼③		講師(高) 講師(特)	
8	土				
9	日				
10	月				
11	火			新任校長③ 管理職B 事務主幹・事務長B	小中特別活動 高情報 I
12	水				
13	木	小・義③B中・義③A		新任副校長	
14	金		中堅小・義③	新任教頭③	中英語① 中英語ゼミナール②
15	土				
16	日				
17	月		中堅特③	司書教諭(小・義・特)	マネジメント力向上 Google Workspace アプリ
18	火			新任道徳推進教師 講師(小・中・義) 事務フォローアップ① 事務5年目	小中道徳② ICT活用教育①A
19	水				
20	木	中・義③B養④			環境教育①
21	金				中数学 高英語 生徒指導 人権教育③
22	土				
23	日				
24	月		中堅中・義③高③養② 6年目中・義①高①	新任校長④ 管理職C 事務主幹・事務長C	小中高体育
25	火			事務副主幹・事務次長 事務10年目 新任保健体育主事	
26	水				
27	木	小・義④A中・義④A			
28	金			管理職D 事務主幹・事務長D	学校の支援体制づくり① 高探究①
29	土				
30	日				

7 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	月			教育相談・不登校担当教員 (小・中・義)	
2	火			教育相談担当教員(高) 養護教諭	
3	水				
4	木	小・義④B中・義④B高④特④			
5	金	養⑤	中堅養③	事務主幹(小・中・義) 特別支援学級新担任実践編 (小・中・義)	人権教育②
6	土				
7	日				
8	月			新任教頭④	中技術
9	火				
10	水				
11	木				
12	金				
13	土				
14	日				
15	月				
16	火				
17	水				
18	木				
19	金				
20	土				
21	日				
22	月			管理職E 事務主幹・事務長E	
23	火	幼④	中堅幼②		
24	水				
25	木			事務1年目② 事務フォローアップ②	
26	金				プログラミング 安全・健康・食育
27	土				
28	日				
29	月		6年目小・義②中堅小・義④		人権教育①
30	火		3年目小・義②中・義②特②		学校の支援体制づくり②
31	水				

8 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	木	小・義⑤A中・義⑤養⑥		寄宿舎教諭・寄宿舎指導員	
2	金		2年目高②特②		博物館連携 特別支援教育③
3	土				
4	日				
5	月		2年目中・義② 中堅特④ 6年目特②		あいサポート
6	火		2年目小・義② 3年目高②		小国語 中高美術
7	水				
8	木				小算数 高探究②
9	金				
10	土				
11	日				
12	月				
13	火				
14	水				
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月				特別支援教育① 中国語①
20	火		6年目中・義②高② 中堅中・義④高④	栄養教諭・学校栄養職員	特別支援教育④
21	水				
22	木	小・義⑤B高⑤養⑦			環境教育②
23	金				
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水				
29	木		3年目養② 中堅養④		
30	金			管理職F 事務主幹・事務長F	学級経営・ホームルーム経営
31	土				

9 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	日				
2	月				消費者教育 小中道徳①
3	火				人間関係づくり 小音楽
4	水				
5	木	養⑧			特別支援教育②
6	金				小理科
7	土				
8	日				
9	月				ICT活用教育①B
10	火		中堅養⑤	新任教頭⑤	中社会 Education Plus/Fig Jam活用
11	水				
12	木	小・義⑥A中・義⑥A特⑤			全教科対話 ICT活用教育②
13	金			学校リーダー①	教育相談① 全教科／教科等横断的な学び
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				高理科 よりよいICT使い手
18	水				
19	木	中・義⑥B			図書館教育
20	金		中堅小・義⑤中・義⑤高⑤特⑤		
21	土				
22	日				
23	月				
24	火	養⑨			
25	水				
26	木	小・義⑥B高⑥			
27	金				幼児教育
28	土				
29	日				
30	月		16年目小・義②中・義②高②特②	新任校長⑤ 管理職G 事務主幹・事務長G	

10月					
日	曜	基本研修		職務研修	専門研修等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	火			ミドルリーダー①	
2	水				
3	木	小・義⑦A特⑥			
4	金				高商業
5	土				
6	日				
7	月				小社会 高地歴・公民
8	火				小外国語
9	水				
10	木	幼⑥			中国語②
11	金				
12	土				
13	日				
14	月				
15	火				
16	水				
17	木	小・義⑦B			
18	金				中英語② 中英語ゼミナール④
19	土				
20	日				
21	月			新任教頭⑥ 新任事務長(高・特)②	
22	火		中堅養⑥	管理職H 事務主幹・事務長H	
23	水				
24	木	特⑦		新任校長⑥	
25	金				生成AI 中数学②
26	土				
27	日				
28	月				特別支援学校教育 ICT活用教育③
29	火			管理職 I 事務主幹・事務長 I	中高家庭
30	水				
31	木	第3回初任者研修指導教員等 研修会・連絡協議会			

11月					
日	曜	基本研修		職務研修	専門研修等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木	小・義⑧A1中・義⑧A1高⑨			
8	金	幼⑦	中堅幼④		中理科
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木	小・義⑧B1中・義⑧B1特⑧			
15	金				
16	土				
17	日				
18	月			学校リーダー②	
19	火				教育相談②
20	水				
21	木	小・義⑧A2B2中・義⑧A2B2高⑨			
22	金				高探究③
23	土				
24	日				
25	月				
26	火			ミドルリーダー②	国際教育
27	水				
28	木	特⑨		新任校長⑦	
29	金			新任教頭⑦	
30	土				

1 2 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	日				
2	月				
3	火				
4	水				
5	木				
6	金				
7	土				
8	日				
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金				
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金				
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				



1 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	水				
2	木				
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金		3年目小・義③中・義③高③特③養③		
18	土				
19	日				
20	月				
21	火		2年目小・義③中・義③高③特③養③		
22	水				
23	木	幼⑧小・義⑩中・義⑩高⑩特⑩養⑩			
24	金				
25	土				
26	日				
27	月		中堅幼⑤小・義⑥中・義⑥高⑥特⑥養⑦		
28	火		6年目小・義③中・義③高③特③		
29	水				
30	木		16年目小・義③中・義③高③特③		
31	金				

2 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	土				
2	日				
3	月				
4	火				
5	水				
6	木				
7	金				
8	土				
9	日				
10	月				高探究④
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土				
16	日				
17	月				
18	火				
19	水				
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水				
27	木				
28	金				

3 月					
日	曜	基 本 研 修		職 務 研 修	専 門 研 修 等
		初任者・新規採用研修	経験者研修		
1	土				
2	日				
3	月				
4	火				
5	水				
6	木				
7	金				
8	土				
9	日				
10	月				
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土				
16	日				
17	月				
18	火				
19	水				
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水				
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

# お わ り に

急激に変化する予測困難な時代において、学校教育も明治の「学制」公布以来の大きな変化に直面していると言われます。「令和の日本型学校教育」を担う教師には、変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に学び続けることがより一層求められています。また、子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割も期待されています。

教育センターでは、新たな教師の学びの実現に向けて、参加者が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう「授業観の転換」と軌を一にした「研修観の転換」を図り、改定された「鳥取県公立学校の校長・教職員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、令和6年度の教職員研修を実施します。

「子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する授業」を体感できるような、主体性を重視した研修や、一人一台端末を活用して探究的に学ぶ研修、理論と実践の往還を重視した研修等、「新たな教師の学び姿」を支援できるよう準備を進めています。

また、令和7年4月からの国の研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォームの本格的導入に向けての準備も進めています。

本冊子をとおしての学びが、鳥取県の未来を拓く子どもたちと教職員の主体的・対話的で深い学びの実現と、資質・能力の育成につながることを心から願っています。

## 鳥取県教育センター案内図



- 鳥取空港から タクシー約5分
- J R「湖山駅」から 徒歩15分、タクシー約5分
- J R「鳥取大学前駅」から 徒歩15分、タクシー約5分
- J R「鳥取駅」から バス（日ノ丸自動車）  
「湖山・賀露」「相生町・湖山・鳥大附属」行き  
約30分（「湖山」又は「鳥商前」下車）  
タクシー約15分

所在地 〒680-0941 鳥取市湖山町北5丁目201番地

### 電話

総務課 (0857) 28-2321  
 教育企画研修課 (0857) 28-2585・2586  
 教育DX推進課 (0857) 28-2323

### 電子メール

教育企画研修課 [kikaku\(\\*\)ml.pref.tottori.lg.jp](mailto:kikaku(*)ml.pref.tottori.lg.jp)  
 ※上記の記号「(\*)」を半角アットマーク「@」に置き換えてください。